

（仮称）津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

※図面サイズはA2とする。

図面リスト					
建築工事					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	特記仕様書 1	A-31	展開図 4	S-1	構造特記仕様書
A-2	特記仕様書 2	A-32	展開図 5	S-2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 1
A-3	特記仕様書 3	A-33	展開図 6	S-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 2
A-4	特記仕様書 4	A-34	建具リスト 1	S-4	鉄骨工作標準図 1
A-5	特記仕様書 5	A-35	建具リスト 2	S-5	鉄骨工作標準図 2
A-6	特記仕様書 6	A-36	建具リスト 3	S-6	ジャストベース柱脚工法設計施工標準図
A-7	特記仕様書 7	A-37	家具図 1	S-7	柱状図・調査位置図
A-8	工事区分表	A-38	家具図 2	S-8	地盤改良図
A-9	仕上表	A-39	部分詳細図 1	S-9	基礎伏図
A-10	求積図 面積表 法チェック表	A-40	部分詳細図 2	S-10	基礎リスト
A-11	附近見取図 配置図	A-41	部分詳細図 3	S-11	屋根伏図
A-12	平面図	A-42	部分詳細図 4	S-12	軸組図 1
A-13	屋根伏図	A-43	部分詳細図 5	S-13	軸組図 2
A-14	立面図	A-44	部分詳細図 6	S-14	鉄骨リスト
A-15	断面図	A-45	部分詳細図 7	S-15	鉄骨詳細図
A-16	天井伏図	A-46	サイン図		
A-17	平面詳細図 1	A-47	駐輪場・設備基礎詳細図		
A-18	平面詳細図 2	A-48	仮設計画図		
A-19	平面詳細図 3				
A-20	平面詳細図 4				
A-21	断面詳細図 1				
A-22	断面詳細図 2				
A-23	断面詳細図 3				
A-24	断面詳細図 4				
A-25	断面詳細図 5				
A-26	断面詳細図 6				
A-27	断面詳細図 7				
A-28	展開図 1				
A-29	展開図 2				
A-30	展開図 3				

工事特記仕様書

I. 工事名

(仮称)津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市半田地内

2. 敷地面積

3,479.27㎡

3. 工事内容

棟名称

(仮称)津市津南防災コミュニティセンター

構造

鉄骨造 一部 鉄筋コンクリート造 平屋家

建築面積

844.00㎡ + 9.52㎡ (駐輪場)

延べ面積

730.00㎡ + 18.20㎡ (駐輪場)

工事項目

新築工事

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章

項目

特記事項

①

①適用基準等

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。
1) 建築工事標準詳細図
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版)
2) 建築物解体工事共通仕様書
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版)
3) 津市公共建築物等木材利用方針

一般共通事項

②施工条件

施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。
※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※工期終盤において、別途外構工事が計画されている為、工事期間が重複する場合は、別途外構工事受注者と調整を行うこと。
また、外部足場については、年内に解体すること。

③発生材の処理等
(1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (アスファルト舗装)	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの(・無・)
・特別管理産業廃棄物(・有() 処理方法())
・アスベスト成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
3.飛散されない様にするここと。
4.保護員及び作業着を着用すること。
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
・再資源化を図るもの
・コンクリート塊
・アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材
引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

④建設副産物情報交換システムの利用

受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。
また、工事着手前にJACIcが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

適用する

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

6.電気保安技術者
(1.3.3)

7.技能士
(1.5.2)

8.建築材料等

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑨化学物質の濃度測定
(1.5.9)

測定対象化学物質(●で示したものとする。)						
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	ステレン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	

対象箇所(・)図示(図面番号:A-12)・()
測定方法(・)バツシブ法・アクティブ法)
報告書提出部数 2部

⑩特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

⑬完成図書
(1.7.2)

・作成する(・)完成図・保全に関する資料・()
・完成図作図範囲(設計図を訂正)
完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部により提出すること。

⑭完成写真

・デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

施工範囲
・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

・図示のベンチマーク(B.M) KBM +602 mm
(現状地盤はB.M mm)

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防法関係の手続き

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
・本工事(・)建築工事・電気設備工事・機械設備工事)
・別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働生害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

⑳不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採出調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。
22.屋外広告物
屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

工事名

(仮称)津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

MEMO

CLIENT

DRAWING

DESIGN

TITLE

SCALE

A2 S=NS
A3 S=NS

特記仕様書 1

1級建築士 第-295644-号
森 美香子

ARTS

原図：A2

A
1

②

仮設工事

1. 監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の備品
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

3. 仮設便所

構内既存の施設

・利用できる

○利用できない

4. 工事用水

構内既存の施設

・利用できる（・有償

・無償）

○利用できない

5. 工事用電力

構内既存の施設

・利用できる（・有償

・無償）

○利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

6. 足場

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

7. 交通誘導警備員

配置

○図示(図面番号： A-48)

③

土工事

1. 進捗し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

2. 建設発生土の処理
(3.2.5)

3. 山留めの撤去
(3.3.3)

④

地業工事

1. 杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

2. 適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3. 施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

4. 根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1条第4 項又は第5 項（第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1 0年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)

・試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）
・試験掘 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）

6. 杭の支持地盤

支持地盤の位置、種類 ・図示（図面番号： ） ・（ ）

7. 水平方向の位置ずれ

（ ）mm以下

8. 杭の載荷試験 (4.2.3)

試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・提出部数 2部

9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)

試験方法 ・平板載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・提出部数 2部

10. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7)

・PHC杭
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
・SC杭
・PRC杭
・上記以外の建築基準法に基づく杭
(参考表)

種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考

先端形状 ・開放型 ・閉そく型
施工方法
・打込み工法 設計支持力（ ）
打込み杭の推定支持力の算定方法（ ）
・打撃工法
・ブレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm）
・セメントミルク工法
・オーガーの支持地盤への掘削深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
・杭の支持地盤への根入れ深さ
・（ ）m ・図示（図面番号： ）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手（工法： ）
杭頭の処理 ・行う ・行わない

11. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.3.3) (4.3.5) (4.3.6) (4.3.7)

・鋼管杭 ・SKK400 ・SKK490
・H形鋼杭 ・SHK400 ・SHK490M
径 ・300 ・350 ・400 ・450 ・（ ）
長さ（ ）m
先端形状 ・開放形 ・（ ）
補強方法 ・補強バンド ・（ ）
継手 ・JISA5525（鋼管ぐい）
施工方法
・打込み工法 設計支持力（ ）
打込み杭の推定支持力の算定方法（ ）
・打撃工法
・ブレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm）
・特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
杭頭の処理 ・行う ・行わない

12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) (4.5.4) (4.5.5)

施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
拡底 ・行わない ・行う（ ）
孔壁の超音波測定 ・行う ・行わない

⑤

鉄筋工事

①鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	径	備 考
○SD295A	○D16以下	
・SD295B	・（ ）	
○SD345	○D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

2. 溶接金網 (5.2.2)

網目の形状、寸法
鉄線の径 (mm) ・4 ・5 ・6 ・（ ）
寸法 (mm) ・100×100 ・150×150 ・（ ）

3. 内法直径 (5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径 ・図示（図面番号： ）

④継手 (5.3.4)

	径	部 位
○重ね継手	D10, D13, D16	
○ガス圧接	D19, D22	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
○標準仕様書[5.3.4] (c) (1)
・図示（図面番号： ）
継手位置
○各部配筋参考図による
・図示（図面番号： ）
鉄筋定着
○標準仕様書[表5.3.4] ・図示（図面番号： ）

5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)

軽量コンクリートで土に接する部分
・無し ・有り（適用箇所： ）
最小かぶり厚さ（ ）mm
耐久性上不利な部分（塩害を受けるおそれのある部分等）
・無し ・有り（適用箇所： ）
最小かぶり厚さ（ ）mm

⑥各部配筋 (5.3.7)

○図示(図面番号： S-02, 03, 10)

⑦圧接完了後の試験 (5.4.9)

8.機械式継手及び溶接継手 (5.5.2)

○図示(図面番号： S-02, 03, 10)

○超音波探傷試験 ・引張試験

・機械式継手 種類（ ） 工法（ ）
品質の確認方法（ ）
不良部分の修正方法（ ）
鉄筋相互のあき（ ）mm
・溶接継手 工法（ ）
品質の確認方法（ ）
不良部分の修正方法（ ）
鉄筋相互のあき（ ）mm

⑥

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.11.1) (6.11.3) (6.10.1)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
○21 (N/mm2)	土間、設備基礎、駐輪場基礎		○18 (cm)
○21 (N/mm2) + S	地中梁、基礎、躯体		○15 (cm)
・			
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm2)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・常時土又は水に直接接する部分 図示（図面番号： ）

②コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)

○コンクリートの仕上り (6.2.5)

④セメント (6.3.1) (表6.3.1)

種類 ○普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・（ ）
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・適用箇所 図示（図面番号： ）

⑤骨材 (6.3.1)

アルカリシリカ反応性による区分
○AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・特殊な骨材の使用
・フェロニッケルスラグ細骨材
・銅スラグ細骨材
・電気炉酸化スラグ骨材
・再生骨材 H

⑥混和材料 (6.3.1) (6.3.2)

混和材料 ○図示（図面番号： S-01 ）
混和剤の種類、使用方法、使用量
○標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・（ ）
混和材の種類、使用方法、使用量
・標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・（ ）

⑦型枠 (6.8.2) (6.8.3) (表6.8.1)

材料 ○複合合板（厚さ (mm) ○12 ・（ ））
打増し厚さ ・図示(図面番号：)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
・図示(図面番号：)
・断熱材の兼用
・MCR工法用シート
スリーブの材質、規格等
○標準仕様書[表6.8.1] ・図示（図面番号： ）

⑧コンクリート強度試験 (6.9.3)

圧縮強度試験の供試体の材齢
○材齢28日 ・型枠脱型用
・材齢28日を超え91日以内

⑨寒中コンクリート (6.11.2)

適用期間（ ）
○調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

⑩暑中コンクリート (6.12.2)

構造体強度補正值 (S)
○6 N/mm² ・（ ）

11. マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)

適用箇所 ・図示（図面番号： ）
セメントの種類 ・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・普通ポルトランドセメント

工事名

(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

MEMO

CLIENT

DRAWING

DESIGN

TITLE

特記仕様書 2

SCALE

A2 S=NS
A3 S=NS

ARTS

1 級建築士 第-295644-号
森 美香子

原図：A2

A

2

鉄骨工事	⑫無筋コンクリート (6.14.1)	スランブ・15cm・() 混和剤・標準仕様書[6.13.2](b)(1) ・() 適用箇所 標準仕様書[6.14.1] ・上記以外の適用箇所(ラップコンクリート) 設計基準強度・18(N/mm²)・() (N/mm²) スランブ・15cm・18cm 適用箇所 ・図示(図面番号:)	10.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8) ⑪柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2) 12.材料試験等 (7.2.10) 13.仮組 (7.3.10) 14.溶接作業における技能資格者 (7.6.3) ⑮溶接部の開先 (7.6.4) ⑯溶接施工 (7.6.7) ⑰溶接部の試験 (7.6.11) ⑱錆止め塗装 (7.8.3) ⑲耐火被覆 (7.9.2) ⑳軽量形鋼構造 (7.11.2)	材質、形状及び寸法 ・図示(図面番号:) 溶接方法 ・図示(図面番号:) 柱底均しモルタルの工法、厚み ・A種()mm・B種(50)mm 無収縮モルタルの材料及び調合 ・標準仕様書[7.2.9](b)・() 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・JIS G 0901により行う ・行わない・行う 仮組を行う範囲 ・図示(図面番号:) 溶接作業の技量付加試験 ・行わない・行う 開先の形状 ・図示(図面番号: S-04)・() エンドタブの切除 ・適用箇所 図示(図面番号:) 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示(図面番号:) スカラップの形状・図示(図面番号: S-04)・() 試験の種類 ・超音波探傷試験・() <table><tr><td>溶接区分</td><td>AQL(%)</td><td>検査水準</td><td>備考</td></tr><tr><td>現場溶接</td><td>・2.5 ・4.0</td><td></td><td>・計数連続生産型抜取検査</td></tr><tr><td>工場溶接</td><td>・2.5 ・4.0</td><td>・6</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]()種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・行わない・行う 適用箇所 図示(図面番号:) 種類 ・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1]()種 ・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2]()種 <table><tr><td>部 位</td><td>種 別</td><td>仕 様</td></tr><tr><td>主要構造部</td><td>吹付ロックール 半乾式</td><td>かさ比重0.28 t 25</td></tr><tr><td>開口補強部</td><td>吹付ロックール 半乾式</td><td>かさ比重0.28 t 25</td></tr></table> 接合部(ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合・()	溶接区分	AQL(%)	検査水準	備考	現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査	工場溶接	・2.5 ・4.0	・6						部 位	種 別	仕 様	主要構造部	吹付ロックール 半乾式	かさ比重0.28 t 25	開口補強部	吹付ロックール 半乾式	かさ比重0.28 t 25	3.ALCパネル (8.4.2)(8.4.3)(表8.4.2)(8.4.4)(表8.4.5)(表8.4.3) ④押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2) ⑤アスファルト防水 (表9.2.3)～(表9.2.8)(9.2.2)(9.2.3) 改質アスファルトシート 種類・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示() 厚さ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示() 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示() 厚さ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示() 絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上) ・フラットヤーンクロス(70g/m²) 押え金物 ・アルミ製 L30×15×2.0・図示() 断熱材 ・屋根保護防水断熱工法 種類() 厚さ() mm ・屋根露出防水断熱工法 種類() 厚さ() mm 屋根保護防水 立ち上がり部の保護コンクリート・図示(図面番号:) 乾式保護材・使用する 立ち上部保護れんが・JIS R 1250・() 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類() 屋根露出防水における仕上塗料 ・図示(図面番号:) 種類() 使用量() 屋内防水密着工法における保護層 ・図示(図面番号:) 防水層の下地モルタル塗り ・図示(図面番号:) 立ちがりのコンクリート打放し仕上げの種別 種類・B種・()	(9.2.4) 屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフトレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・図示(図面番号:) (9.2.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ・水下80mm以上・() 床タイル張り・水下60mm以上・() 屋上排水溝 ・図示(図面番号:) 2.改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3) 改質アスファルトシート 種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示() 厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示() 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示() 厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示() (9.3.3) 仕上塗料 ・図示(図面番号:) 種類() 使用量() 脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類() 断熱材 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 種類() 厚さ() mm 3.合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)(表9.4.3) (9.4.2) 絶縁用シート ・発砲ポリエチレンシート・() 固定金具 材質、寸法形状() ・図示(図面番号:) 断熱材 材質、厚さ() ・図示(図面番号:) (9.4.3) 仕上塗料 ・図示(図面番号:) 種類() 使用量() S-M2又はS1-M2で立上りを接着工法 立ち上がり面のシート厚さ・15mm・() mm 屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ・() mm 床塗りの工法・標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3)・() 保護コンクリートの厚さ・() mm 立ち上部の保護モルタル塗厚さ・7mm以下・() mm (9.4.4) 目地処理(S-F1、S-F2、S1-F1、S1-F2、S-C1) PC下地、ALC下地でS-C1の場合・図示(図面番号:) 増張り(S-F1、S1-F1、S-C1) PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合・図示(図面番号:) 機械的固定工法 風圧力に対応した工法・図示(図面番号:) 4.塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2) 5.ケイ酸質系塗布防水(9.6.1)(9.6.3)(9.6.4) 適用部位・図示(図面番号:) 防水層の種別及び工程・C-UI・C-UP 下地処理((b)(1)から(3)以外の場合)・図示(図面番号:)
	溶接区分	AQL(%)	検査水準	備考																											
現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査																												
工場溶接	・2.5 ・4.0	・6																													
部 位	種 別	仕 様																													
主要構造部	吹付ロックール 半乾式	かさ比重0.28 t 25																													
開口補強部	吹付ロックール 半乾式	かさ比重0.28 t 25																													
7鉄骨工事	①施工管理技術者(7.1.4) ②製作工場(7.1.3) ③鋼材(7.2.1) ④高力ボルト(7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7) ⑤普通ボルト(7.2.3)(7.3.2)(7.4.2) 6.溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.3.2)(7.4.2)(7.12.4) 7.アンカーボルト(7.2.4)(7.3.2)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3) 8.溶接材料(7.2.5) ⑨ターンバックル(7.2.6)	・適用する (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・J・R・M・H・S 材質、形状及び寸法・図示(図面番号: 構造図による) 種類 ・トルシア形高力ボルト2種(S10T) ・JIS形高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径 ・図示(図面番号: S-14) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示(図面番号: S-14) すべり係数試験 ・行わない・行う 試験方法等・() JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 ・回転量()° ボルト及びナットの材料等、ボルトの径 ・図示(図面番号: S-14) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示(図面番号: S-14) 摩擦面の処理 ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ・すべり耐力試験 試験方法等・() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示(図面番号:) 適用箇所及び種類 構造用・図示(図面番号: S-06)・SNR400B・() 建方用・図示(図面番号: S-06)・SS400・() 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・A種・B種・C種 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標準仕様書[表7.2.3] ・図示(図面番号:) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ・図示(図面番号: S-06) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示(図面番号: S-06) 材料 ・標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料() 種類及びねじの呼び等 ・図示(図面番号: S-11) 建築用ターンバックル胴 ・割枠式・() 建築用ターンバックルボルト ・羽子板ボルト・()	⑧ブロック・押出成形セメント板																												

⑥シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

(9.7.5)

○標準仕様書[表9.7.1]による

施 工 箇 所	目地寸法	種 類
サツ廻り	15×10	MS-2
内部取合い	10×10	SR-1
外部取合い	15×10	PU-2

接着性試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

①天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

(10.1.3)

(10.1.5)

(表10.2.1)

(10.3.2)

2.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

3.その他の材料

(10.3.2)

4.外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

(10.3.2)

(10.3.3)

使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状
上り框	御影石	○2等	W100×t20	・粗磨き ・本磨き		
壁		・1等		・水磨き ・()		

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

粗面仕上げの場合のみみみ部分の仕上げ

・()

清掃における床面ワックス

・使用する

ジェットバーナー仕上面

・手加工あり

・機械加工バフ仕上あり

石裏面処理

・適用する

石裏面処理

・適用する

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・()

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・()	・()

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

清掃における床面ワックス

・使用する

取付用モルタル

・図示(図面番号:)

目地用モルタル

・図示(図面番号:)

石裏面処理材

・図示(図面番号:)

裏打ち処理材

・図示(図面番号:)

ドレンパイプ

・図示(図面番号:)

充填材料

・図示(図面番号:)

受け金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ

クロスメッシュ巻き

25～35φ

・()

下地ごしらえ

・流し筋工法

・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

アンカーの材質及び径

・SS400 M12

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[表11.1.1]

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

5.内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

6.乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

7.床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

8.アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.7.1)

(10.7.2)

9.笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.1)

(10.7.3)

10.隔て板

(10.7.4)

受け金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

下地ごしらえ

・あと施工アンカー横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・6mごと

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

取り付け工法

・スライド方式

・ロッキング方式

たば用穴の位置

・図示(図面番号:)

風圧力に対応した工法

・図示(図面番号:)

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・8以上

・()

シーリング材

・適用する

目地

一般目地

目地幅(mm)

・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示(図面番号:)

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[10.6.2](e)(2)(i)

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

取付工法

・外壁湿式工法

・内壁空積工法

・乾式工法

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](c)

・()

吊金物及び化粧吊りボルト

・設ける

吊金物

・ステンレス(SUS304)

径6mm長さ80mm(加工物)

吊りボルト

・ステンレス(SUS304)

M10

化粧ナット付き

及び他の部材と取り合う箇所

アンカーの材質及び径

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

伸縮調整目地

位置

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

取付工法

・外壁湿式工法

・内壁空積工法

・乾式工法

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](c)

・()

取付け代(乾式工法の場合)(mm)

・標準仕様書[10.5.3](b)

・()

アンカーの材質及び径

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する

図示(図面番号:)

目地

一般目地

目地幅(mm)

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)

位置

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

石材の厚さ

・()

①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

②陶磁器質

タイル張り

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.3.2)

(11.3.4)

(表11.3.2)

3.陶磁器質

タイル型枠先付

(表11.4.1)

(11.4.2)

(11.4.3)

①木材

(12.1.4)

(表12.1.1)

(12.2.1)

(12.4.1)

(12.5.1)

(12.6.1)

(12.7.1)

(表12.2.1)

2.製材

(12.2.1)(b)(1)

(12.2.1)(b)(2)

(表12.2.2)

(表12.2.3)

①長尺金属板葺

(13.2.2)

(13.2.3)

(表13.2.1)

2.折板葺

(13.3.2)

(13.3.3)

位置

○標準仕様書[表11.1.1]

・図示(図面番号:)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工 法	耐滑り性	区分(きじ)			うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
				I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)				
玄関	600×300	湿式	○	○			無釉		標準	
ホーチ	600×300	湿式	○	○			無釉		標準	
研修室	25×25	乾式(貼)		○			無釉		標準	

・役物

()

・タイルの試験張りを行う

・見本焼きを行う

セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理

・適用箇所

図示(図面番号:)

・目荒し工法

・MCR工法

接着剤あと張り工事

シーリング材

打継、ひび割れ誘発目地

・PU-2

・()

伸縮、その他目地

・MS-2

・()

種別

・タイルシート法

・目地樹法

・桧木法

タイル型枠先付け面のせき板の種別

・()

見え掛り部の表面仕上げ

・A種

○B種

・C種

適用箇所

()

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	○A種

・B種

| 造作材 | ○A種 |

・B種

樹種

・図示(図面番号:)

「製材の日本農林規格」による製材

	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	
造作用針葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	
広葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	・10%以下

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率

・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質

・A種

・()

樹種

部位	樹 種	県産材

代用樹種の使用

・禁止する

③集成材等

(12.2.1)

4.単板積層材

(12.2.1)

⑤床張り用合板及びその他の合板

(12.2.1)

6.防腐・防蟻処理

(12.3.1)

(12.3.2)

⑬屋根及びとい工事

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ
造作用集成材	○図示(図面番号: A-36)	○(1等)	
化粧ばり造作用集成材	・図示(図面番号:)	・()	
化粧ばり構造用集成材	・図示(図面番号:)		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率

・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質

・A種

・()

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

厚さ、表面の品質及び防虫加工

・図示(図面番号:)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工

・図示(図面番号:)

部材名称

樹種名

接着の程度

等級

板面の品質

防虫処理等

厚さ

床捨板

構造用合板

I類

構造用合板の強度等級

・図示(図面番号:)

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・図示(図面番号:)

薬剤加圧注入

適用部位、保存処理性能区分

・図示(図面番号:)

薬剤の塗布等

処理方法

・標準仕様書[12.3.1](3)(ii)

・()

ボード原料接着剤への薬剤混入

・()

防虫処理

・()

屋根葺形式

材種

厚さ(mm)

下葺の種類

備考

立平葺

○塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板

○0.4

○アスファルトルーフィング940

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

雪止め

・図示(図面番号:)

緊結方法

板厚(mm)

山の高さ(mm)

山のピッチ(mm)

耐力区分

・重ね形

・0.8

・90

・()

・()

・()

・はげ締め形

・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合板めっき鋼板

・()

・軒先面戸板

・あり

・なし

断熱材

種別

・ガラス繊維シート

・()

厚さ(mm)

・5

・()

防火性能

・()

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

工事名

(仮称)津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

MEMO

CLIENT

DRAWING

DESIGN

TITLE

特記仕様書 4

SCALE

A2 S=NS

A3 S=NS

ARTS

1級建築士 第-295644-号

森 美香子

原図: A2

A

4

3. 粘土瓦葺 (13. 4. 2) (13. 4. 3)	種 類	大 き さ	産 地	役物の種類	棟の工法				
	雪止め瓦	・ 使用する							
	瓦棧木の材種、寸法	・ 杉又は桧 21×15	・ ()						
	棟補強用心材の材質、寸法	・ 杉又は桧 40×30	・ ()						
	下葺材料の種類	・ ()							
	風圧力及び積雪荷重に対応した工法	・ 図示 (図面番号 :)							
	桧木の留付け工法	・ 図示 (図面番号 :)							
	棟の工法	・ 標準仕様書 [13. 4. 3] (d)	・ 図示 (図面番号 :)						
④. とい (13. 5. 2) (表13. 5. 1) (13. 5. 3) (表13. 5. 5)	材種	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)	・ 配管用銅管 (白管)						
	鋼管製といの防露巻工法								
	・ 標準仕様書 [表13. 5. 5]	・ ()							
⑭ 金 属 工 事	1. あと施工アンカー (14. 1. 3)	引抜き耐力の確認試験	・ 実施する						
	②. ステンレス (14. 2. 1)	表面仕上げ	・ HL仕上げ	・ ()					
	③. アルミニウム (14. 2. 2) (表14. 2. 1)	表面処理の種類	・ A-1	・ A-2	・ B-1	・ B-2	・ C-1	・ C-2	・ D
		常温乾燥形の塗装	・ ()						
		陽極酸化被膜の着色方法	・ 二次電解着色	・ ()					
	4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 3)	亜鉛めっきの種類	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種	・ E種	・ F種	
	⑤. 軽量鉄骨	野縁などの種類							
	天井下地 (14. 4. 2) (表14. 4. 1)	屋内	・ 19形	・ ()					
		屋外	・ 25形	・ ()					
		屋外の野縁受等の間隔	・ 図示 (図面番号 :)						
	吊りボルトの補強方法 (≧900mm超)	・ 図示 (図面番号 :)							
	吊りボルトの水平補強、斜め補強	・ 図示 (図面番号 :)							
	⑥. 天井ふところ ≧1.5m	・ 標準仕様書 [14. 4. 4] (h)							
	・ 図示 (図面番号 :)								
	⑦. 天井ふところ >3.0m	・ 天井ふところ ≧1.5m以上にする							
	・ 耐震天井	図示 (図面番号 :)							
	・ 耐風圧の補強	図示 (図面番号 :)							
⑥. 軽量鉄骨壁	下地 (14. 5. 3) (表14. 5. 1)	スタッド、ランナーの種類							
		・ 標準仕様書 [表14. 5. 1]	・ 図示 (図面番号 :)						
		スタッドの高さ5m超	・ 図示 (図面番号 :)						
	7. 金属成形板板張り (14. 6. 2) (14. 6. 3)	施工箇所							
		材 種	・ アルミニウム	・ ステンレス	・ 鋼				
		形 状	・ スバンドレル形	・ パネル形					
		表面処理	・						
		取付け用下地	・ 図示 (図面番号 :)						
		長尺ものにおける伸縮調整継手	・ 設ける	図示 (図面番号 :)					
	8. アルミニウム製笠木 (14. 7. 2) (14. 7. 3) (表14. 7. 1)	部材の種類	・ 250形	・ 300形	・ 350形				
	表面処理	・ ()							
	固定方法	・ 図示 (図面番号 :)							
⑨. 手すり (14. 8. 2)	材種	表面処理の種類	施工箇所						
	アルミニウム	・ 標準仕様書 [表14. 2. 1]の種類 (種)	・ ()						
	鋼	・ 標準仕様書 [表14. 2. 2]の種類 (種)	・ ()						
	ステンレス	・ HL程度	・ ()	スロープ・階段					
	材種	表面処理の種類	施工箇所						
	鋼	・ 標準仕様書 [表14. 2. 2]の種類 (種)							
	ステンレス	・							
	10. タラップ (14. 8. 3)	材種	表面処理の種類	施工箇所					
		鋼	・ 標準仕様書 [表14. 2. 2]の種類 (種)						
		ステンレス	・						
⑪. 天井見切縁 (15. 4. 2)	⑫. 点検口								
	材種	・ アルミニウム合金製	・ 塩化ビニル製						
	取付箇所	材種	寸法	形式					
	・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角	・ 額縁タイプ					
		・ 600角	・ 目地タイプ						
	・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角						
		・ 600角							
	1. モルタル塗り (15. 2. 2) (15. 2. 5)	既製目地材	・ 使用する	図示 (図面番号 :)					
		床の目地	・ 図示 (図面番号 :)						
		下地モルタルの接着力試験 (外壁タイル張り等)	・ 実施する						
2. セルフレベリング (15. 4. 2)	種類	・ せっこう系	・ セメント系						
3. 仕上塗材仕上 (15. 5. 2) (表15. 5. 1)									
⑮. 左官工事	種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法					
	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け					
		・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク						
		・ ()	・ ()	・ ()					
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ スタックコ状	・ 吹放し	・ 吹付け				
			・ 凸部処理						
			・ 平たん状						
			・ 凹凸状		・ こて				
			・ ひき起こし						
			・ かき落とし						
・ 外装厚塗材Si	・ スタックコ状	・ 吹放し	・ 吹付け						
		・ 凸部処理							
		・ 平たん状		・ こて					
		・ 凹凸状		・ ローラー					
		・ ひき起こし							
	・ ()	・ ()	・ ()						
複層仕上塗材	・ 複層塗材E	・ 複層塗材RE	・ ゆず肌状						
	・ 防水型複層塗材E	・ 凸部処理		・ ローラー					
	・ 防水型複層塗材RE	・ 凹凸状		・ 吹付け					
	・ ()	・ ()	・ ()						
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け						
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて						
内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)	・ JIS A 6909 調湿形								
複層仕上塗材の耐候性	・ 耐候形 3 種	・ ()							
外装厚塗材Cの上塗材	・ セメントスタッコ以外の場合	材所要量 (kg/m ²)							
⑮. 左官工事	複層仕上塗材の上塗材の種類								
樹 脂 種 類	溶 媒 種 類	外 観							
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無						
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無						
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無						
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無						
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無						
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無						
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無						
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有	・ 艶無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 艶有	・ 艶無						
	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無						
ALCパネルの内壁目地	・ V形目地付き	・ ()							
仕上塗材の所要量等の確認方法	・ 標準仕様書 [表15. 5. 4]	・ ()							
種別	・ A種	・ B種							
仕上材塗り	種類 ()								
仕上げ吹付け厚さ	(25) mm								
⑮. ロックウール吹付け (15. 8. 3)									
1. 防火戸 (16. 1. 3)	防火戸の指定	・ 図示 (図面番号 :)							
2. 見本の製作等 (16. 1. 4)	建具見本の製作	・ 実施する							
3. 防犯建物部品 (16. 1. 6)	防犯建物部品	・ 図示 (図面番号 :)							
⑮. 建具工事	⑮. 防火戸製建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1) (表14. 2. 1) (16. 2. 5)	外部建具の性能等級等	・ A種	・ B種	・ C種	・ ()			
		表面処理	種別	・ B-2	・ ()	・ 標準色	・ 特注色		
		内部建具							
		表面処理	種別	・ B-2	・ ()	・ 標準色	・ 特注色		
		防音ドアセット、防音サッシの遮音性	・ (等級)						
		断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性	・ (等級)						
		耐震ドアセットの面内変形追随性	・ (等級)						
		建具の見込み寸法	・ [表16. 2. 1]	・ 図示 (図面番号 :)					
		結露水の処理方法	・ (図示)						
		水切り板、ぜん板等	・ 図示 (図面番号 :)						
⑮. 網戸 (16. 2. 3)	形式	・ 可動式	・ 固定式						
	網の材質	・ 合成樹脂	・ ガラス繊維入り合成樹脂						
		・ ステンレス (SUS316)	・ ()						
	網 目	・ 16メッシュ	・ 8メッシュ	・ ()					
6. 樹脂製建具 (16. 3. 2) (16. 3. 3) (16. 3. 4) (16. 8. 2)	外部建具の性能等級等	・ A種	・ B種	・ C種	・ ()				
	外部建具の遮音性能等級								
	・ T-A種	・ T-B種	・ ()						
	外部建具の断熱性能等級								
	・ H-A種	・ H-B種	・ H-C種	・ ()					
	ガラス	・ 複層ガラス	・ ()						
	建具枠見込み寸法	・ 図示 (図面番号 :)							
	表面色	・ 標準色	・ 特注色						
	水切り板	ぜん板	・ 図示 (図面番号 :)						
	丁番	・ [表16. 8. 3]	・ 図示 (図面番号 :)						
7. 鋼製建具 (16. 4. 2) (表16. 4. 1) (表16. 2. 1) (16. 4. 3) (16. 4. 4) (表16. 4. 2)	簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号 :)							
	外部建具の耐風圧性	・ S-4	・ S-5	・ S-6					
	防音ドアセット、防音サッシの遮音性	・ (等級)							
	断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性	・ (等級)							
	耐震ドアセットの面内変形追随性	・ (等級)							
	鋼板の種類、めっき付着量	・ JIS G 3302	・ Z12	・ F12	・ ()				
		・ JIS G 3317	・ Y08	・ ()					
	鋼板類の厚さ	・ [表16. 4. 2]	・ 図示 (図面番号 :)						
		H>2400超 又は W>950超	・ 図示 (図面番号 :)						
⑮. 鋼製軽量建具 (16. 5. 2) (16. 5. 3) (16. 5. 4)	簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号 : A-36)							
	防音ドアセット、防音サッシの遮音性	・ (等級)							
	断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性	・ (等級)							
	耐震ドアセットの面内変形追随性	・ (等級)							
9. ステンレス製建具 (16. 6. 2) (16. 6. 3) (16. 6. 4) (16. 6. 5)	簡易気密型ドアセット	・ 図示 (図面番号 :)							
	外部建具の耐風圧性	・ S-4	・ S-5	・ S-6					
	防音ドアセット、防音サッシの遮音性	・ (等級)							

17	カーテンウォール工事	1. 種類	・ メタルカーテンウォール(種類)														
		(17. 1. 1)	・ PCカーテンウォール														
		(17. 1. 3)															
		2. 性能等	耐風圧性()														
		(17. 1. 3)	耐震性()														
		(17. 2. 2)	水密性()														
		(17. 3. 2)	気密性()														
			耐火性()														
			耐温度差性()														
			遮音性()														
	断熱性()																
	性能の確認・判定方法 ()																
	シーリング材の種類																
	断熱材()																
	3. メタルカーテンウォール	カーテンウォールの材料															
	(17. 2. 3)	<table><tr><th>材 料</th><th>規 格 等</th><th>見え掛け部の仕上げ</th><th>映像調整</th></tr><tr><td>・ アルミニウム製</td><td>・ 標準仕様書 [16. 2. 3]</td><td>・ A-1</td><td>・ 行う</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A-2</td><td></td></tr></table>				材 料	規 格 等	見え掛け部の仕上げ	映像調整	・ アルミニウム製	・ 標準仕様書 [16. 2. 3]	・ A-1	・ 行う	・ ()	・ ()	・ A-2	
材 料	規 格 等	見え掛け部の仕上げ	映像調整														
・ アルミニウム製	・ 標準仕様書 [16. 2. 3]	・ A-1	・ 行う														
・ ()	・ ()	・ A-2															
	(表17. 2. 1)																
	(17. 2. 5)	製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書 [表17. 2. 1]															
	(17. 2. 6)	ガラス溝の寸法、形状等 ・ カートンウォール製作所の仕様による															
		・ 図示 (図面番号 :)															
		取付け															
		躯体付け金物取付け位置の寸法許容差															
		・ 標準仕様書 [表17. 2. 2] ・ ()															
		カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差															
		・ 標準仕様書 [表17. 2. 3] ・ ()															
		ガラスの取付け ・ 構造用ガスケット (図示 (図面番号 :))															
	4. PCカーテンウォール	カーテンウォールの材料															
		コンクリートの種類及び品質															
	(17. 3. 3)																
	(17. 3. 4)	鉄筋 ・ SD295A ・ ()															
	(17. 3. 5)	補強鉄線 ・ 3. 2 ・ ()															
	(17. 3. 6)	耐火目地材 ・ ()															
	(17. 3. 9)	配筋 ・ 図示 (図面番号 :)															
		先付け材料															
		・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ ()															
		製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書 [17. 3. 13]による ・ ()															
		表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル															
		石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石 ・ ())															
		取付け															
		カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差															
		・ 標準仕様書 [表17. 3. 2] ・ ()															
		ガラスの取付け ・ 構造用ガスケット (図示 (図面番号 :))															

19

内装工事

①

ビニル床シート張り
(19. 2. 2)

種類	色柄	厚さ (mm)	継目
・ TS ・ ()	・ 無地 ・ 柄物	・ 2. 0 ・ (2. 5)	・ 溶接 ・ 突付け

2.

ビニル床タイル張り
(19. 2. 2)

寸法	種類	厚さ (mm)
・ 300×300	・ コンポジションビニル床タイル 半硬質	・ 2. 0
・ 450×450	・ コンポジションビニル床タイル 軟質	・ ()
	・ ホモジニアスビニルタイル	・ ()

3.

特殊機能床材
(19. 2. 2)

・ 帯電防止ビニルシート・床タイル 寸法 (mm)
厚さ (mm) 種類 ()

・ 視覚障害者用床タイル
材質 (・ ビニル床タイル ・ ())
寸法 (・ 300×300 ・ ())

・ 耐動荷重性床シート
種類 () 寸法 () 厚さ (mm)

・ ゴム床タイル
種類 () 寸法 () 厚さ (mm)

・ 防滑り性床シート 種類 () 性能 () 厚さ ()

④

ビニル幅木
(19. 2. 2)

高さ ・ 図示 (図面番号 :) ⑥60mm

厚さ ・ 図示 (図面番号 :) ⑥1. 5mm以上

下地 ⑥モルタル ⑥モルタル・ ⑥木造
⑥(ボード)

⑤

施工
(19. 2. 3)

継目 ・ 突付け ⑥熱溶接工法

6.

カーペット敷き
(19. 3. 3)
(19. 3. 4)
(表19. 3. 1)
(表19. 3. 2)

織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・総厚	工法
・ タフテットカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリップバー ・ 全面接着
・ ニードルパンチカーペット	・ 無地 ・ 柄物		総厚さ ・ ()	・ 全面接着
・ タイルカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6. 5mm ・ 500角	・ 全面接着

8.フローリング張り
(19. 5. 2)
(19. 5. 4)
(19. 5. 5)
(19. 5. 6)
(19. 5. 7)

材料
・ 単層フローリング
・ フローリングボード (1等)
・ フローリングボード ロック (1等)
・ モザイクボード (1等)
複合フローリング
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理
・ 図示 (図面番号 :)

接着工法

材料	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	裏面緩衝材
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ()	15	910*91	・ 合成樹脂製シート
・ フローリングボード ロック (直張用)				
複合フローリング (屋体用)	・ C種 ・ A種 ・ B種			
・ モザイクボード (直張用)		・ 図示 ()	・ 図示 ()	・ 図示 ()

現場塗装
仕上げ
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (・ A種
・ B種)
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ ()

9. 畳敷き
(19. 6. 2)
(表 19. 6. 1)

種別
・ A種
・ B種
・ C種
・ D種
・ D種の畳床TK- (・ I
・ II
・ III
・ IV)

10. せっこうボード、その他のボード及び合板張り
(19. 7. 2)
(表 19. 7. 1)
(19. 7. 3)
(表 19. 7. 4)
(表 19. 7. 5)

材種	種別	厚さ (mm)
・ せっこうボード		壁 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃)
		天井 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃)
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9. 5 (不燃)
	・ 木目模様	・ 9. 5 (準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ・ ()

		遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイコンパウンド) 合板類の張付け ・ B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ⑥ 突付け ・ 目透し 下地 ⑥ 軽量鉄骨 ・ 木造 ・ ()																																								
11. 吸音材張り (19. 7. 2)		<table><tr><th>材種</th><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>工法</th></tr><tr><td>・ 吸音用グラスウールボード ・ グラスウール成型板</td><td>・ 2号32K</td><td>・ 25</td><td>・ グラスクロス19メッシュ張り (小口共) ・ 化粧ボタン止め (タテ、ヨコ共③300程度)</td></tr></table>	材種	種別	厚さ (mm)	工法	・ 吸音用グラスウールボード ・ グラスウール成型板	・ 2号32K	・ 25	・ グラスクロス19メッシュ張り (小口共) ・ 化粧ボタン止め (タテ、ヨコ共③300程度)																																
材種	種別	厚さ (mm)	工法																																							
・ 吸音用グラスウールボード ・ グラスウール成型板	・ 2号32K	・ 25	・ グラスクロス19メッシュ張り (小口共) ・ 化粧ボタン止め (タテ、ヨコ共③300程度)																																							
		特定フロンを含まないもの																																								
⑫ 壁紙張り (19. 8. 2)		<table><tr><th>施工箇所</th><th>材料</th><th>防火性能</th><th>品質</th></tr><tr><td>壁 天井</td><td>ビニルクロス</td><td>不燃・準不燃</td><td>AA</td></tr></table>	施工箇所	材料	防火性能	品質	壁 天井	ビニルクロス	不燃・準不燃	AA																																
施工箇所	材料	防火性能	品質																																							
壁 天井	ビニルクロス	不燃・準不燃	AA																																							
		素地ごしらえ																																								
		せっこうボード面 ⑥・ B種 ・ A種																																								
		コンクリート面 ・ B種 ・ A種																																								
		モルタル・ プラスター面 ・ B種 ・ A種																																								
⑬ 断熱材 (19. 9. 2)		<table><tr><th>施工箇所</th><th>材種</th><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>外壁</td><td>⑥ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>A種1</td><td>30</td></tr><tr><td></td><td>⑥ グラスウール</td><td>10K</td><td>50</td></tr><tr><td></td><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>床</td><td>⑥ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)</td><td>2種b</td><td>30</td></tr><tr><td></td><td>・ A種硬質ウレタンフォーム保温材</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井</td><td>⑥ 高性能グラスウール</td><td>14K</td><td>155</td></tr></table>	施工箇所	材種	種類	厚さ (mm)		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)			外壁	⑥ 硬質ウレタンフォーム断熱材	A種1	30		⑥ グラスウール	10K	50		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材			床	⑥ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	2種b	30		・ A種硬質ウレタンフォーム保温材				・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)			天井	⑥ 高性能グラスウール	14K	155
施工箇所	材種	種類	厚さ (mm)																																							
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																									
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)																																									
外壁	⑥ 硬質ウレタンフォーム断熱材	A種1	30																																							
	⑥ グラスウール	10K	50																																							
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																									
床	⑥ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	2種b	30																																							
	・ A種硬質ウレタンフォーム保温材																																									
	・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)																																									
天井	⑥ 高性能グラスウール	14K	155																																							
⑳	1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)	<table><tr><th>施工箇所</th><th>所定荷重</th><th>高さ (mm)</th><th>床仕上材及び厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td><td>・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td><td>・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()</td></tr></table>	施工箇所	所定荷重	高さ (mm)	床仕上材及び厚さ (mm)	備考				・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()				・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																									
施工箇所	所定荷重	高さ (mm)	床仕上材及び厚さ (mm)	備考																																						
			・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																																						
			・ タイルカーペット ・ 6. 5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																																						
ユニット及びその他エ		試験方法 20. 2. 2 (i) ~ (iv)																																								

②0

ユニット及びその他工事

5. 階段滑り止め
(20. 2. 6)

・ ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り (両端フラットエンド付き)
・ ()
寸法 ・ 約35mm ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 8)

黒板の種類 ・ 焼付け (ホーロー)
黒板の色 ・ 緑 (白)

7. 鏡
(20. 2. 14)

厚さ (5mm) ・ (mm)

8. 表示
(20. 2. 10)

区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法
(室名札) ・ () ・ (汁合板)	・ アクリル ・ ()	(6mm)	((φ150))	(シルク スクリーン印刷) ・ ()	・ ()
・ 案内板 ・ ()	・ アクリル ・ ()	・ 5mm	・ ()	・ シルク スクリーン印刷 ・ ()	・ ()

・ 衝突防止表示 図示 (図面番号: A-33)
・ 非常用進入口表示 図示 (図面番号:)

9. 煙突
ライニング
(20. 2. 11)

煙突用成形ライニング材 ・ ゴノライト系けい酸カルシウム
・ 心材付き繊維積層
適用安全使用温度 ・ (℃)

10. ブラインド
(20. 2. 12)

形式	スラット	開閉方式	スラットの 成形幅 (mm)	ヘッドボックス・ ボトムレールの種類
・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()
・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()	・ ()

11. ロール
スクリーン
(20. 2. 13)

操作方法 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式
寸法及び材質種 ・ 図示 (図面番号:)

12. カーテン及び
カーテンレール
(20. 2. 14)

カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ ・ レース ・ 図示 ()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動
・ 暗幕 (遮光 () 級)	・ ()	・ ()	・ ()

カーテンレール ・ アルミ製 (ステンレス製)
強さ区分 ・ 10-90 ・ ()
形状 ・ シングル (ダブル)
断面形状 (角形) ・ C形 ・ D形

13. プレキャスト
コンクリート工事
(20. 3. 2)
(20. 3. 3)
(20. 3. 4)

補強鉄線の径 ・ 3. 2mm ・ ()
設計基準強度F_c ・ 図示 (図面番号:)
配筋 ・ 図示 (図面番号:)
取付方法 ・ 図示 (図面番号:)

14. 間知石
間知ブロック積
(20. 4. 2)
(20. 4. 3)

材質 ・ ()
種類及び質量区分 ・ 図示 (図面番号:)
積み方 ・ 谷積み ・ 布積み
目塗り ・ ()
伸縮調整目地 ・ 材質 () ・ 厚さ (mm)

②1

排水工事

1. 排水管
(21. 2. 1)
(表21. 2. 1)

排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2. 排水樹等
(21. 2. 1)

・ 排水樹
種類及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
・ 適用荷重 ()
(排水溝)
種類及び寸法 (図示 (図面番号: A-22))
(ふた/グレーチングの種類)

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考
スチール	雨水排水	歩道用	15mm	細目/ノスリッパ

3. 地業の材料
(21. 2. 1)

・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石
・ 砂の粒度試験

4. 埋め戻し土
(21. 2. 1)

・ B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土

5. 施工
(21. 2. 2)

遠心力鉄筋コンクリート管
厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:)
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:)
継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪

6. 街きょ
緑石、側溝
(21. 3. 1)
(21. 3. 2)

コンクリート緑石、側溝
形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:)
地業
材質 ・ 標準仕様書 [4. 6. 2] ・ 図示 (図面番号:)
厚さ ・ 100mm ・ 図示 (図面番号:)

22

舗装工事

1. 路床
(22. 2. 2)
(22. 2. 3)
(表22. 2. 2)
(22. 2. 4)
(22. 2. 5)

路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:))
・ 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂
・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ()
・ フィルター層 ・ 砂
路床安定処理 ・ 行う
添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント
・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号
・ 消石灰 () 号
添加量 () kg/m³ (目標CBR ・ 5以上 ・ ())

ジオテキスタイル ・ 適応する
盛土に用いる材料
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合: 建設発生土受入量 () m³
片道の運搬距離 () km
試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2. 路盤
(22. 3. 2)
(表22. 3. 1)
(22. 3. 3)
(表22. 3. 2)
(22. 3. 5)

舗装の種類	舗装の厚さ (mm)	路盤材料
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシュラン
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ
・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシュラン ・ ()
・ ()	・ () ・ ()	

23

植栽工事

3. アスファルト
舗装
(22. 4. 2) ~
(22. 4. 6)
(表22. 4. 1) ~
(表22. 4. 6)

舗装厚 ・ A-5-15 ・ ()
・ A-3-10 ・ ()
表層及び基層の種類
・ 加熱アスファルト混合物 ・ 再生加熱アスファルト混合物
路盤材料
・ クラッシュラン ・ 再生材クラッシュラン ・ ()
シールコートの施工 ・ 行う (適用範囲 図示 (図面番号:))
試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験

4. コンクリート
舗装
(22. 5. 2) ~
(22. 5. 6)

早強セメント ・ 使用しない ・ 使用する
注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
目地 ・ 種類 () ・ 間隔 ()
構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ ()

5. カラー舗装
(22. 6. 2)
(22. 6. 3)

種類
・ 加熱系 構成及び厚さ ()
混合物 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系
添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石
・ 常温系
着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装

6. 透水性アス
ファルト舗装
(22. 7. 2)
(表22. 7. 1)

舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ (mm) ・ () ・ 図示 (図面番号:)

7. ブロック系舗装
(22. 8. 2)
(22. 8. 3)

舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ ()
	・ 植生用ブロック		・ 80 ・ 100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

8. 砂利敷き
(22. 9. 2)

・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ ()
・ 建物周囲 ・ B種 ・ A種 ・ ()

24

外構工事

1. 旗竿
(24. 2. 1)

材質 ・ アルミニウム製 ・ ()
形式 ・ テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式
脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式
高さ (m) ・ 5 ・ 6 ・ 7

2. フェンス
(24. 2. 2)

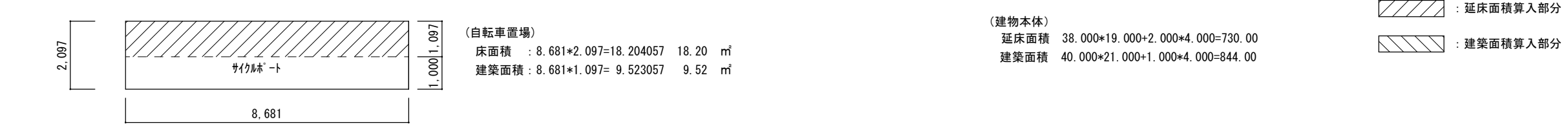
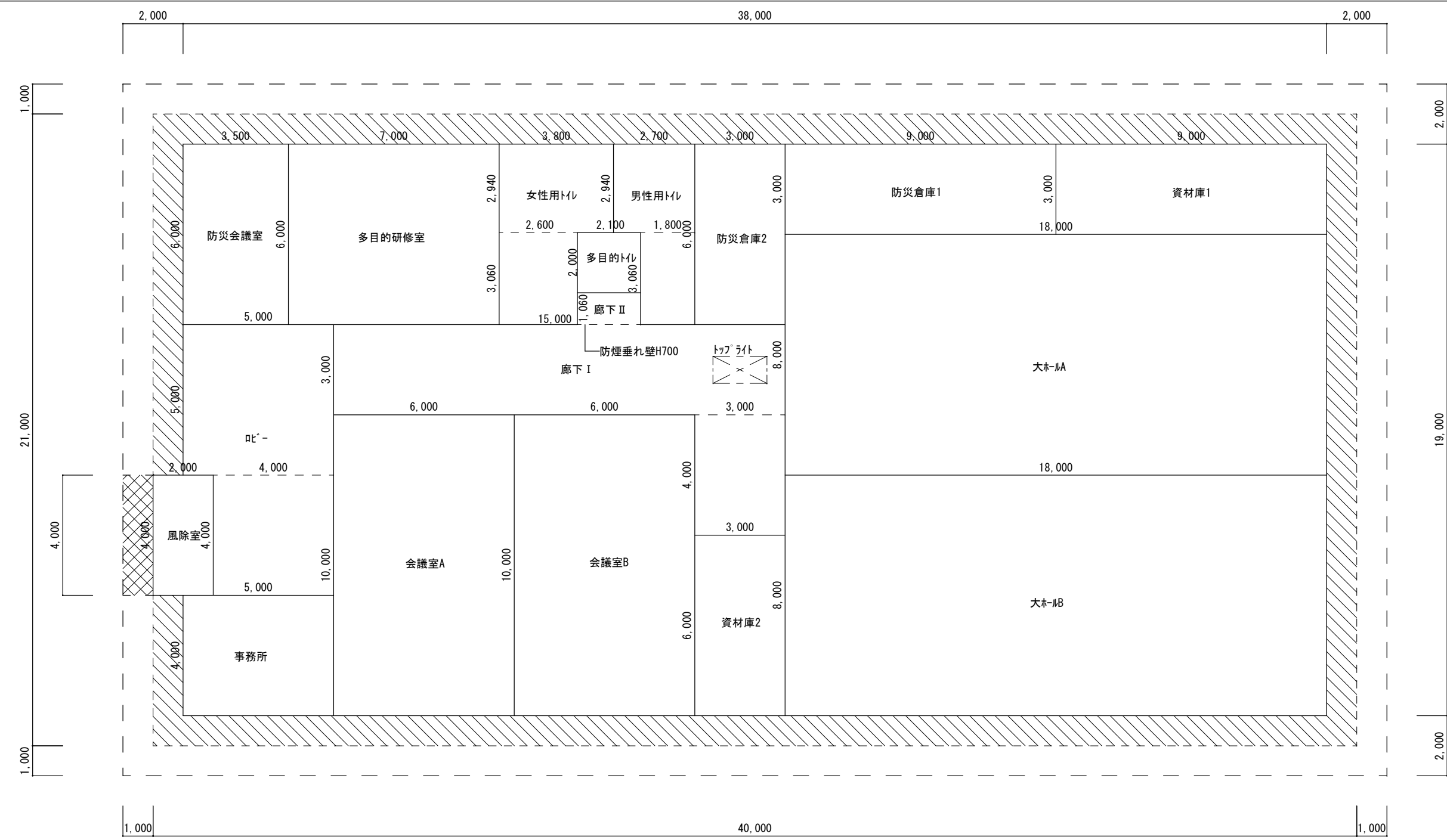
・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ())
(メッシュフェンス)
網材種 (樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
・ 格子フェンス
網材種 (樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())

総合仮設・直接仮設 工事区分						
工事	工 種	項 目	工 事 区 分			
			建築	電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品				
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可
		工事施設	仮囲い	○		
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、 建築請負業者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	○	
		搬重機費	○	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	○	
	直接仮設工事	仮設足場	○			各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。
		清掃・片付け	○	○	○	
		養生	○	○	○	

工事区分									
No.		建築	電気	機械	No.		建築	電気	機械
1	機械基礎及びその仕上	○			28	避難器具			
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に關するスリーブ及び箱入れ		○	○	29	浄化槽・受水槽・その他の水槽等のコンクリート躯体・断熱及び防水工事			
3	同上 鉄筋補強	○			30	同上 内部仕上・マンホール及びタラップ			
4	鉄骨造の設備工事に關するスリーブ及び補強				31	ガソリントラップ及びコンクリート製グリーストラップ			
5	機器取付用フック・架台		○	○	32	排水溝（厨房・敷地内通路・機械室）・ルーフファン・フロアドレン・雨水排水竖樋	○		
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強				33	雨水排水竖樋の樹までの横引き			○
7	軽量鉄骨下地天井、	補強	○		34	雨水配管の防露工事			
	壁ボード類の切込	切込		○	○	35	ビット・トレンチ内の排水設備工事		
8	埋込分電盤	補強	○		36	出入口のマット下排水目皿及び排水設備工事			○
	端子盤 フルボックス	切込		○	○	37	陶製以外の流し類（業務用等の厨房流しを除く）	○	
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	○	38	同上 接続工事			○
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブコンクリート仕上				39	浴槽			
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○	○	40	鏡	○		
12	屋内外ビット・トレンチ及びそれらの蓋マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○	○	41	建物外内壁・ドア・窓枠の取付けるガラリ類（ガラリ取付本枠等も含む）	○		
13	屋外配管用スタンション		○	○	42	シャッター・自動ドア等制御盤から電動盤・スイッチ等に到る配管・配線		○	
14	二重スラブ内の水及び空気の漏通管二重壁内の湧水処理費				43	ウェザースタップ・ベントキャップ			○
15	大理石・テラゾー・ALC・PC・RC版・鋼板などの穴あけ		○	○	44	洗面カウンター	○		
16	同上 穴あけに伴う補強	○			45	消火器	○		
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○	○	46	衛生器具ユニット（ウォール一体型洗面カウンター含む）			○
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカー・火災報知機・換気扇等の穴あけ		○	○	47	吊ボルト用インサート	○	○	○
19	同上 天井穴あけ部の下地補強	○			48	エアコンのリモコン配管、配線、制御配線			○
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの点検口	○			49	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管・配線			
21	ユニットシステム（バス・トイレ・キッチン）及び内部の配管・配線	○			50	小便器用節水装置の制御盤以降の配管・配線			
22	ユニットシステム（バス・トイレ・キッチン）への配管・配線及び接続		○	○	51	電力	○	○	○
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺（設備機器に装着するものを除く）				52	用水	○	○	○
24	換気扇取付枠			○					
25	同上 穴あけに伴う補強	○							
26	配電盤・制御盤等の基礎（屋内外）								
27	ルーフファン								

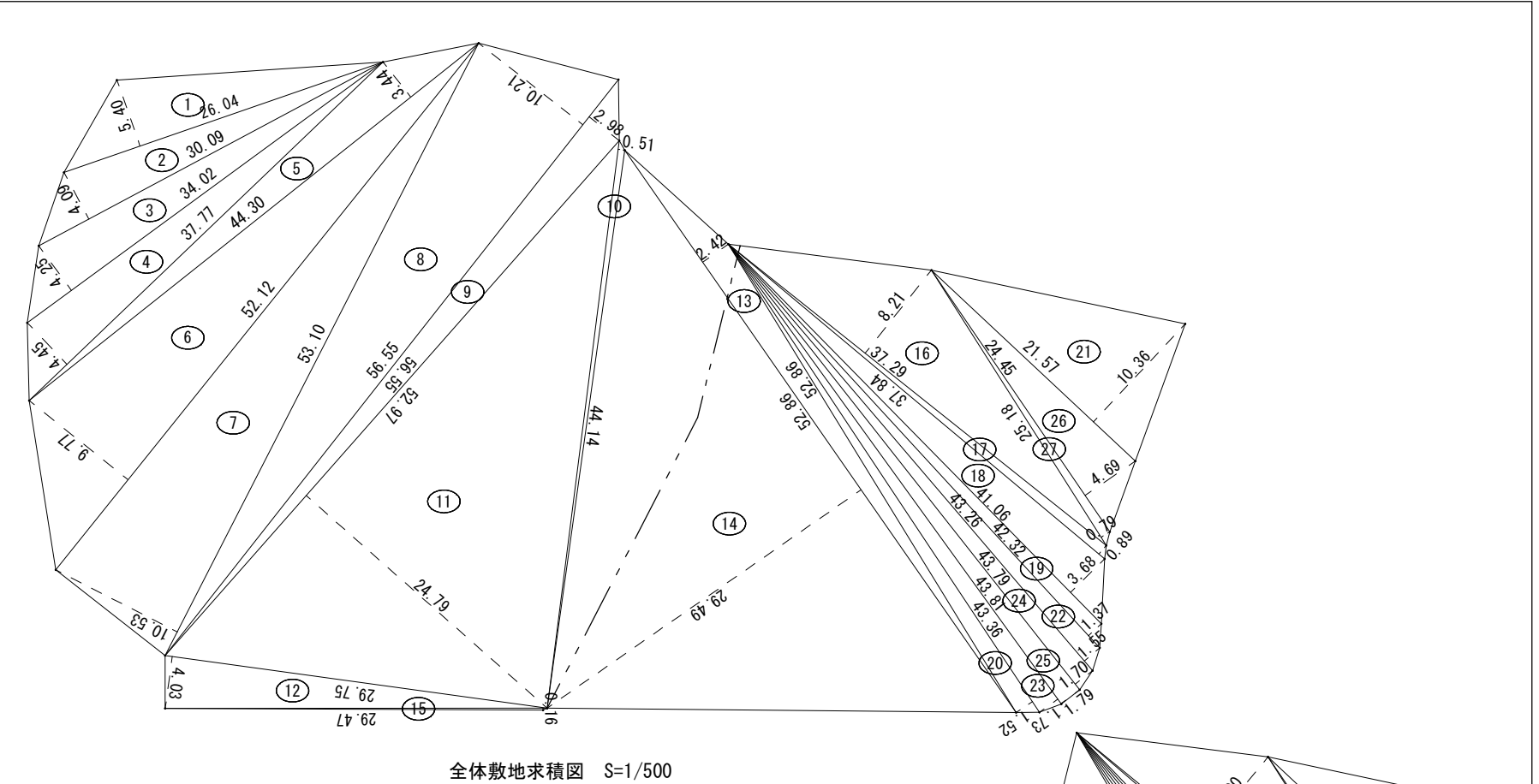
外 部 仕 上 表									
屋根・樋		外壁・軒天井		アプローチ・他		外構工事		防火認定・凡例等・その他	
屋根	カラー(フ素)カラーバリエーション銅板 t 0.4 吊子式立平葺	外壁	押出成形セメント板 t 60 FP060NE-9035 の上	アプローチ	磁器質タイル600×300(無軸) ノンスリップタイプ	シャッター前	U-180	耐火構造	GB-R t12.5 不燃NM-8619 ケーブル t5 不燃NM-8578
	スワッチカラーリング 940		GL+300～+2850 着色剤混合浸透性撥水剤 塗布		準不燃QM-9828 キッチンパネル 不燃NM-2576				
	耐火野地板 t 18 FP030RF-1764		内側建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォームLA種 t 30		不燃化粧ケイ酸板 不燃NM-1453				
	垂木 C-100×50×20×2.3@455				岩綿吸音板 t 9.0 不燃NM-8599				
	軒樋 AL t 2曲げ加工 堅樋 VP75Φ				ビニルクロス貼(下地PB) 準不燃QM-0814				
庇	St PL-3.2 Z55	風除室	押出成形セメント板 t 60 FP060NE-9035 レーカフスター工法	玄関	SUSラインマット 細目ノンスリップタイプ W1800×D300枠共	手摺	SUS手摺H800	外壁	GB-NC t9.5 不燃NM-1864 ビニルクロス貼(下地PB) 不燃NM-3991
			不燃耐水プラスチックボード t 12.5下地						
			カラー(フ素)カラーバリエーション銅板 t 0.4 吊子式立平葺						
風除室	コンクリート打ち放し補修の上ウレタン系塗膜防水X-2	風除室	コンクリート打ち放しの上浸透性撥水剤 塗布	コンクリート打ち放しの上補修仕上		基礎立上		屋根	下地PB+桧 t6(むくふなん同等品) 準不燃QM-0505
	堅樋 VP50Φ								断熱材 熱伝導率 0.040以下
									屋根・天井 高性能グラスウール14K t 155
									外壁 建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォームLA種 t 30
									+グラスウール10K t 50
※ 耐風梁・開口補強についても 主要構造部と同様の耐火被覆を施す								床	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種 t 30
断熱等級4の仕様をクリアできれば吹付け厚さの変更は認めます									
結露防止の為 外壁に面する壁仕上部分には防湿ポリエステルフィルム t 0.15を張ること									
結露防止の為 天井げ部分には防湿ポリエステルフィルム t 0.15を張ること									
※接着剤は全てF☆☆☆☆とし、石綿及びクロホル素の使用はしない。									
各室 内装仕上の部分 床・壁・天井・ドア 全て規制対象外									
天井裏等への措置									
各階天井裏 各階床裏 外壁 間仕切り壁 物入 規制対象外又はF☆☆☆☆									

内 部 仕 上 表															
※GB-R：せっこうボード GB-D：化粧せっこうボード GB-S：耐水せっこうボード GB-F：強化せっこうボード															
階	室 名	床			巾 木	壁		天 井 廻 縁	天 井		室 名	天井高 基準 F Lより	内装制限	サイン	備 考 ※(別途)・・・別途工事を示す。
		仕 上 げ	下 地	床高 (GL+)		壁 仕 上	下 地		仕 上	下地					
1	風除室	磁器質タイル600×300(無軸) ノンスリップ タイプ	モルタル	120	コンクリート打ち放し仕上	コンクリート打ち放しの上浸透性撥水剤 塗布	コンクリート		コンクリート打ち放しの上浸透性撥水剤 塗布		風除室	2400	○		ビーン・マグネット兼用掲示板 ホワイトボード
	ロビー	複層ビニル床シート t 2.5 磁器質タイル600×300(無軸) ノンスリップ タイプ	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品) 一部GB-R t 12.5の上 桧 t 6貼 準不燃以上	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5の上ビニルクロス貼り(中級品)	LGS	ロビー	2700	○		上り框：御影石W100×t20 本磨き 下足棚 ビンテージレール カテンボックス
	廊下	複層ビニル床シート t 2.5	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品) 準不燃以上	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5の上ビニルクロス貼り(中級品)	LGS	廊下	2700	○		ビンテージレール 防煙垂れ壁H700 埋込型消火器BOX
	事務室	複層ビニル床シート t 2.5	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品)	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	事務室	2700	○	○	受付カウンター ミニキッチンW1200 カテンボックス ホワイトボード(月予定)
	防災会議室	複層ビニル床シート t 2.5	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品)	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5捨て貼りの上岩綿吸音板 t 9.0	LGS	防災会議室	2700	○	○	可動間仕切り カテンボックス
	多目的研修室	複層ビニル床シート t 2.5	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品) 流し前 GB-S t 12.5の上セラミックタイル	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5捨て貼りの上岩綿吸音板 t 9.0	LGS	多目的研修室	2700	○	○	ホワイトボード 洗面カウンター 洗面タイル(別途) ミニキッチンW1200 掃除用具入れ カテンボックス
	会議室A・B	複層ビニル床シート t 2.5	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上ビニルクロス貼り(中級品)	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5捨て貼りの上岩綿吸音板 t 9.0	LGS	会議室A・B	2700	○	○	ホワイトボード 可動間仕切り カテンボックス
	資材庫1・2	ケイ酸塩系コンクリート表面強化剤 塗布	モルタル	150	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上EP塗装	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	資材庫1・2	2700		○	
	防災倉庫1・2	ケイ酸塩系コンクリート表面強化剤 塗布	モルタル	30～50	ビニル幅木H60	GB-R t 12.5の上EP塗装	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	防災倉庫1・2	2700		○	
	大ホールA・B	ステージ施設用乾式二重床H150の上 構造用合板 t 12 複合フローリング t 15 材 塗装品	コンクリート	150	木製幅木H100 米楯OS	GB-F t 12.5捨て貼りの上 (南北面) 有孔シタペーニヤ t 4 OS 裏面寒冷紗貼り (東西面) シタペーニヤ t 4 OS	LGS	塩ビ	GB-R t 9.5捨て貼りの上岩綿吸音板 t 9.0	LGS	大ホールA・B	4000	告示適用 天井：準不燃以上 壁：難燃以上	○	手動式収納ステージ W6000×D2000×H200 可動間仕切り カテンボックス 天井埋込型電動スクリーン (78ミリスクリーンボックス共)
	男性用トイレ	トイレ用防滑性ビニル床シート t 2.5 ノーフラックス抗菌タイプ 汚重石タイル t5	モルタル	150	GB-S t 12.5捨て貼りの上 不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	GB-S t 12.5捨て貼りの上不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	男性用トイレ	2700		○	洗面カウンター(別途) 洗面タイル(別途) エアータール(別途) ミラー ラインنگ トイレブース SK(別途) 小便器(別途) 手摺(別途) 洋便器(別途) L型手摺(別途) 紙巻器(別途)
	女性用トイレ	トイレ用防滑性ビニル床シート t 2.5 ノーフラックス抗菌タイプ	モルタル	150	GB-S t 12.5捨て貼りの上 不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	GB-S t 12.5捨て貼りの上不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	女性用トイレ	2700		○	洗面カウンター(別途) 洗面タイル(別途) エアータール(別途) ミラー ラインنگ トイレブース SK(別途) 洋便器(別途) L型手摺(別途) 紙巻器(別途)
	多目的トイレ	トイレ用防滑性ビニル床シート t 2.5 ノーフラックス抗菌タイプ	モルタル	150	GB-S t 12.5捨て貼りの上 不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	GB-S t 12.5捨て貼りの上不燃化粧ケイ酸板 t 6.0	LGS	塩ビ	GB-D t 9.5	LGS	多目的トイレ	2700		○	コンパクト多機能トイレタイプ(別途) ペビークーティ7(別途) エアータール(別途)



■法規チェック

室名			床面積 (㎡)	採光の検討 1/20		換気の検討 1/20		排煙の検討 1/50		室名
				必要面積	計 算 式	必要面積	計 算 式	必要面積	計 算 式	
○	風除室	2.000+4.000=8.000	8.00					0.16	小規模であり避難上支障がないため	風除室
	ロビー	5.000+5.000=25.000 4.000+4.000=16.000 25.000+16.000=41.000	41.00							ロビー
	廊下Ⅰ	15.000+3.000=45.000 3.000+4.000=12.000 45.000+12.000=57.000	57.00						AW1 1.71+0.685+0.5=0.585675 TP 1.50+1=1.50	廊下Ⅰ
	ロビー→廊下Ⅰ	41.00+57.00=98.00	98.00					1.96	0.585675+1.50=2.085675	ロビー→廊下Ⅰ
	廊下Ⅱ	2.100+1.060=2.226	2.23					0.0446	防煙区画 告示第1436号の4-ニ-2	廊下Ⅱ
	廊下Ⅰ+廊下Ⅱ	45.000+12.000+2.226=59.226	59.23							廊下Ⅰ+廊下Ⅱ
	事務室	5.000+4.000=20.000	20.00	1.00	AW1 1.71+1.785+2=6.1047	1.00	AW1 1.71+1.785+0.5+2=3.05235	0.40	AW1 1.71+0.685+0.5+2=1.17135	事務室
	防災会議室	3.500+6.000=21.000	21.00	1.05	AW1 1.71+1.785+2=6.1047	1.05	AW1 1.71+1.785+0.5+2=3.05235	0.42	AW1 1.71+0.685+0.5+2=1.17135	防災会議室
	多目的研修室	7.000+6.000=42.000	42.00	2.10	AW3 1.72+1.785+2=6.1404	2.10	AW3 1.72+1.785+0.5+2=3.0702	0.84	AW3 1.72+0.685+0.5+2=1.1782	多目的研修室
	会議室A	6.000+10.000=60.000	60.00	3.00	AW2 2.17+1.785+2=7.7469	3.00	AW2 2.17+1.785+0.5+2=3.87345	1.20	AW2 2.17+0.685+0.5+2=1.48645	会議室A
	会議室B	6.000+10.000=60.000	60.00	3.00	AW2 2.17+1.785+2=7.7469	3.00	AW2 2.17+1.785+0.5+2=3.87345	1.20	AW2 2.17+0.685+0.5+2=1.48645	会議室B
	資材庫1	9.000+3.000=27.000	27.00					0.54	AW6 1.725+0.30+2+1.720+0.30=1.551	資材庫1
	資材庫2	3.000+6.000=18.000	18.00					0.36	AW8 1.71+0.30=0.513	資材庫2
	防災倉庫1	9.000+3.000=27.000	27.00					0.54	SS2 3.50+0.69=2.415	防災倉庫1
	防災倉庫2	3.000+6.000=18.000	18.00					0.36	SS1 1.70+0.69=1.173	防災倉庫2
	大ホールA	18.000+8.000=144.000	144.00	7.20	AW1 1.71+1.785=3.05235 AD4 1.69+2.685=4.5376 3.05235+4.5376=7.5899	7.20	AW1 1.71+1.785+0.5=1.526175 AD4 1.69+2.685=4.5376 AW7 1.71+0.50+2=1.71 1.526175+4.5376+1.71=7.7737	2.88	H12告示第1439号 適用 天井材：準不燃以上	大ホールA
	大ホールB	18.000+8.000=144.000	144.00	7.20	AW4 (1.725+2+1.720)*1.785+2=18.4569	7.20	AW4 (1.725+2+1.720)*1.785+0.5+2=9.22845	2.88	H12告示第1439号 適用 天井：準不燃以上	大ホールB
	男性用トイレ	2.7000+2.940=7.938 1.800+3.060=5.508 7.938+5.508=13.446	13.45					0.269	AW5 0.81+0.685=0.55485	男性用トイレ
	女性用トイレ	3.800+2.940=11.172 2.600+3.060=7.956 11.172+7.956=19.128	19.13					0.3826	AW5 0.81+0.685=0.55485	女性用トイレ
	多目的トイレ	2.100+2.000=4.200	4.20					0.084	防煙区画 告示第1436号の4-ニ-2	多目的トイレ



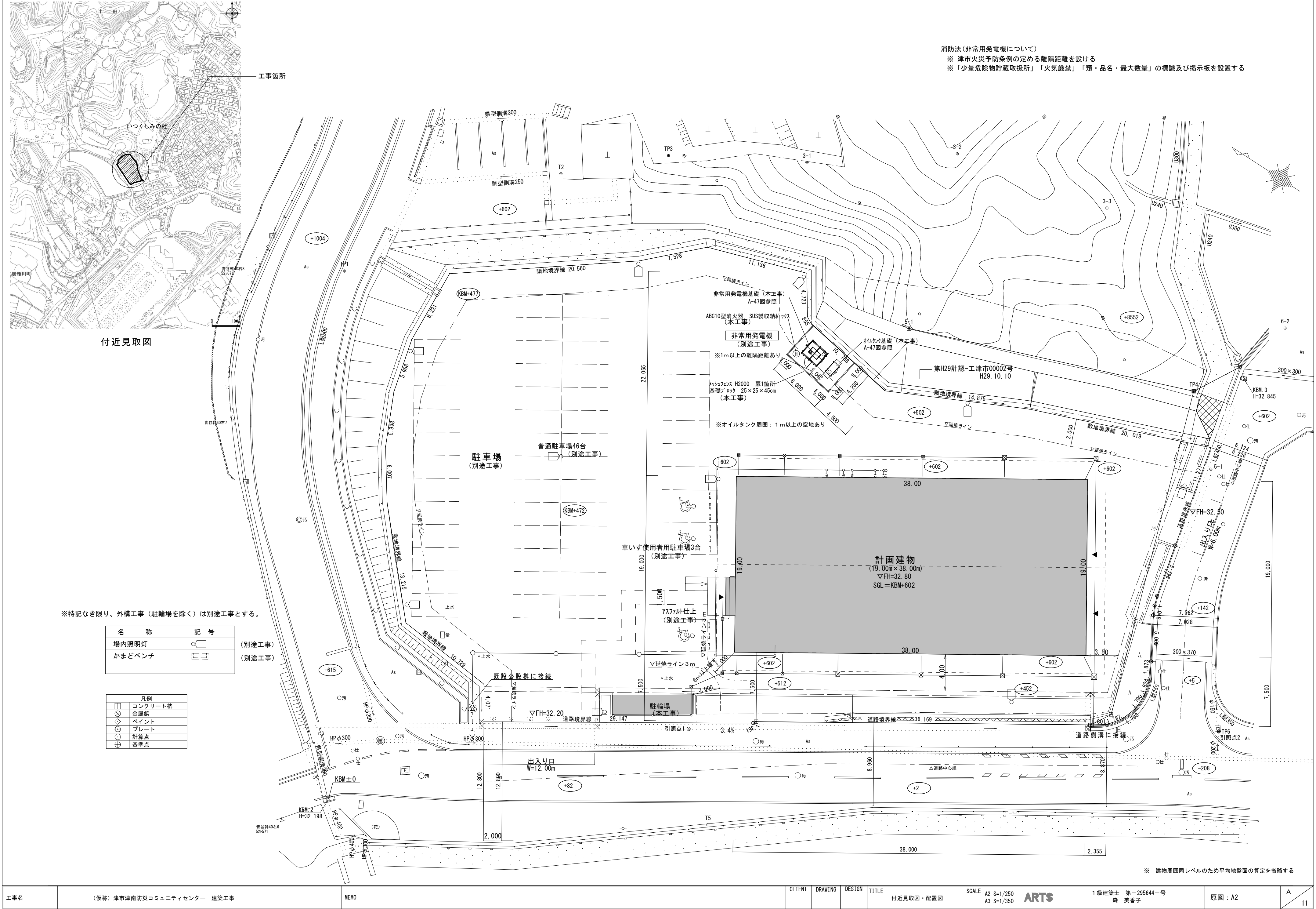
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	26.04	5.40	140.6160	70.30800
2	30.09	4.09	123.0681	61.53405
3	34.02	4.25	144.5850	72.29250
4	37.77	4.45	168.0765	84.03825
5	44.30	3.44	152.3920	76.19600
6	52.12	9.77	509.2124	254.60620
7	53.10	10.53	559.1430	279.57150
8	56.55	10.21	577.3755	288.68775
9	56.55	2.98	168.5190	84.25950
10	44.14	0.51	22.5114	11.25570
11	52.97	24.79	1,313.1263	656.56315
12	29.75	4.03	119.8925	59.94625
13	52.86	2.42	127.9212	63.96060
14	52.86	29.49	1,558.8414	779.42070
15	29.47	0.16	4.7152	2.35760
16	37.29	8.21	306.1509	153.07545
17	37.84	0.89	33.6776	16.83880
18	41.06	3.68	151.1008	75.55040
19	42.32	1.37	57.9784	28.98920
20	43.36	1.52	65.9072	32.95360
21	21.57	10.36	223.4652	111.73260
22	43.26	1.55	67.0530	33.52650
23	43.81	1.73	75.7913	37.89565
24	43.79	1.70	74.4430	37.22150
25	43.81	1.79	78.4199	39.20995
26	24.45	4.69	114.6705	57.33525
27	25.18	0.79	19.8922	9.94610
合 計				3,479.27275
敷 地 面 積				3,479.27 m²

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	41.85	9.56	400.0860	200.04300
2	36.52	7.90	288.5080	144.25400
3	36.16	22.54	815.0464	407.52320
4	37.08	0.88	32.6304	16.31520
5	40.35	3.63	146.4705	73.23525
6	21.57	10.36	223.4652	111.73260
7	41.63	1.35	56.2005	28.10025
8	42.77	1.53	65.4381	32.71905
9	42.59	1.53	65.1627	32.58135
10	43.20	1.74	75.1680	37.58400
11	43.15	1.69	72.9235	36.46175
12	43.20	1.79	77.3280	38.66400
13	24.45	4.69	114.6705	57.33525
14	25.18	0.79	19.8922	9.94610
合 計				1,226.49500
敷 地 面 積				1,226.49 m²

3,479.27-1,226.49=2,252.78
市街化調整区域 敷地面積：2,252.78 m²
第一種低層住居専用地域 敷地面積：1,226.49 m²

■収容人員算定
従業員（4人）+防災会議室（21.00㎡/0.5=42人）+多目的研修室（42.00㎡/0.5=84人）+会議室A（60.00㎡/0.5=120人）+会議室B（60.00㎡/0.5=120人）+大ホールA（144.00㎡/0.5=288人）+大ホールB（144.00㎡/0.5=288人）+ロビー→符合（15.00㎡/0.5=30人）=976人
※消防法上の無窓階計算に算定する建具について、開口部まで及び開口部から道又は道に通ずる通路は、幅員1m以上である
※消防法上の無窓階計算に算定する建具について、建物内部から鍵を用いずに手動開放可能である
※カーテン・じゅうたん等は防災物品とする
※防災倉庫の保管物品は非常食、毛布、救急用品、テントなどで危険物等はなし
※資材庫の保管物品は机、椅子などで危険物等はなし

有窓階・無窓階算定（消防法施行規則第5条の2）									
消防活動に必要な開口 1/30		延 床 面 積		有窓開口面積		有窓開口面積		有窓開口面積	
必要開口面積		730.00		有窓開口面積		有窓開口面積		有窓開口面積	
建具記号		有効開口面積（直径1m以上の円が内接する開口、もしくは75cm以上×1.2m以上の開口が2ヶ所以上） +（直径50cm以上の円が内接する開口）※開口下端が1.2m以下		有効開口面積（m²）		有効開口面積（m²）		有効開口面積（m²）	
24.334	SS/1	床面からの高さ	ガラスの種類	幅（m）× 高さ（m）× ヶ所		SS/1	FL±0	1.70×2.81×1ヶ所	4.777
	SS/2					SS/2	FL±0	3.50×2.81×1ヶ所	9.835
	AW/1		TP5	1.71×1.785×0.5×8ヶ所	12.2094	AW/1	FL+900		
				以下省略					



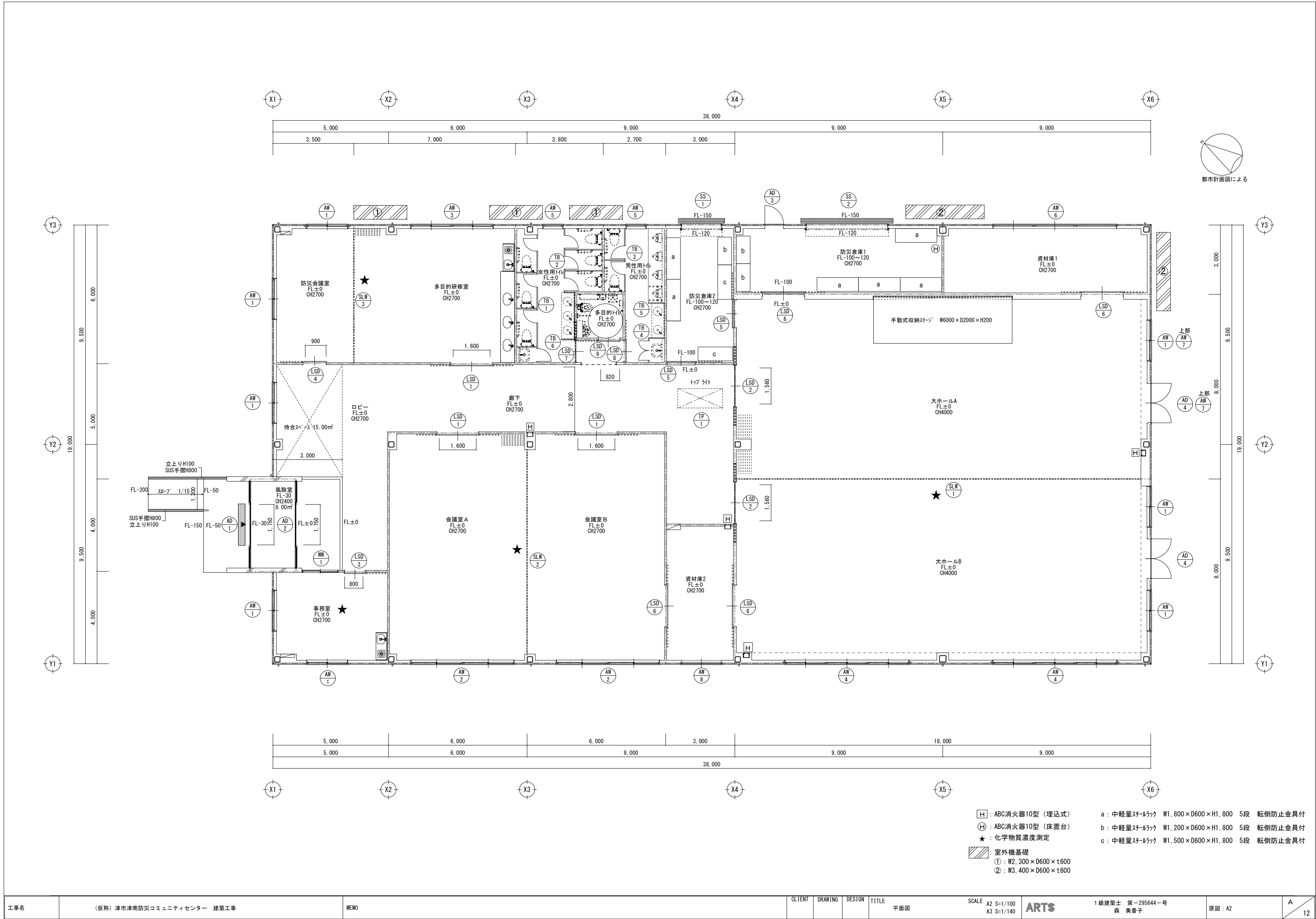
消防法(非常用発電機について)
※ 津市火災予防条例の定める離隔距離を設ける
※ 「少量危険物貯蔵取扱所」「火気厳禁」「類・品名・最大数量」の標識及び掲示板を設置する

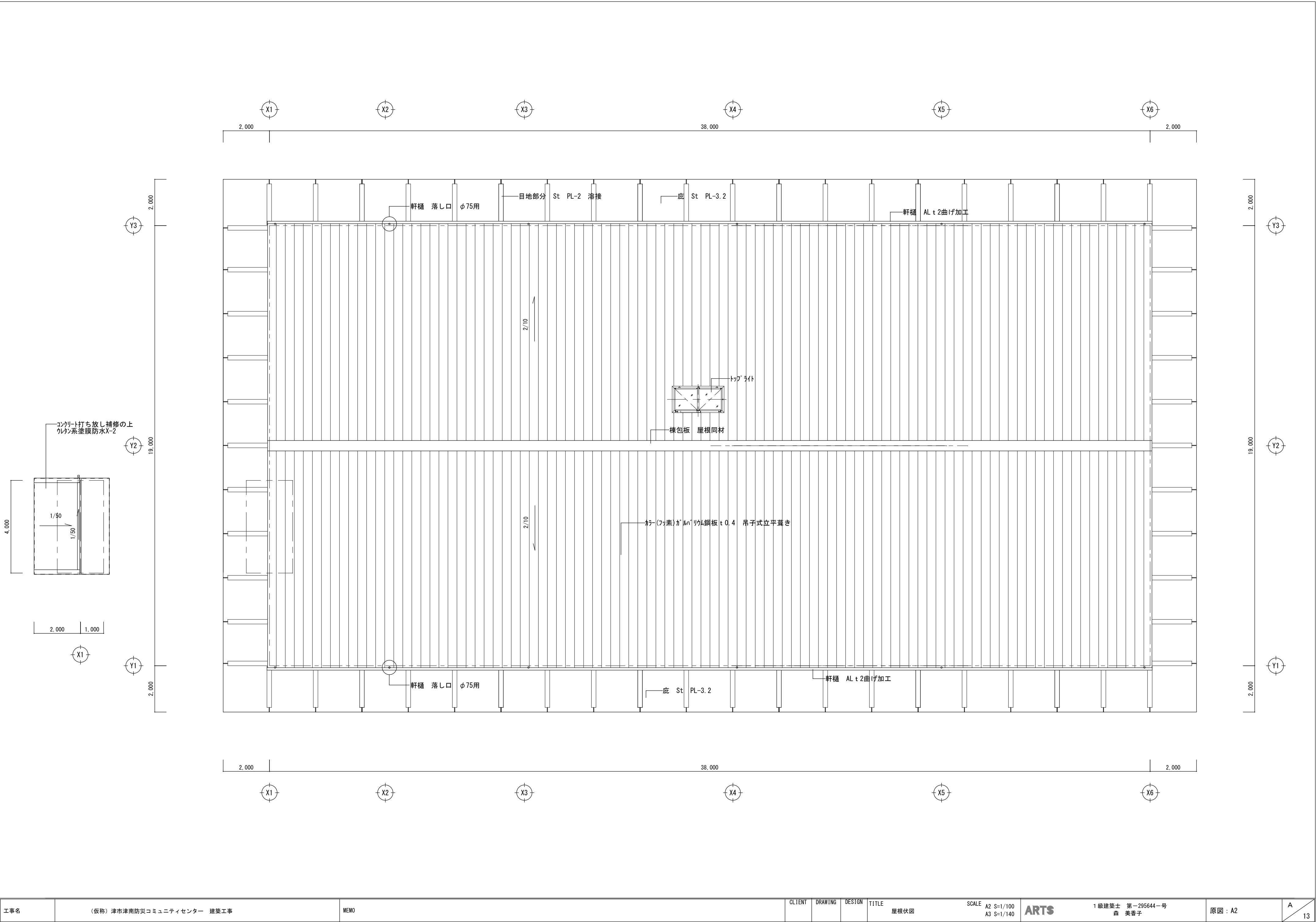
※特記なき限り、外構工事(駐輪場を除く)は別途工事とする。

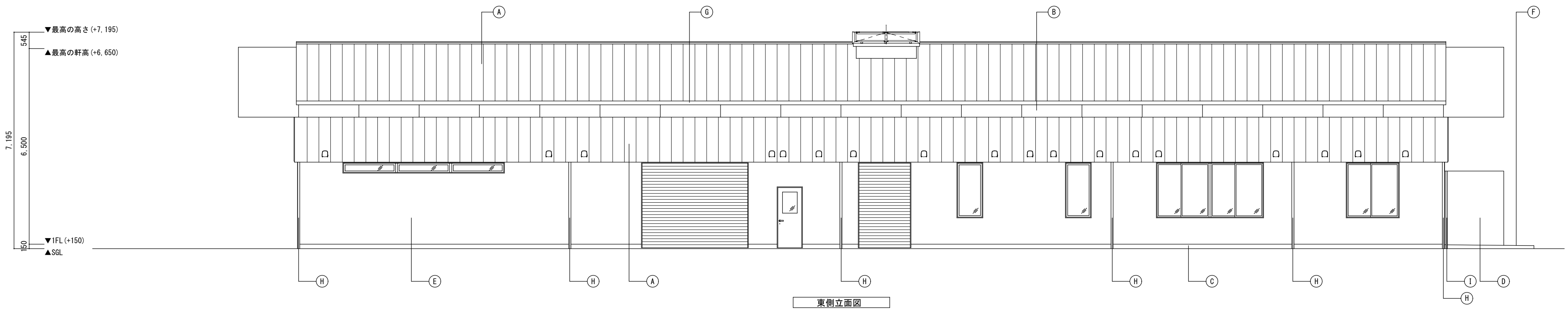
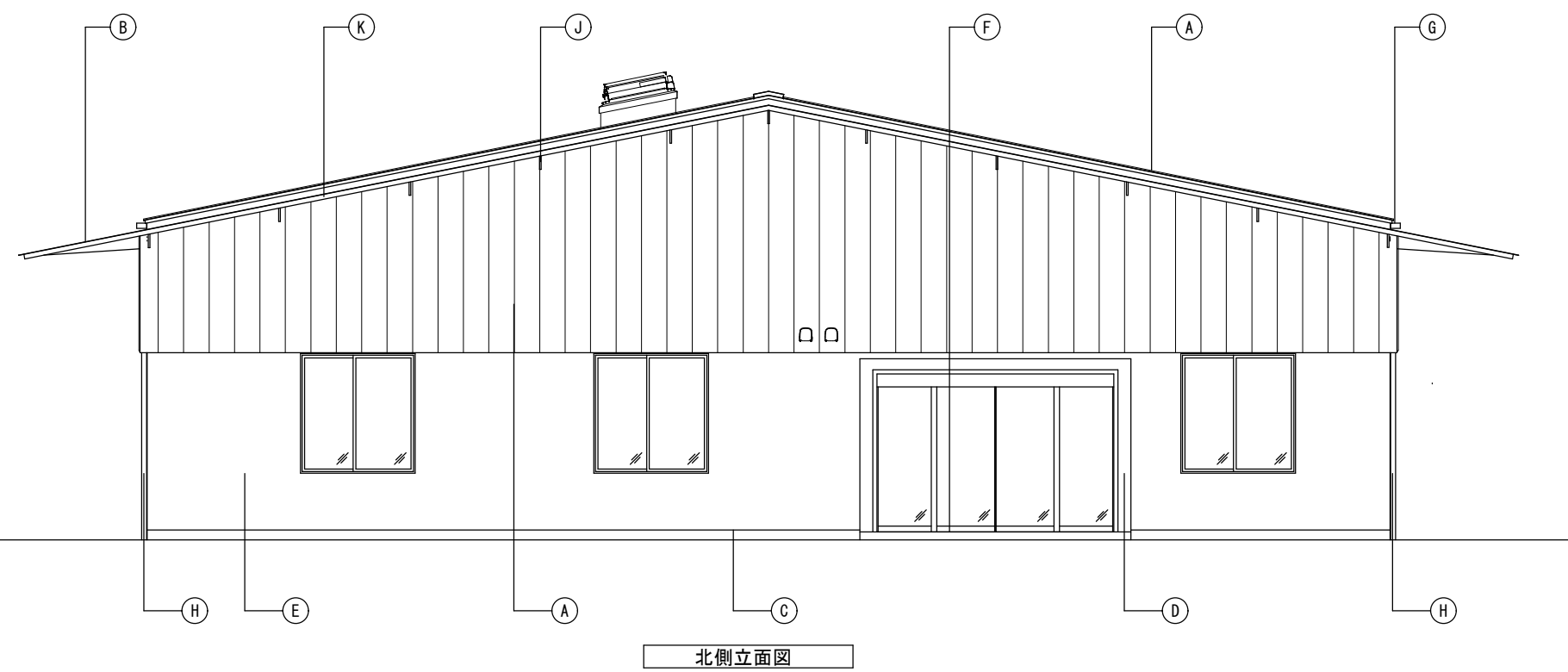
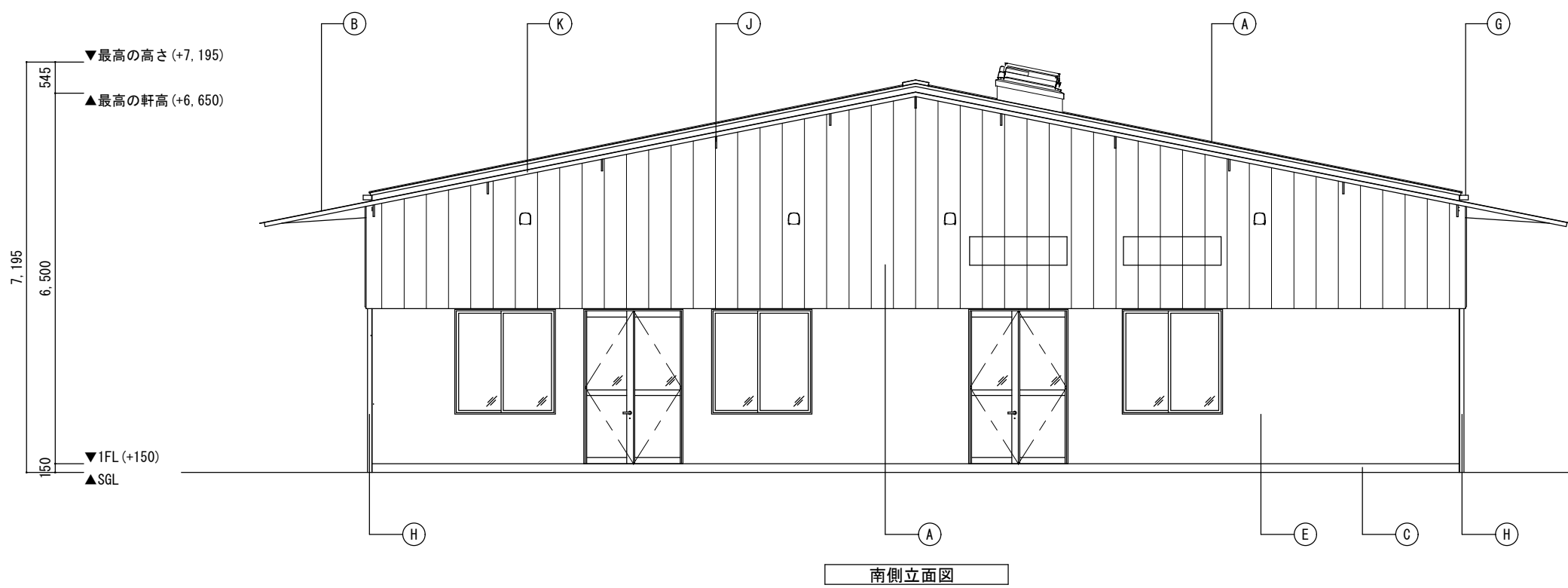
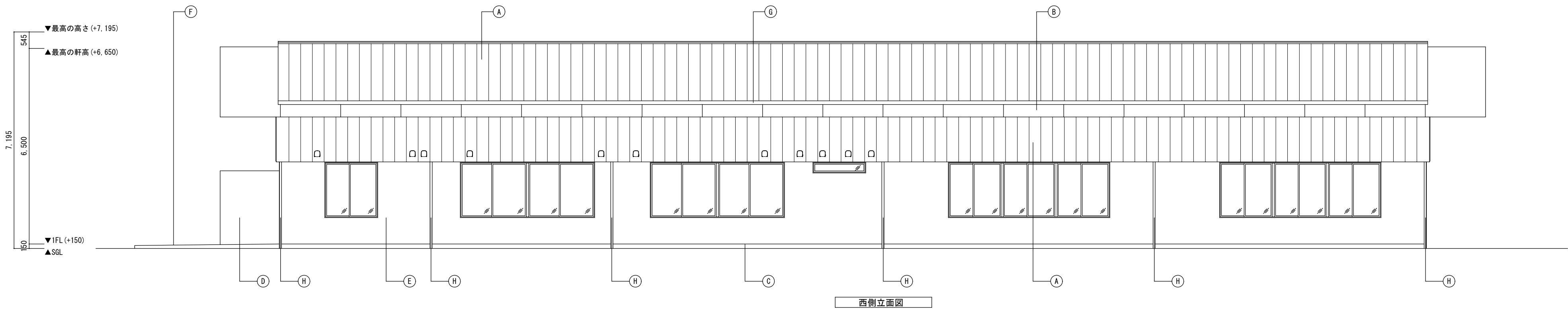
名 称	記 号	
場内照明灯		(別途工事)
かまどベンチ		(別途工事)

凡 例	
	コンクリート杭
	金属板
	ペイント
	プレート
	計算点
	基準点

※ 建物周囲同レベルのため平均地盤面の算定を省略する

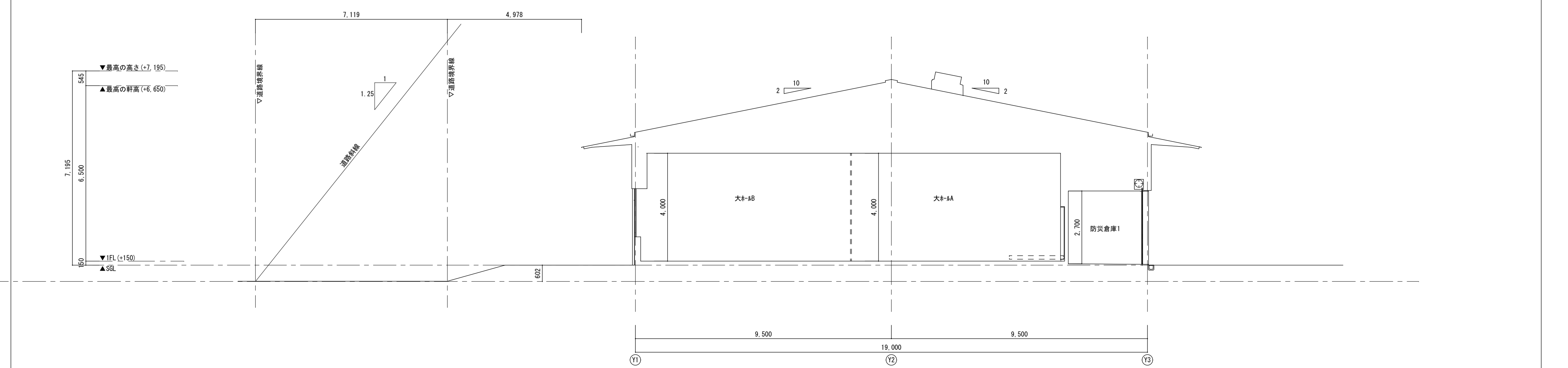
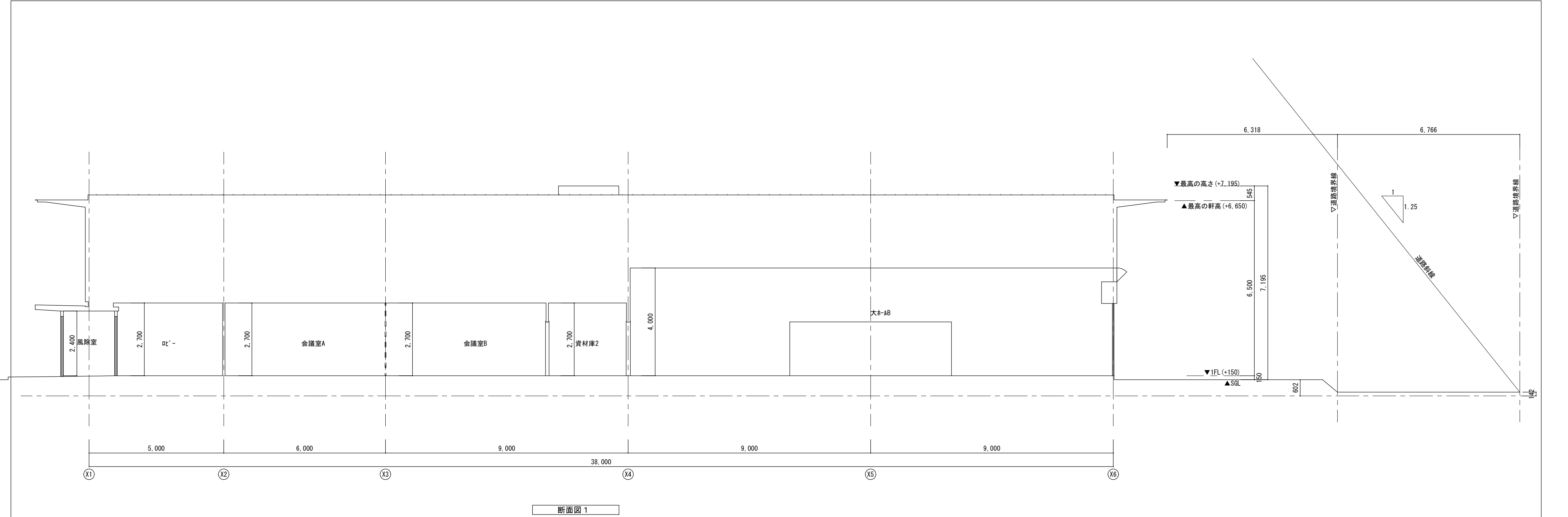


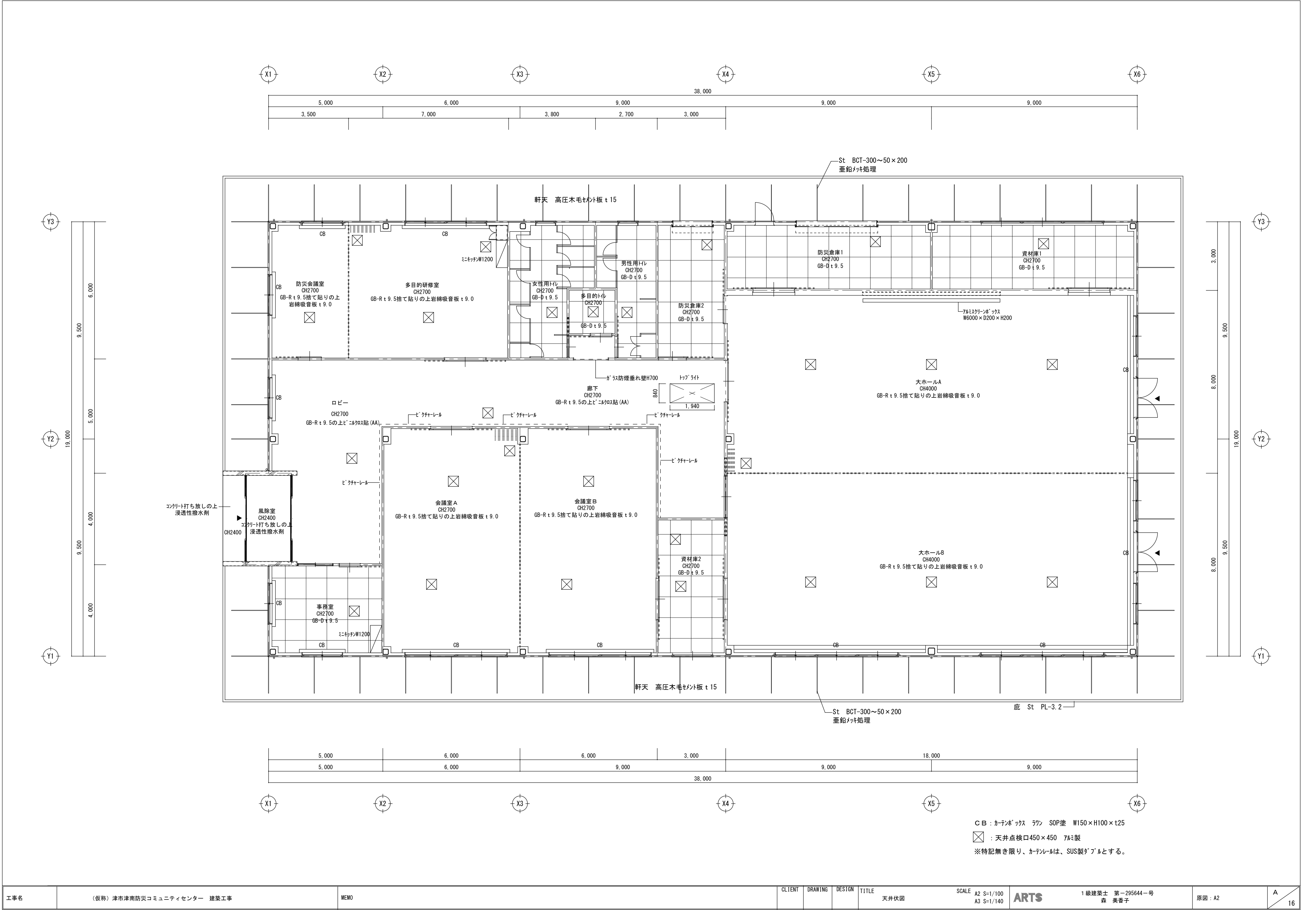




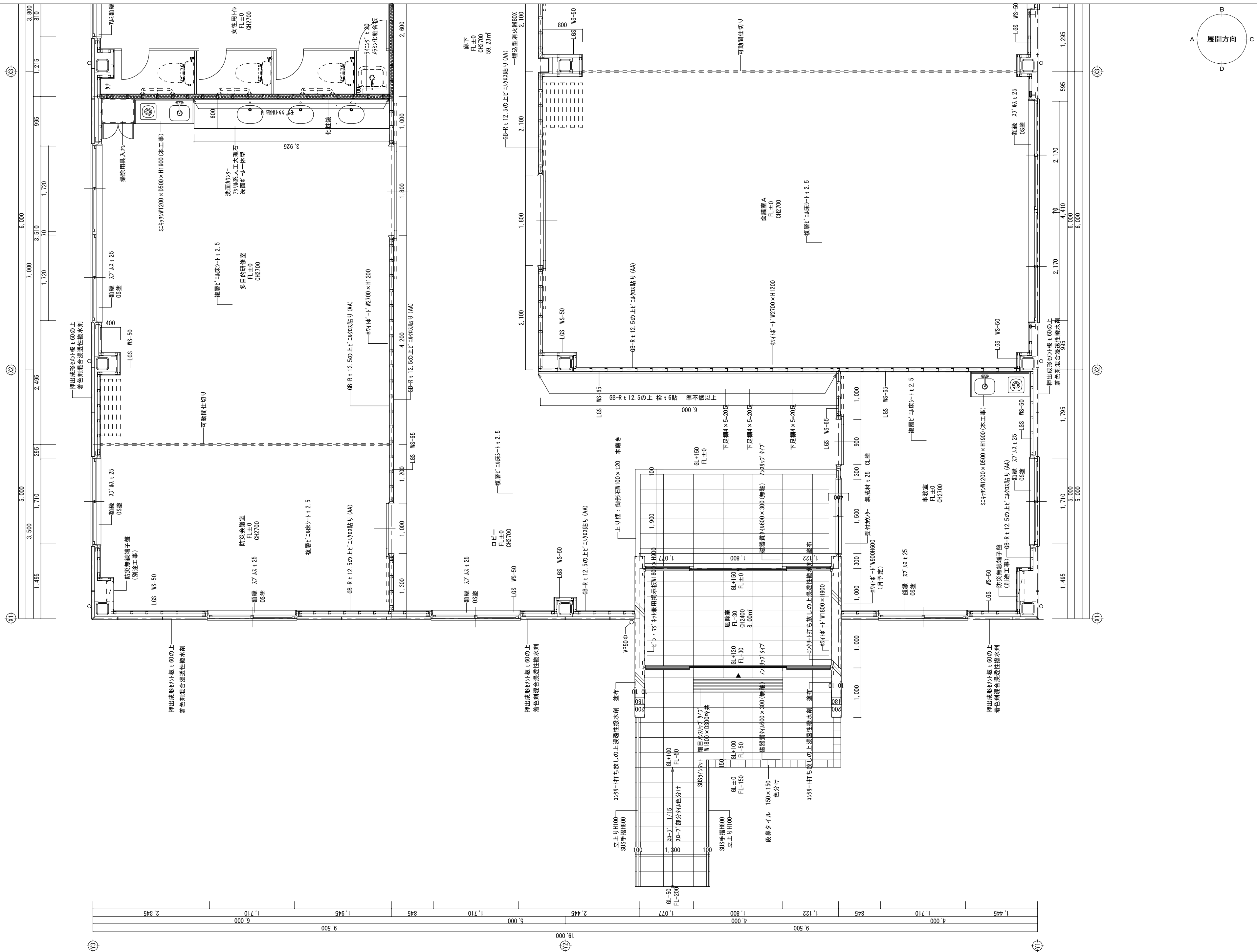
【凡例】

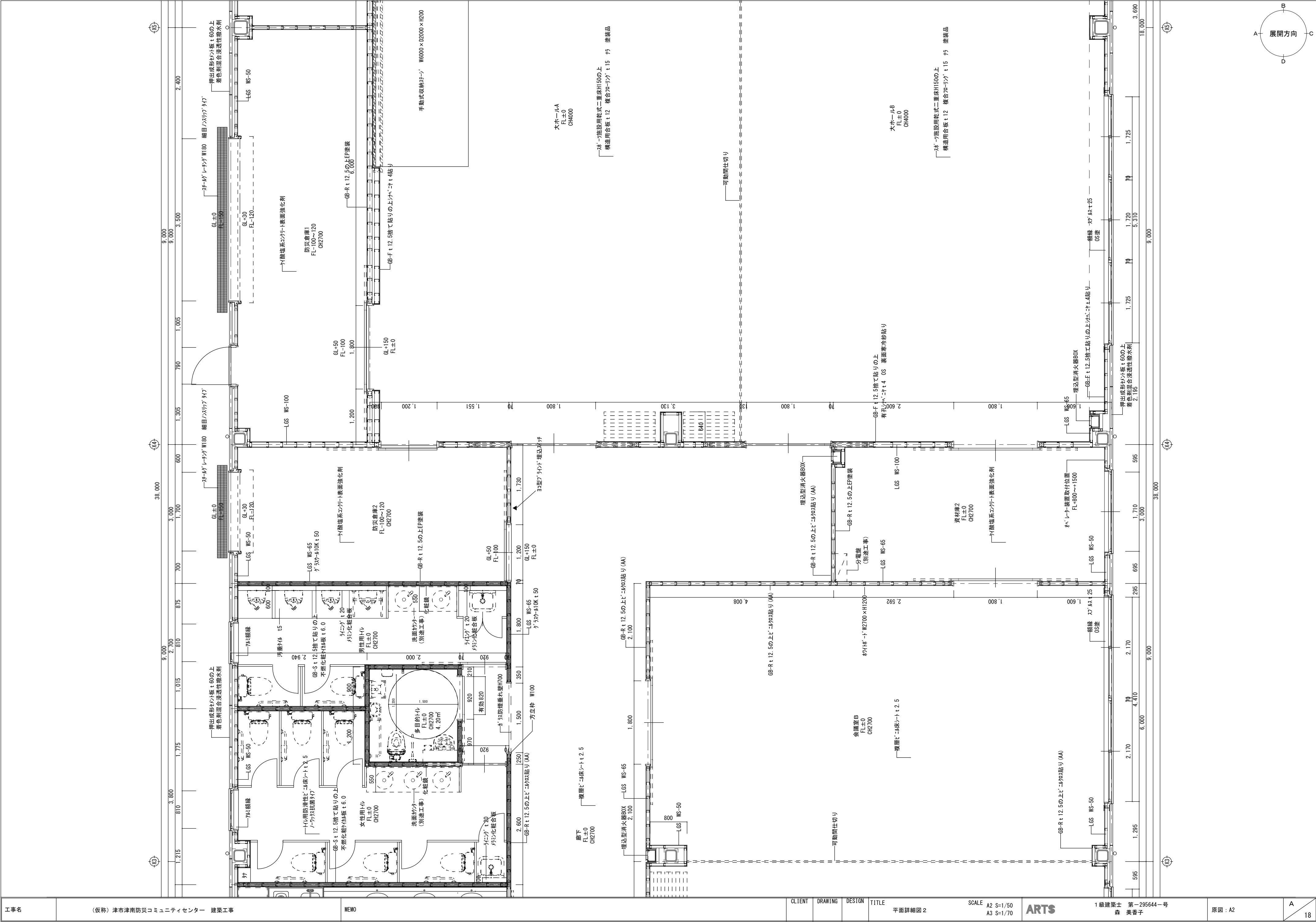
(A)	ガラ(ワッ素)が Al ¹ リウム銅板 t 0.4 吊子式立平葺き	(F)	磁器質タイル600×300(無釉) ノンスリップタイプ	(K)	鼻先 [-40×40×15×3.2 亜鉛メッキ処理
(B)	PL-3.2 亜鉛メッキ処理	(G)	軒樋 Al t2曲げ加工	(L)	
(C)	コンクリート打放し補修仕上	(H)	壁樋 VP75φ	(M)	
(D)	コンクリート打ち放しの上浸透性撥水剤塗布	(I)	壁樋 VP50φ	(N)	
(E)	押出形成メッキ板 t 60の上着色剤混合浸透性撥水剤	(J)	梁 BCT-300～50×200 亜鉛メッキ処理	(O)	

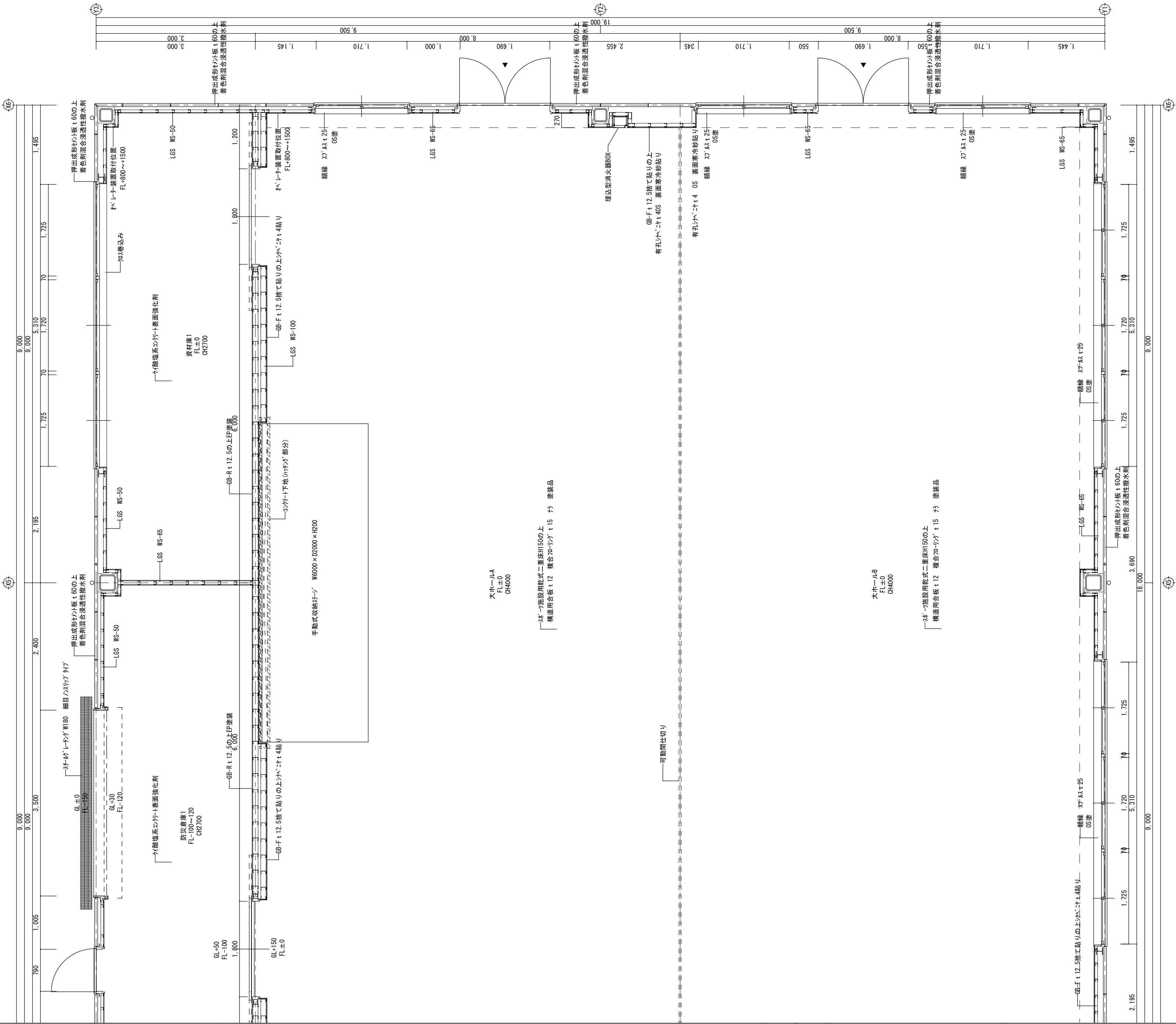


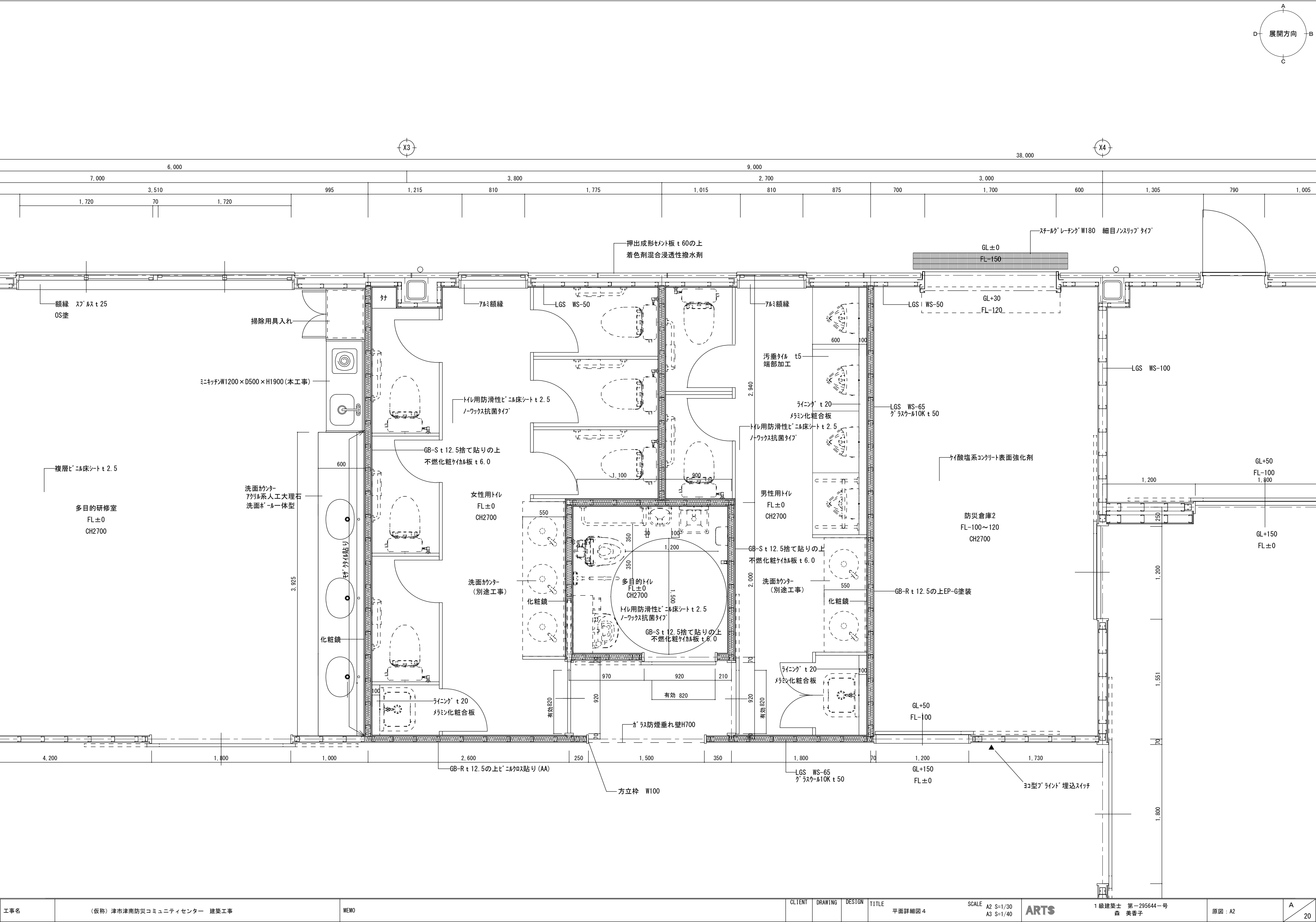


工事名	(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 建築工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE	SCALE	A2 S=1/100 A3 S=1/140	ARTS	1級建築士 第一295644号 森 美香子	原図 : A2	A 16
-----	----------------------------	------	--------	---------	--------	-------	-------	--------------------------	------	--------------------------	---------	---------

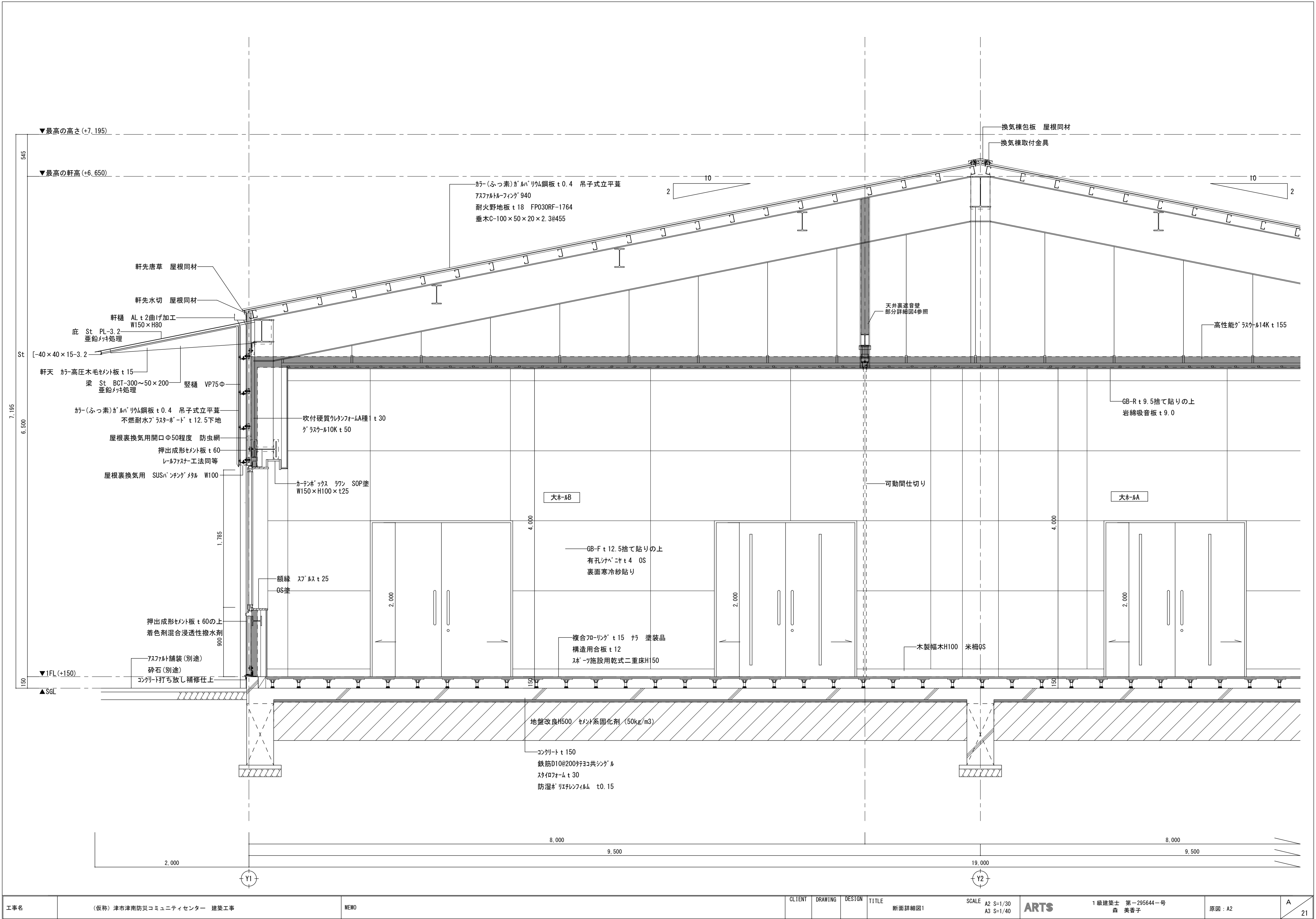


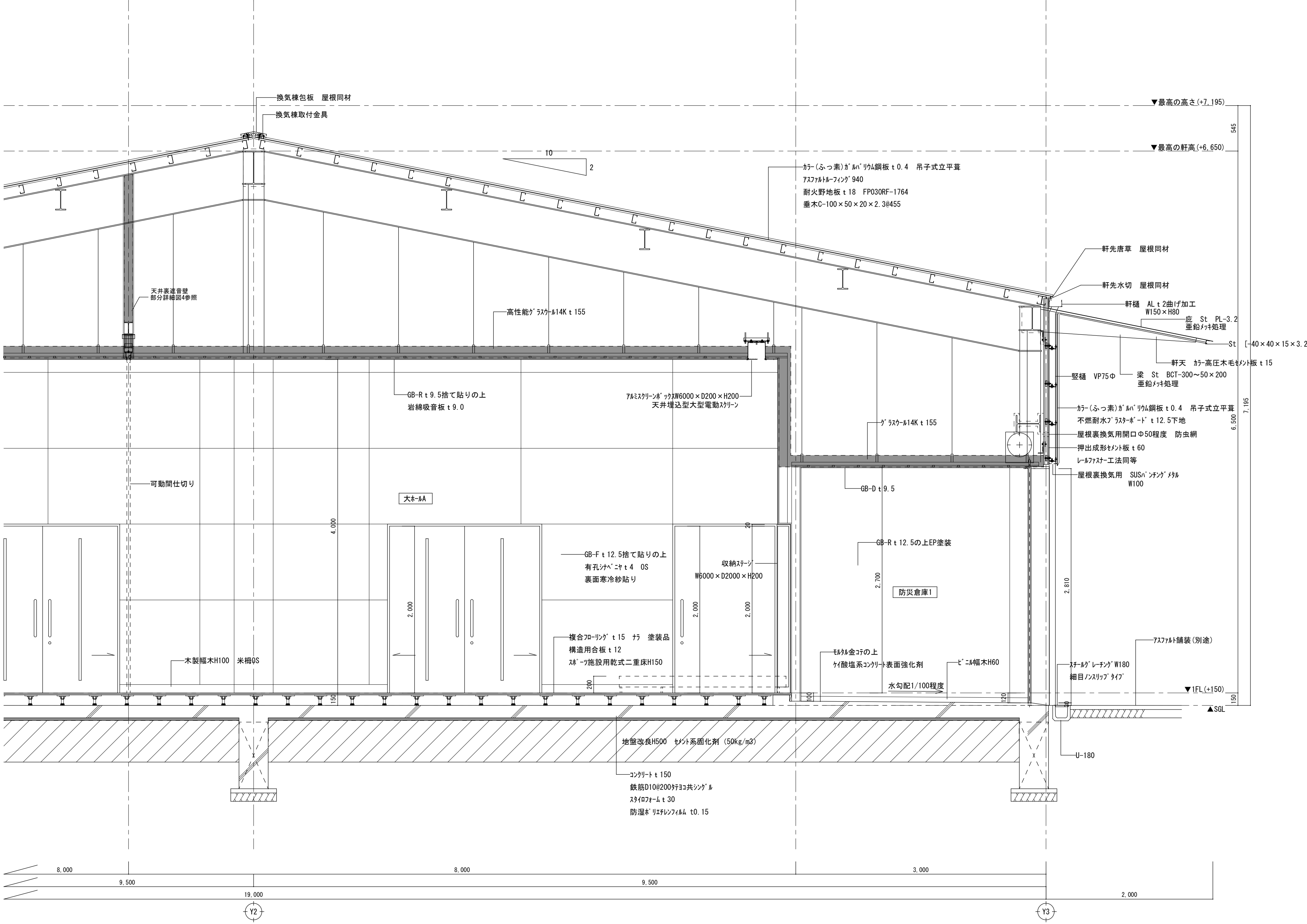


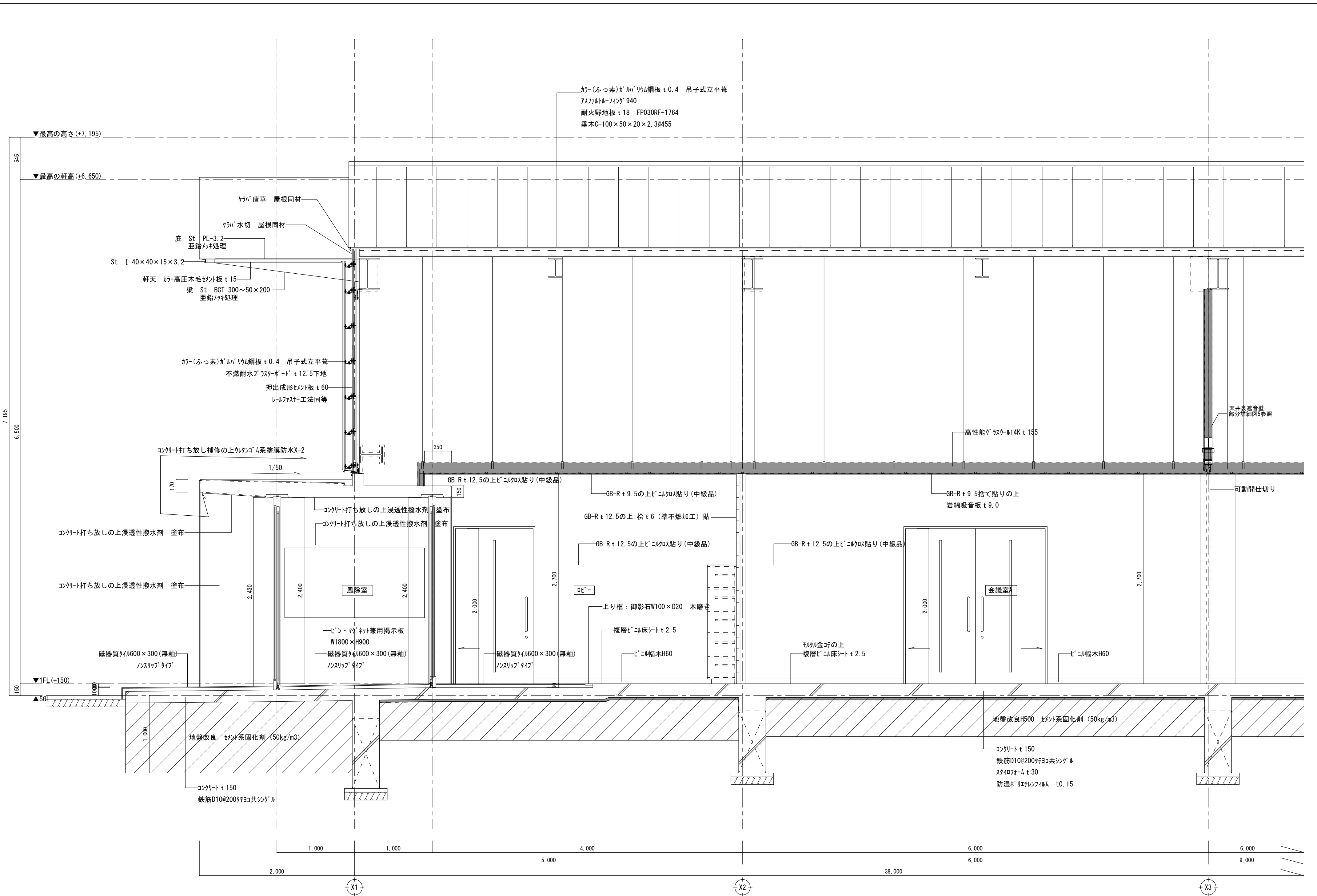


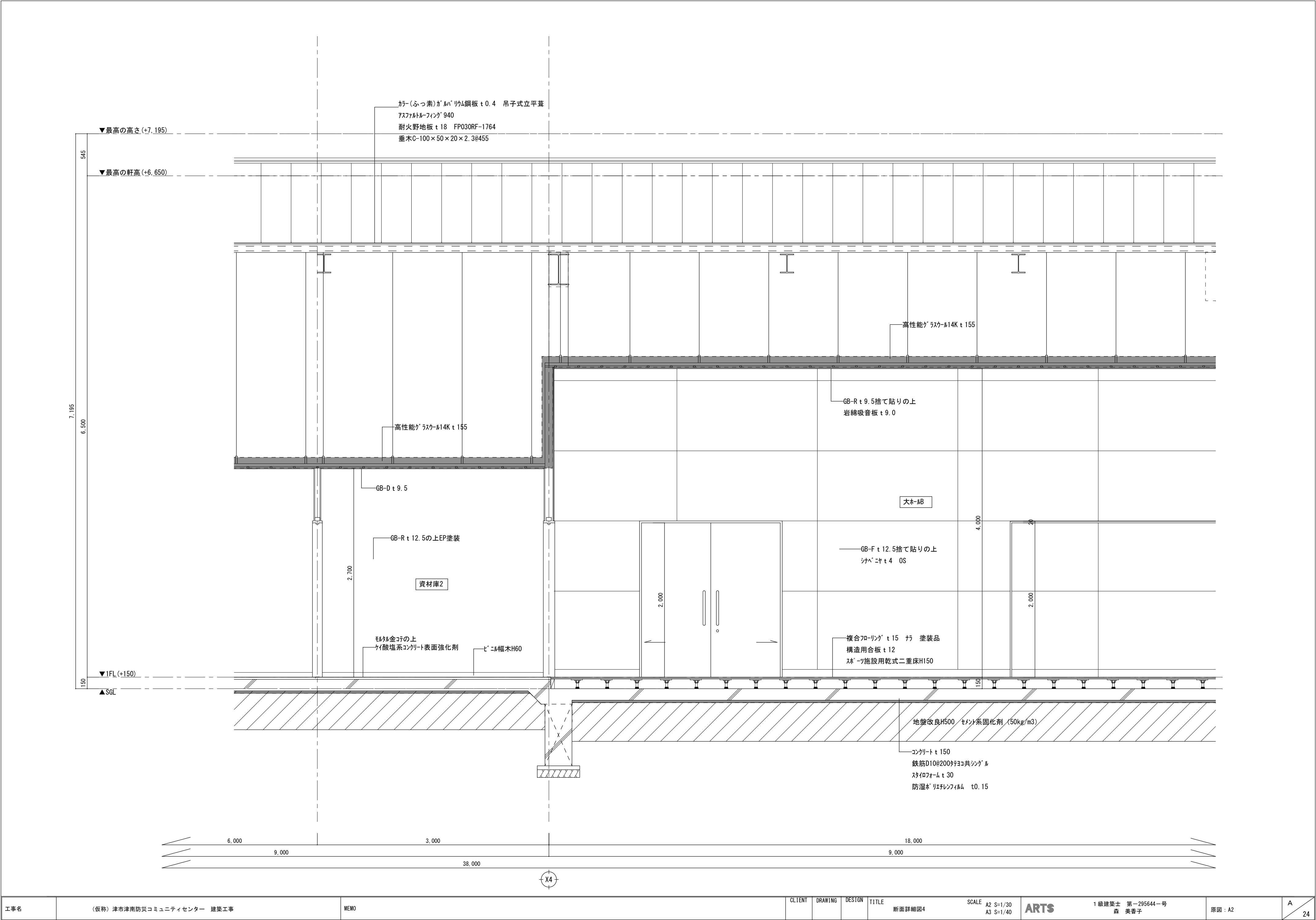


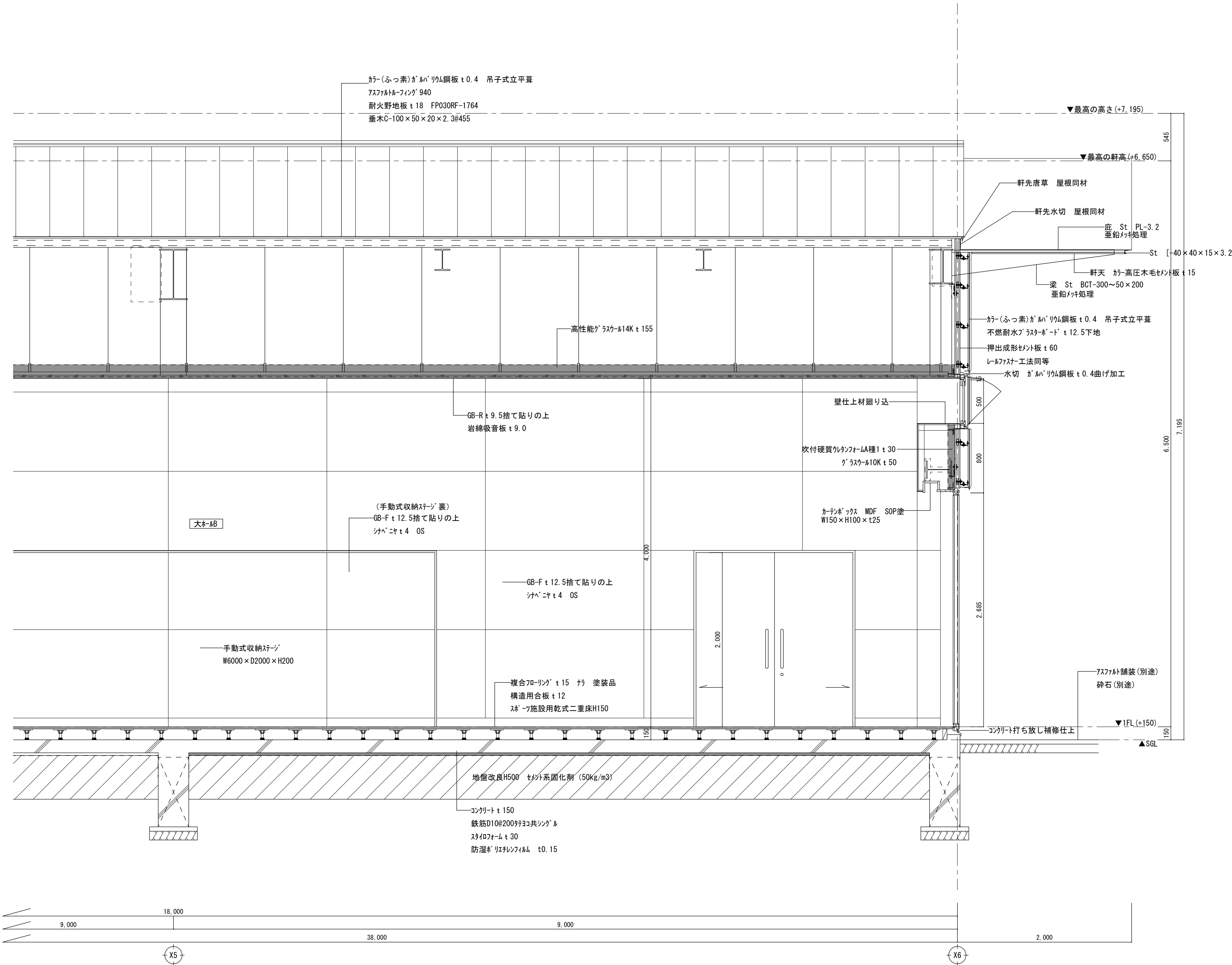
工事名	(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 建築工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE	SCALE	ARTS	1級建築士 森 美香子	原図: A2	A
						平面詳細図 4	A2 S=1/30 A3 S=1/40				20

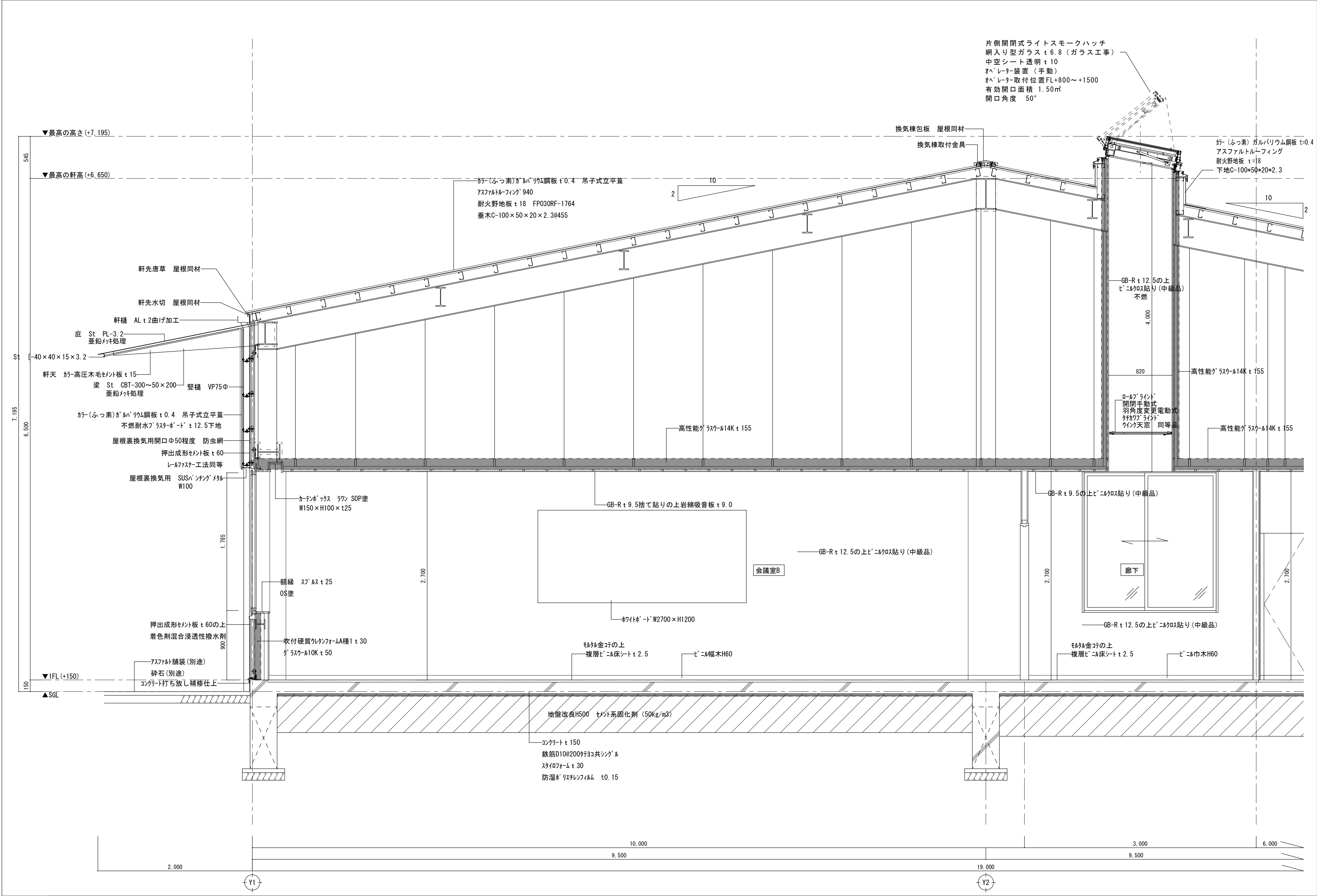


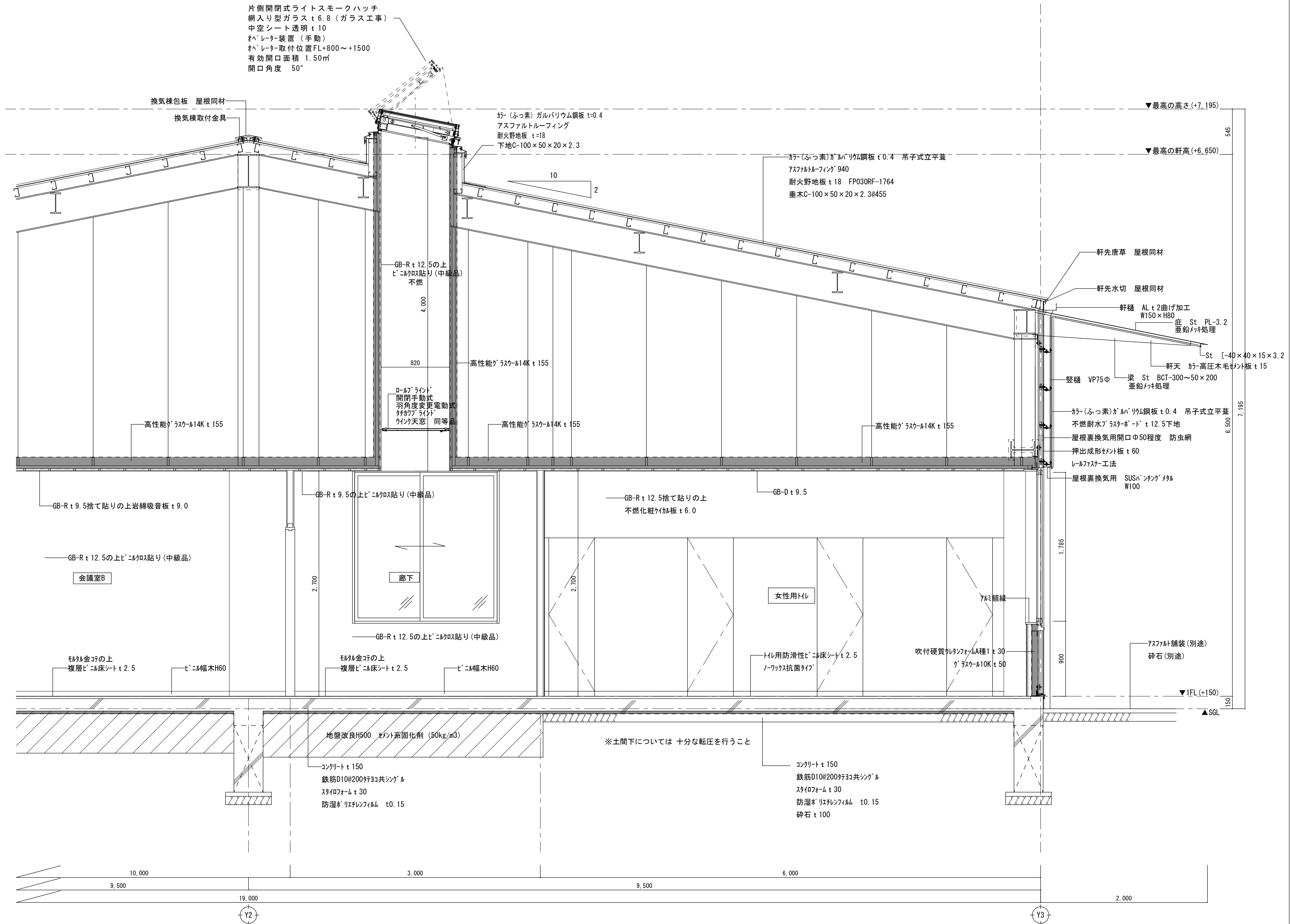




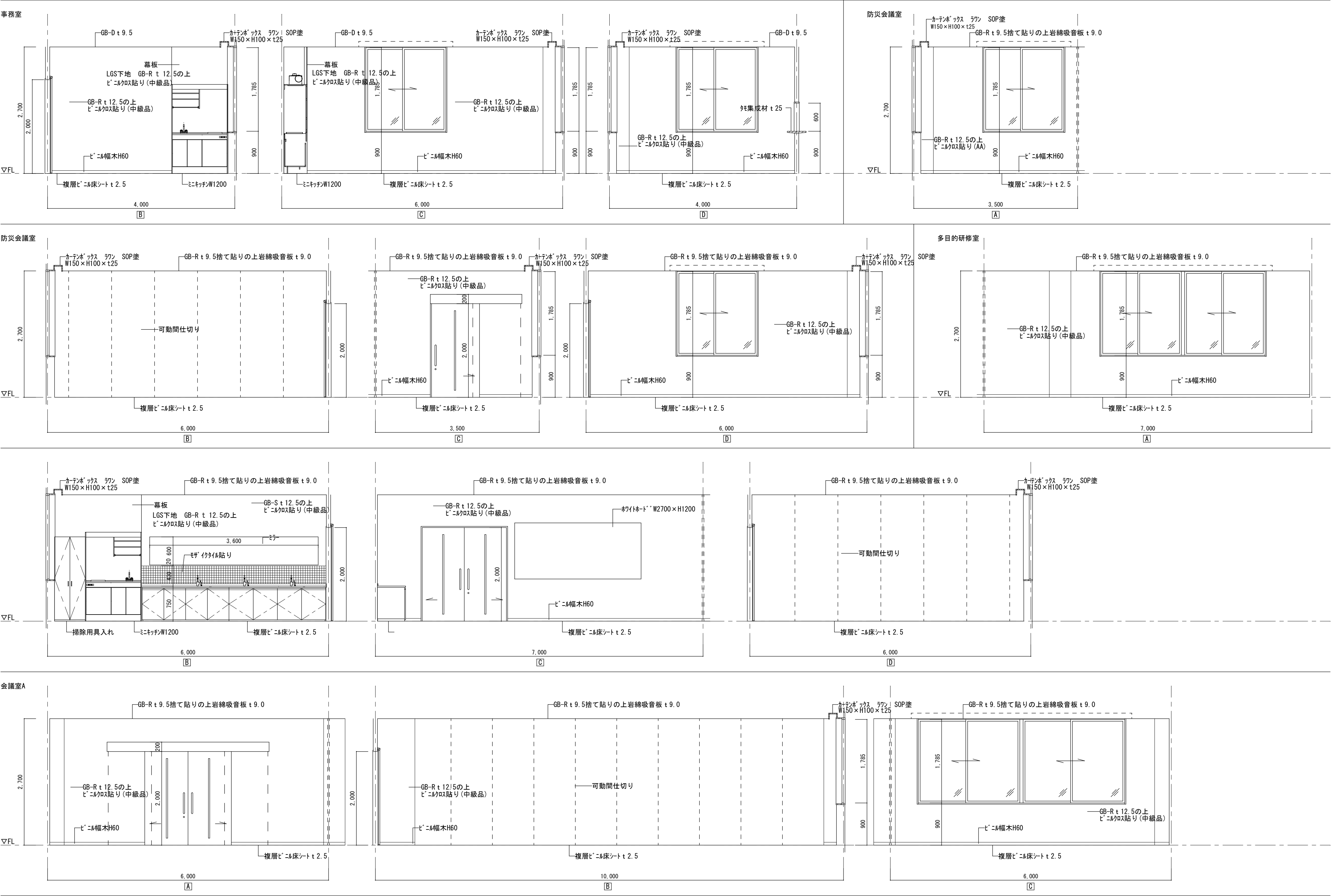


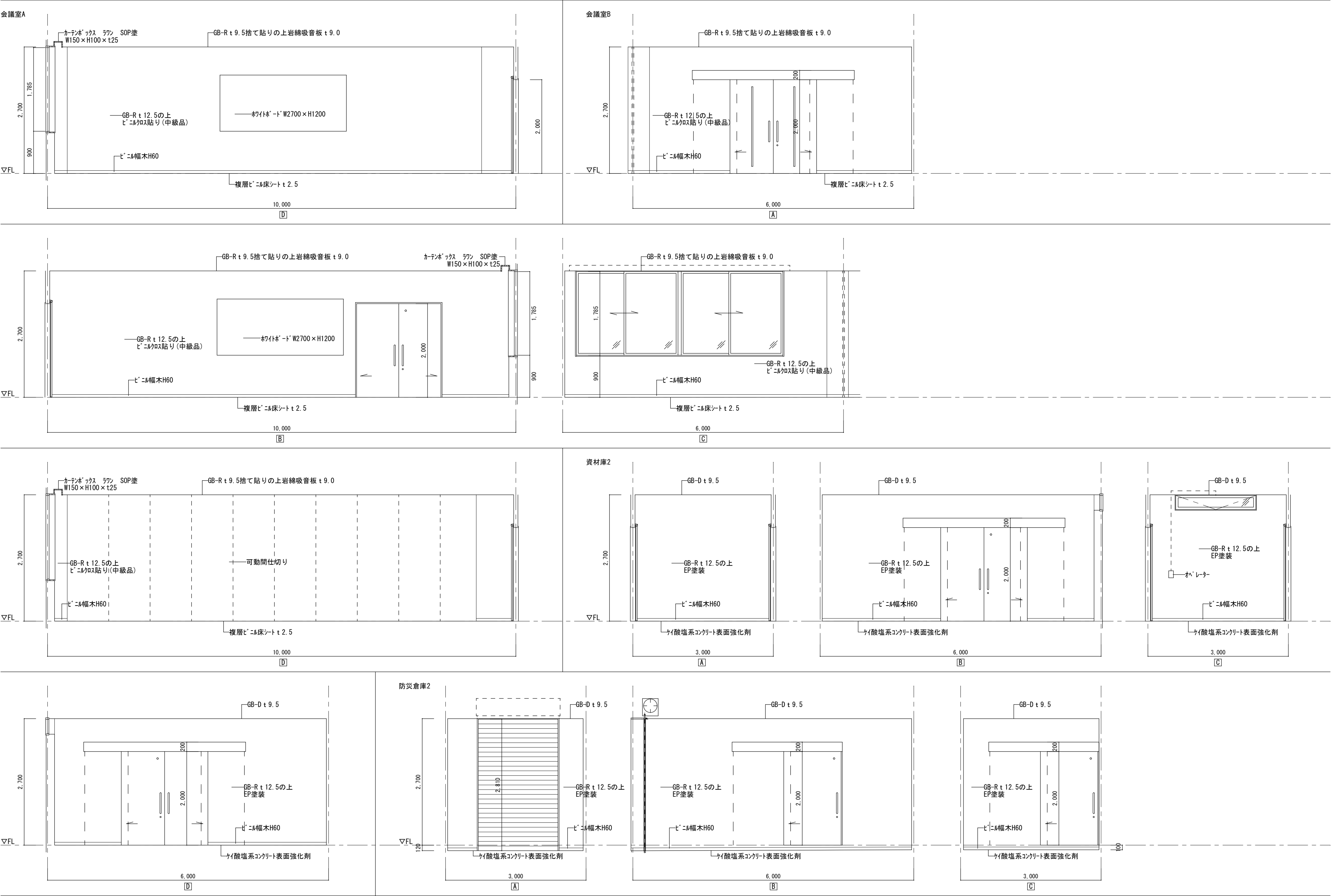


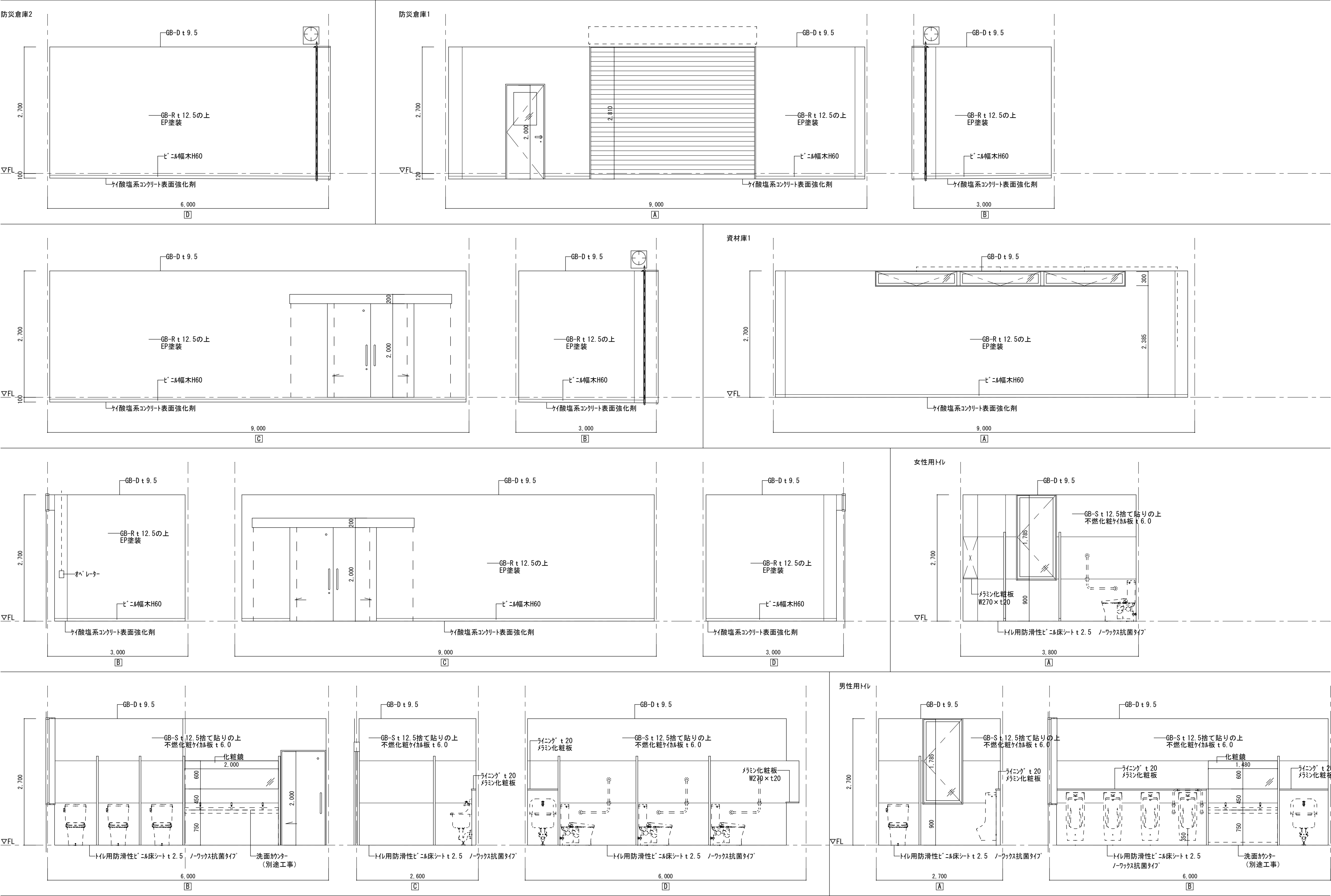


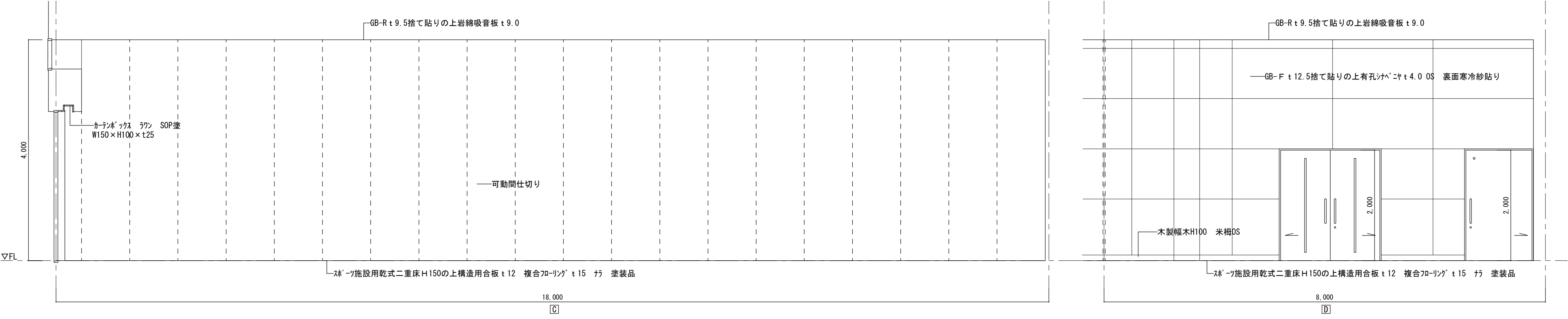
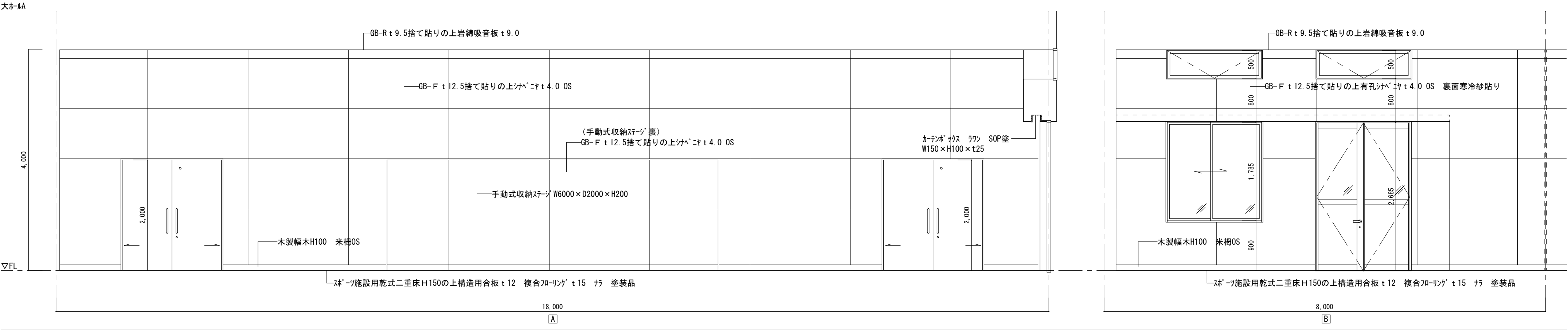
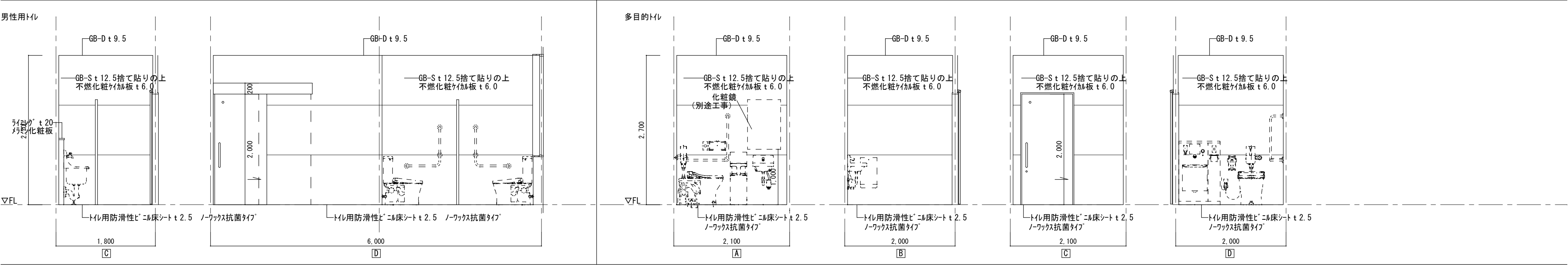


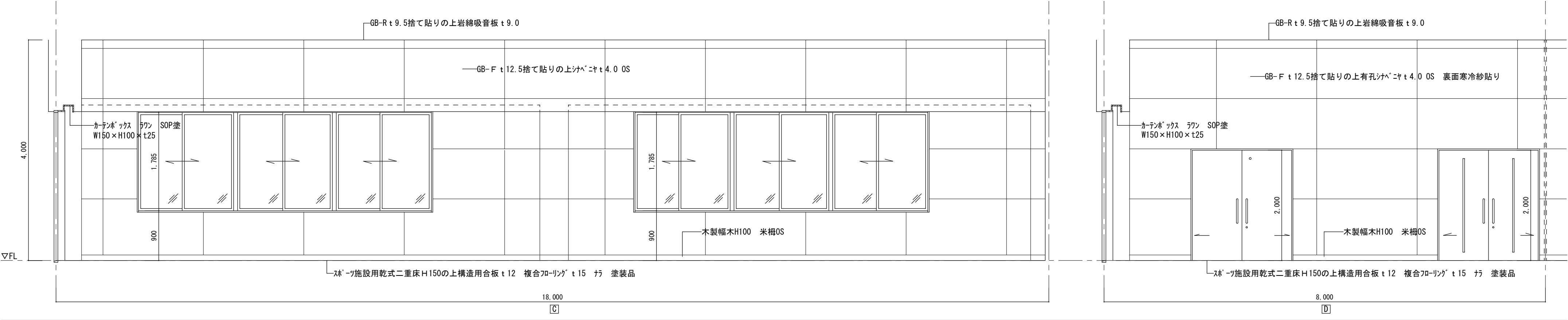
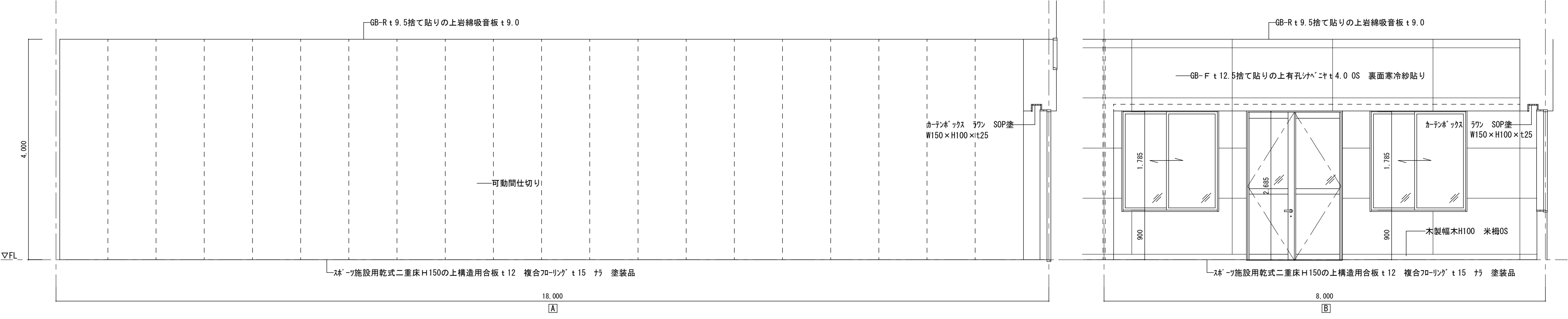
工事名	〈仮称〉津市津南防災コミュニティセンター 建築工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE 展開図 1	SCALE A2 S=1/50 A3 S=1/70	ARTS	1級建築士 第-295644-号 森 美香子	原図：A2	A 28
-----	---------------------------	------	--------	---------	--------	----------------	---------------------------------	------	---------------------------	-------	---------

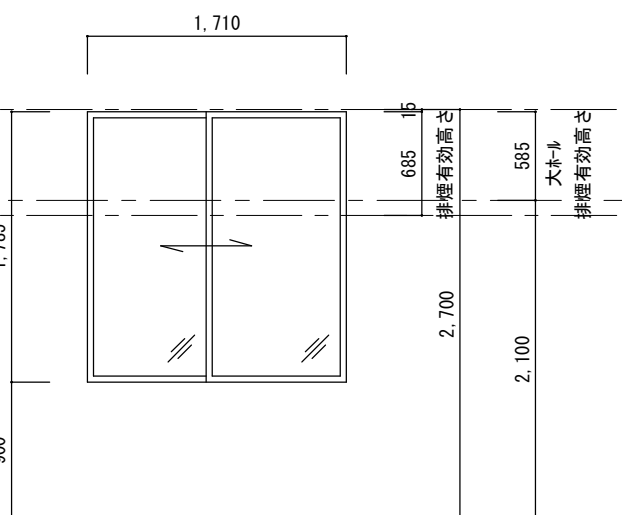
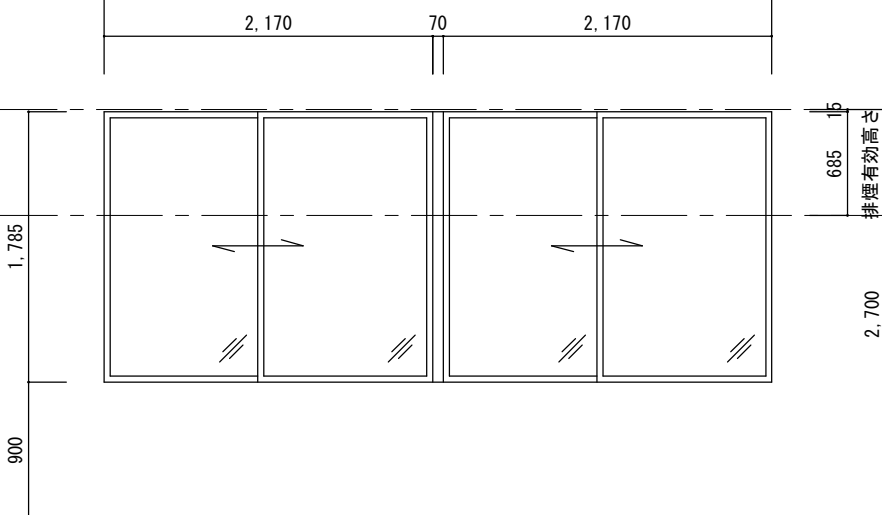
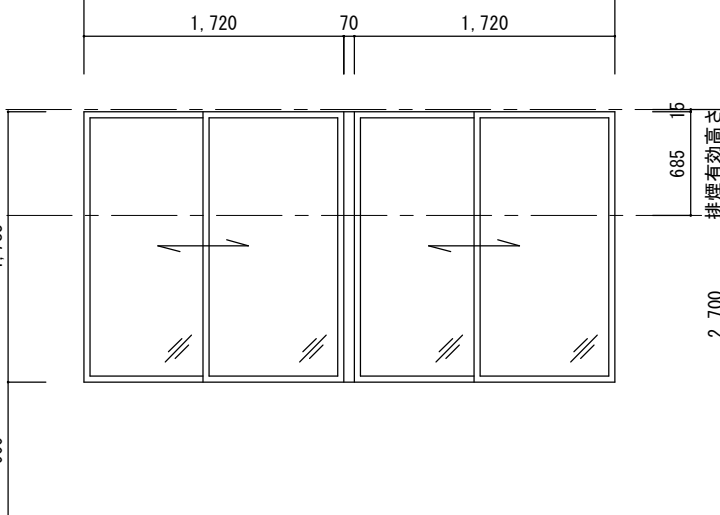
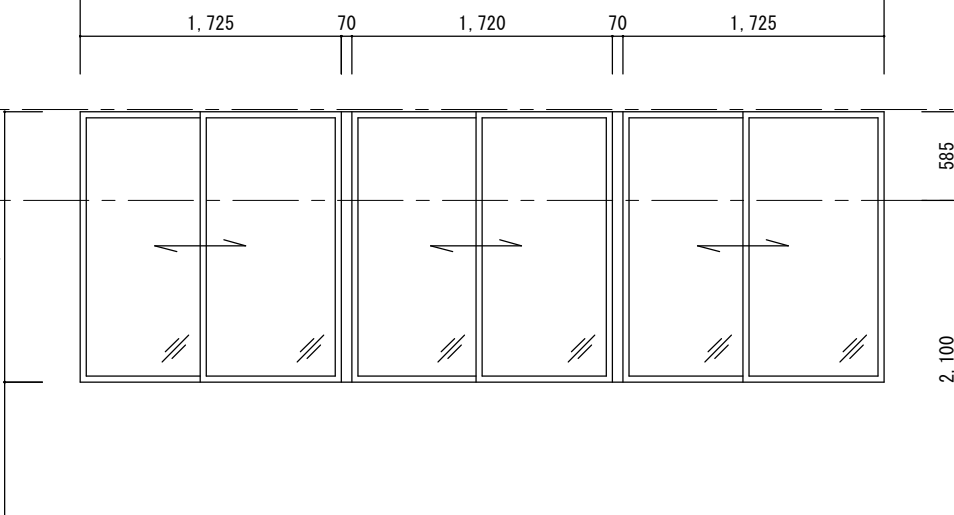
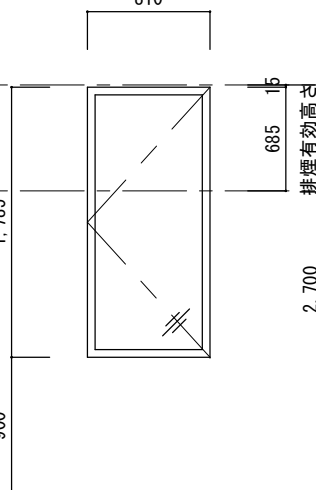
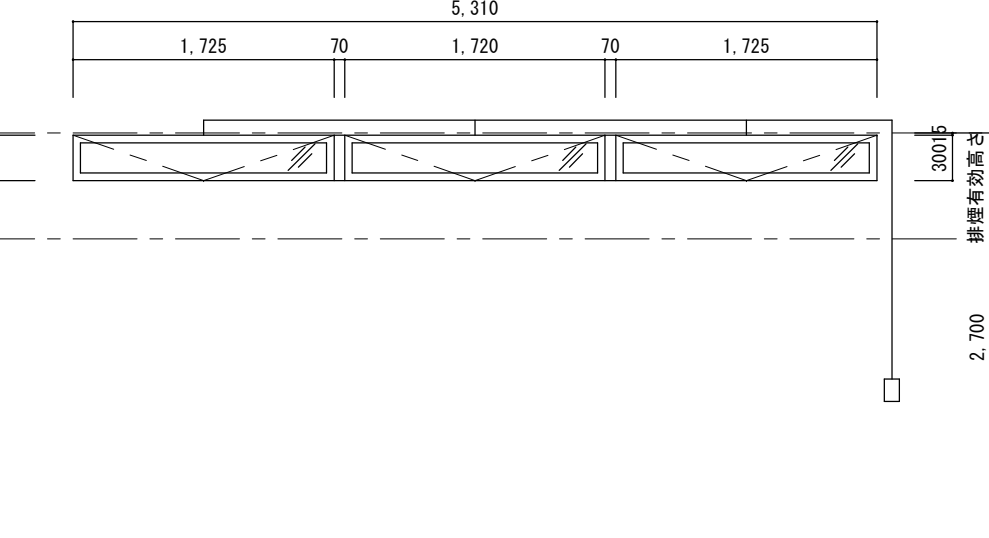
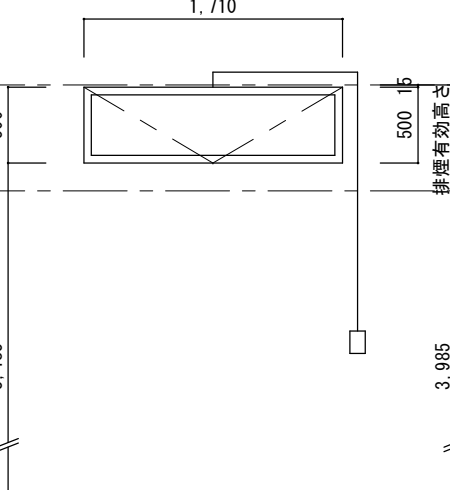
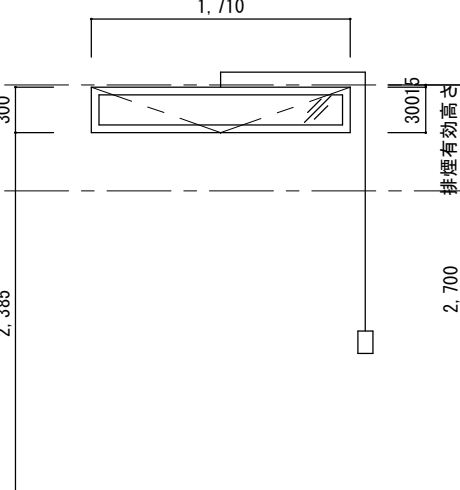
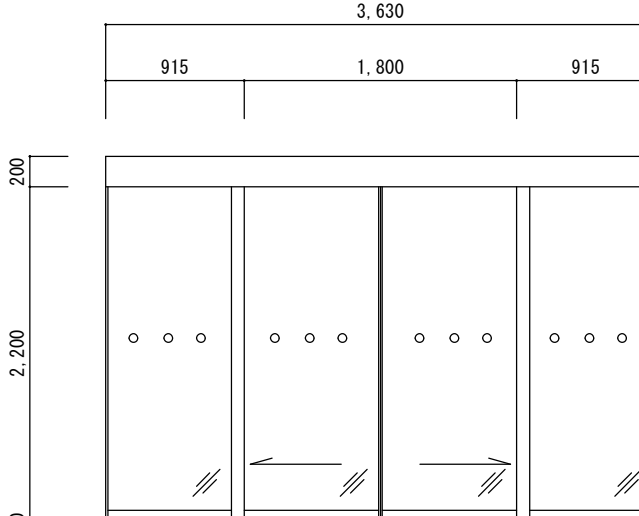
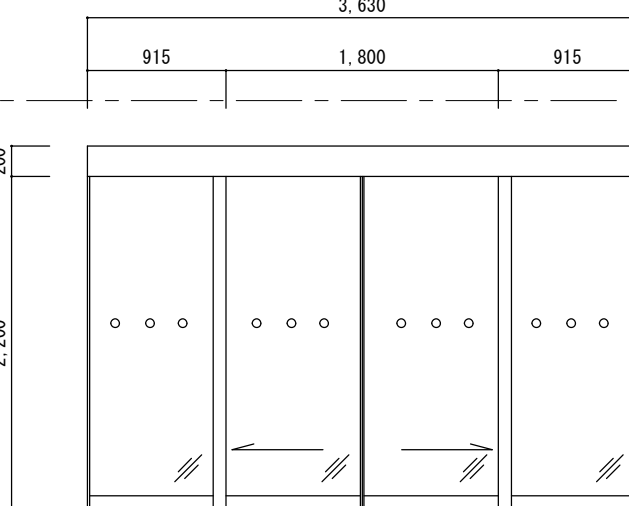
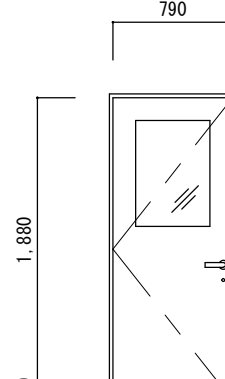
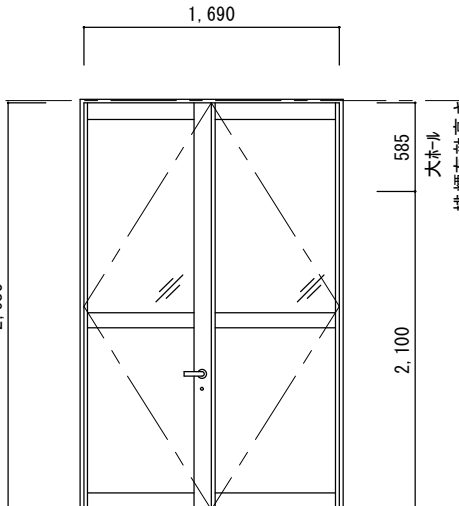
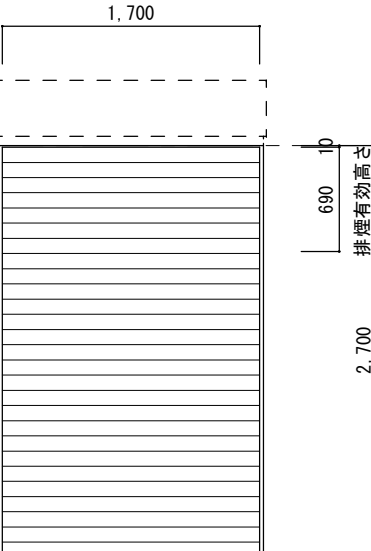
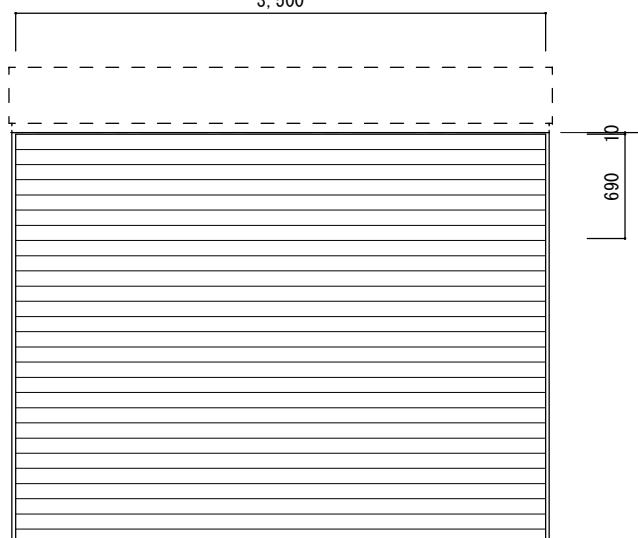










符号・名称・数量	AW 1 引違い窓	8	AW 2 2連引違い窓	2	AW 3 2連引違い窓	1	AW 4 3連引違い窓	2					
													
図													
▽FL													
	PC- 事務室 防災会議室 資材庫2 大ホ-ルA 大ホ-ルB		会議室A 会議室B		多目的研修室		大ホ-ルB						
仕上	7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70						
硝子	強化ガラスt5（大ホールのみ飛散防止フィルム貼）		強化ガラスt5		強化ガラスt5		強化ガラスt5（飛散防止フィルム貼）						
金物	水切り クレセント 外付け網戸 戸車 その他付属金物一式		水切り クレセント 外付け網戸 戸車 その他付属金物一式		水切り クレセント 外付け網戸 戸車 その他付属金物一式		水切り クレセント 外付け網戸 戸車 その他付属金物一式						
	額縁 スチールt250S		額縁 スチールt250S		額縁 スチールt250S		額縁 スチールt250S						
符号・名称・数量	AW 5 外開き窓	2	AW 6 3連排煙外倒し窓	1	AW 7 排煙外倒し窓（隠蔽タイプ）	2	AW 8 排煙外倒し窓	1	AD 1 引き分け自動ドア（トップフレームタイプ）	1			
													
図													
▽FL													
	男性用トイレ 女性用トイレ		資材庫1		大ホ-ルA		資材庫2		風除室				
仕上	7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70		7mmサッシ 見込70		7mm 見込100				
硝子	型板強化ガラスt4		強化ガラスt5		7mmペアガラス		強化ガラスt5		強化ガラスt5				
金物	水切り カムロックハンドル 内開き網戸 丁番 隠蔽タイプあおり止め その他付属金物一式		水切り 内部固定網戸 スライドカバー オペレーター装置一式 その他付属金物一式		水切り スライドカバー オペレーター装置一式 その他付属金物一式		水切り 内部固定網戸 スライドカバー オペレーター装置一式 その他付属金物一式		自動ドア装置一式（内外センサー式） 安全ビーム シリンドー錠（内側サムターン錠） その他付属金物一式				
	7mm額縁		額縁なし クロス巻込み オペレーター取付位置FL+800～+1500		額縁なし クロス巻込み オペレーター取付位置FL+800～+1500		額縁なし クロス巻込み オペレーター取付位置FL+800～+1500		衝突防止カチングシート貼 停電時手動開放可能				
符号・名称・数量	AD 2 引き分け自動ドア（トップフレームタイプ）	1	AD 3 片開きフラッシュドア	1	AD 4 両開きかまちドア	2	SS 1 軽量バランシャッター	1	SS 2 軽量バランシャッター	1			
													
図													
▽FL													
	風除室		防災倉庫1		大ホ-ルA 大ホ-ル2		防災倉庫2		防災倉庫1				
仕上	7mm 見込100		7mm 焼付塗装 見込70		7mm 焼付塗装 見込70		カー鋼板t0.8		カー鋼板t0.8				
硝子	強化ガラスt5		型板強化ガラスt4		強化ガラスt5（飛散防止フィルム貼）、下部はパネル貼								
金物	自動ドア装置一式（内外センサー式） 安全ビーム シリンドー錠（内側サムターン錠） その他付属金物一式		丁番 ドアローザー 戸当り シリンドー錠（内側サムターン錠） レバーハンドル その他付属金物一式		丁番 ドアローザー 戸当り シリンドー錠（内側サムターン錠） レバーハンドル その他付属金物一式		座板SUS SUSハンドルレール ウェザーstripping シリンドー錠 ラッチ錠 その他付属金物一式		座板SUS SUSハンドルレール ウェザーstripping シリンドー錠 ラッチ錠 その他付属金物一式				
	衝突防止カチングシート貼 停電時手動開放可能		枠 スチール製焼付塗装		枠 スチール製焼付塗装								
工事名	（仮称）津市津南防災コミュニティセンター 建築工事		MEMO			CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE 建具リスト1	SCALE A2 S=1/50 A3 S=1/70	ARTS 1級建築士 第一295644—号 森 美香子	原図：A2	A 34

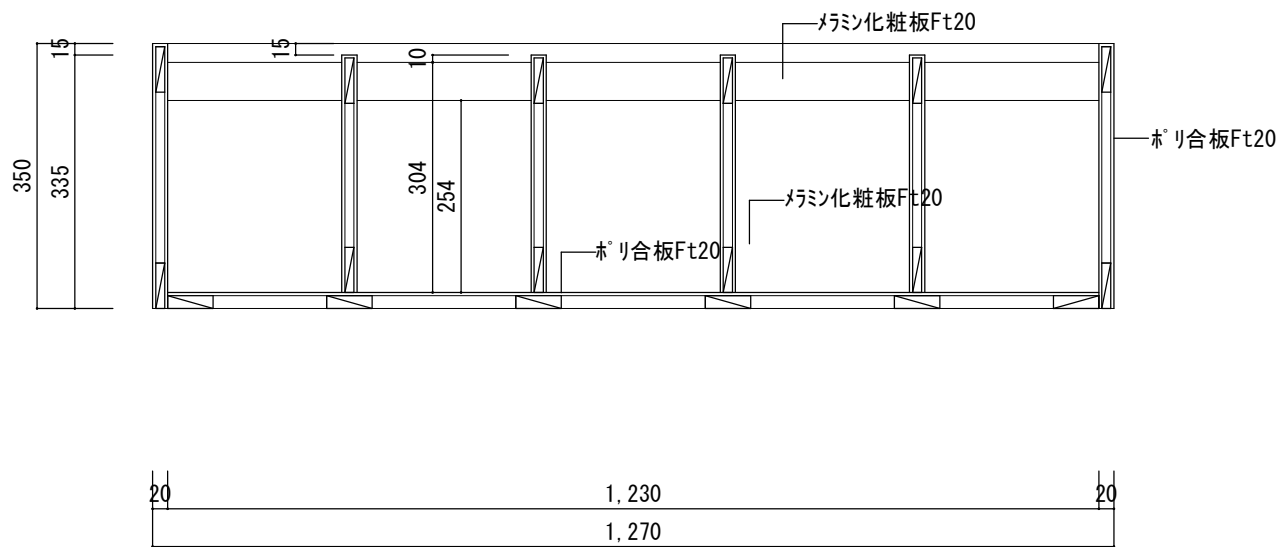
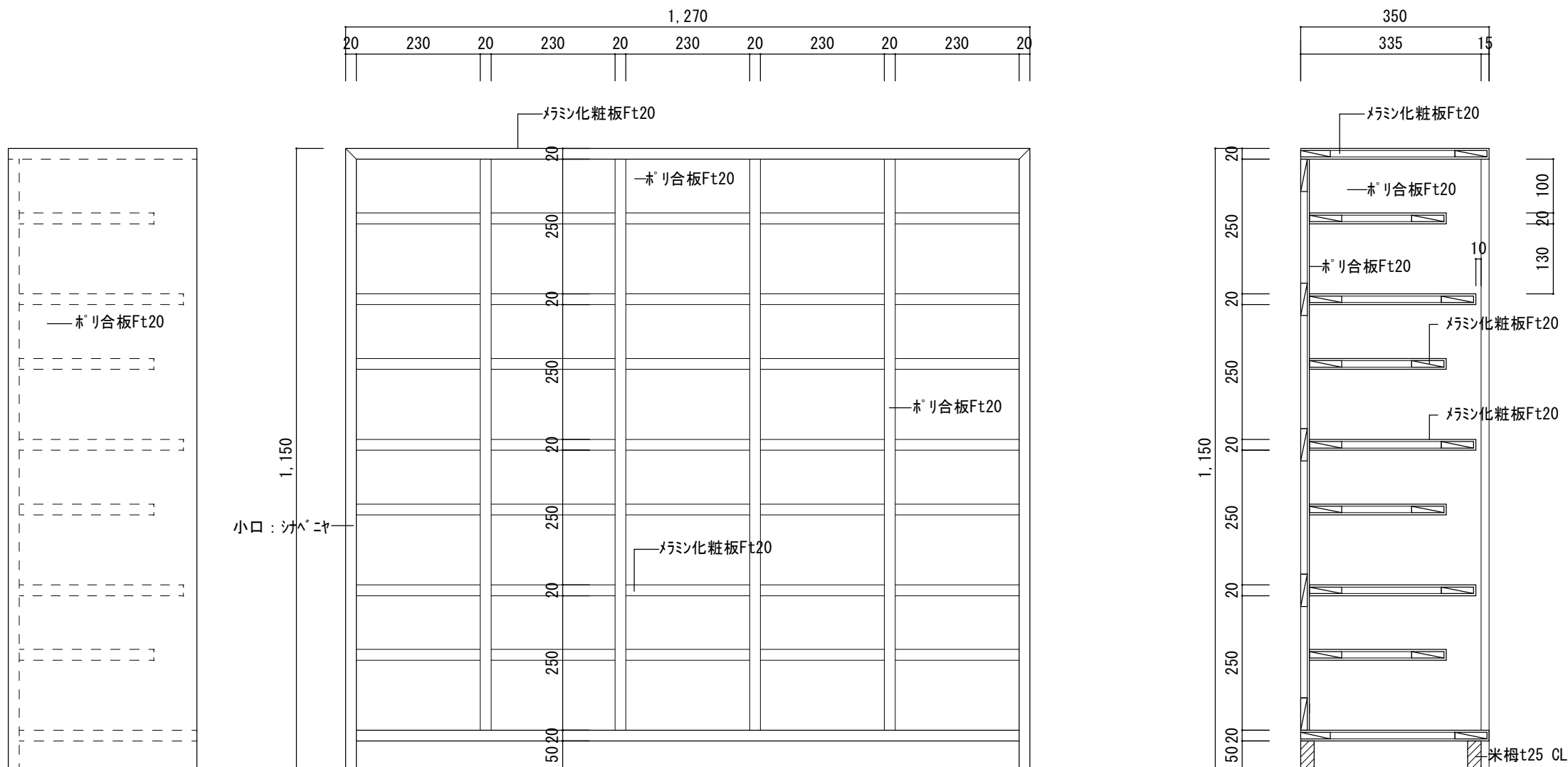
符号・名称・数量		TB 1	トイレース	1	TB 2	トイレース	1	TB 3	トイレース	1	
姿 図											
▽FL											
仕 上		女性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			女性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			男性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			
確 子											
金 物		笠木 SUS巾木 中心吊ビン スライドロック SK用引手 その他付属金物一式 7&Mアールエッジ 隠しビス仕様			笠木 SUS巾木 中心吊ビン スライドロック その他付属金物一式 7&Mアールエッジ 隠しビス仕様			笠木 SUS巾木 中心吊ビン スライドロック その他付属金物一式 7&Mアールエッジ 隠しビス仕様			
符号・名称・数量		TB 4	トイレース	1	TB 5	トイレース	1	SLW 1	スライディングウォール	1	
姿 図											
▽FL											
仕 上		男性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			男性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			女性用トイレ 高圧メラミン樹脂化粧板 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			
確 子								大ホール 亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上) GB-R t12.5下張り 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			
金 物		笠木 SUS巾木 中心吊ビン SK用引手 その他付属金物一式 7&Mアールエッジ 隠しビス仕様			笠木 SUS巾木 その他付属金物一式 7&Mアールエッジ 隠しビス仕様			ハンガーレール ランナー 引手付操作口 操作ハンドル その他付属金物一式 グラスケル充填			
符号・名称・数量		SLW 2	スライディングウォール	1	SLW 3	スライディングウォール	1	TP 1		トップライト(排煙窓)	1
姿 図											
▽FL											
仕 上		会議室 亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上) GB-R t12.5下張り 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			多目的研修室 亜鉛メッキ鋼板(焼付塗装仕上) GB-R t12.5下張り 7&Mエッジ 焼付塗装仕上			廊下 片側開閉式ライトスモークハッチ			
確 子								網入り型ガラス t6.8 + 中空シート透明 t10			
金 物		ハンガーレール ランナー 引手付操作口 操作ハンドル その他付属金物一式 グラスケル充填			ハンガーレール ランナー 引手付操作口 操作ハンドル その他付属金物一式 グラスケル充填			水切り ステイション オペレーター装置一式(手動) 格下地：スチール オペレーター取付位置FL+800～+1500 下部に取付けるローラーガイドの手動開閉装置取付位置もFL+800～+1500とする			

工事名	(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 建築工事	MEMO	A.W は防火設備戸を示す	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE	鎮製建具リスト2	SCALE	S=1/50, 100 A3 S=1/70, 140	ARTS	1級建築士 第一295644-号 森 美香子	原図：A2	A
35														

符号・名称・数量	LSD 1 軽量スチール 上吊りハンガー両引き戸	3	LSD 2 軽量スチール 上吊りハンガー両引き戸（インセット）	2	LSD 3 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（7分セット）	1	LSD 4 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（7分セット）	1	LSD 5 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（7分セット）	2	LSD 6 軽量スチール 上吊りハンガー両引き戸	4
姿 図												
▽FL												
	多目的研修室 会議室A 会議室B		大ホールB		事務室		防災会議室		防災倉庫2		防災倉庫1 資材庫1 資材庫2	
仕 上	化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40	
硝 子	型板ガラスt2		型板ガラスt2		型板ガラスt2		型板ガラスt2		型板ガラスt2（明かり窓）		型板ガラスt2（明かり窓）	
金 物	引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式 明かり窓		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー その他付属金物一式 明かり窓	
	枠 スチール製焼付塗装		枠 スチール製焼付塗装		枠 スチール製焼付塗装 通路側カテナンゲシート貼り（STAFF ONLY）		枠 スチール製焼付塗装		枠 スチール製焼付塗装		枠 スチール製焼付塗装	
符号・名称・数量	LSD 7 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（インセット）	1	LSD 8 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（7分セット）	1	LSD 9 軽量スチール 上吊りハンガー片引き戸（7分セット）	1						
姿 図												
▽FL												
	女性用トイレ		男性用トイレ		多目的トイレ ※有効開口幅800mm以上確保							
仕 上	化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40		化粧鋼板t0.6 見込40							
硝 子	型板ガラスt2（明かり窓）		型板ガラスt2（明かり窓）		型板ガラスt2（明かり窓）							
金 物	引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー SUS製沓摺 その他付属金物一式 明かり窓		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー SUS製沓摺 その他付属金物一式 明かり窓		引手 シリンダー錠（内側サムターン錠） 吊車 傾斜レール ガイドローラー ソフトクローザー SUS製沓摺 その他付属金物一式 明かり窓							
	枠 スチール製焼付塗装 通路側カテナンゲシート貼（ビクトグラム）		枠 スチール製焼付塗装 通路側カテナンゲシート貼（ビクトグラム）		枠 スチール製焼付塗装 通路側カテナンゲシート貼（ビクトグラム）							
符号・名称・数量	WW 1 引違い窓	1										
姿 図												
▽FL												
	事務室（受付）											
仕 上	集成材 OS 見込40											
硝 子	強化ガラスt5											
金 物	戸車											
	枠 集成材											

工事名	（仮称）津市津南防災コミュニティセンター 建築工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE	建具リスト3	SCALE	A2 S=1/50 A3 S=1/70	ARTS	1級建築士 第-295644-号 森 美香子	原図：A2	A 36
-----	---------------------------	------	--------	---------	--------	-------	--------	-------	------------------------	------	---------------------------	-------	---------

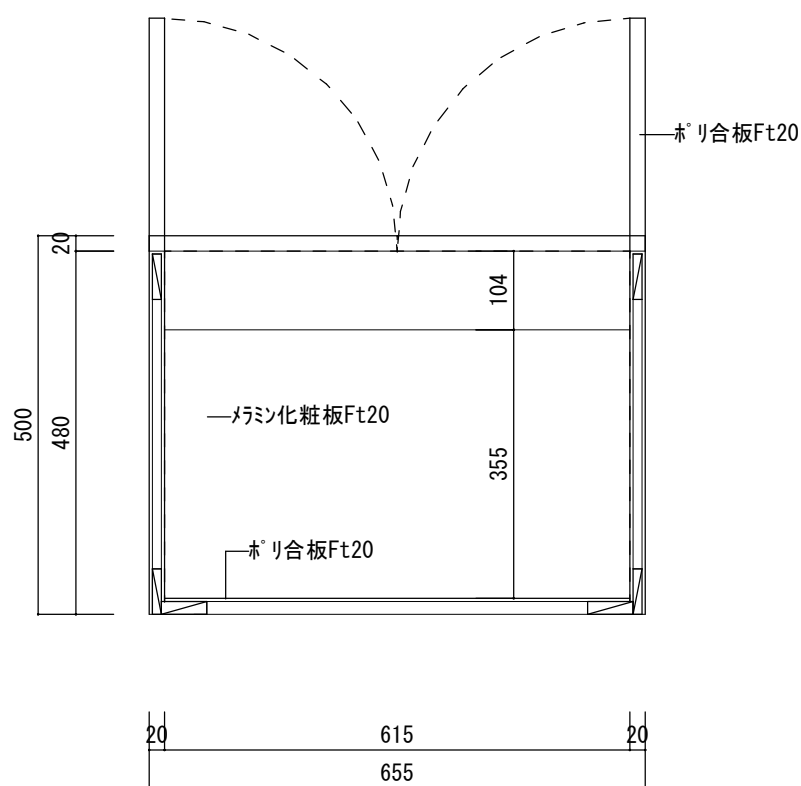
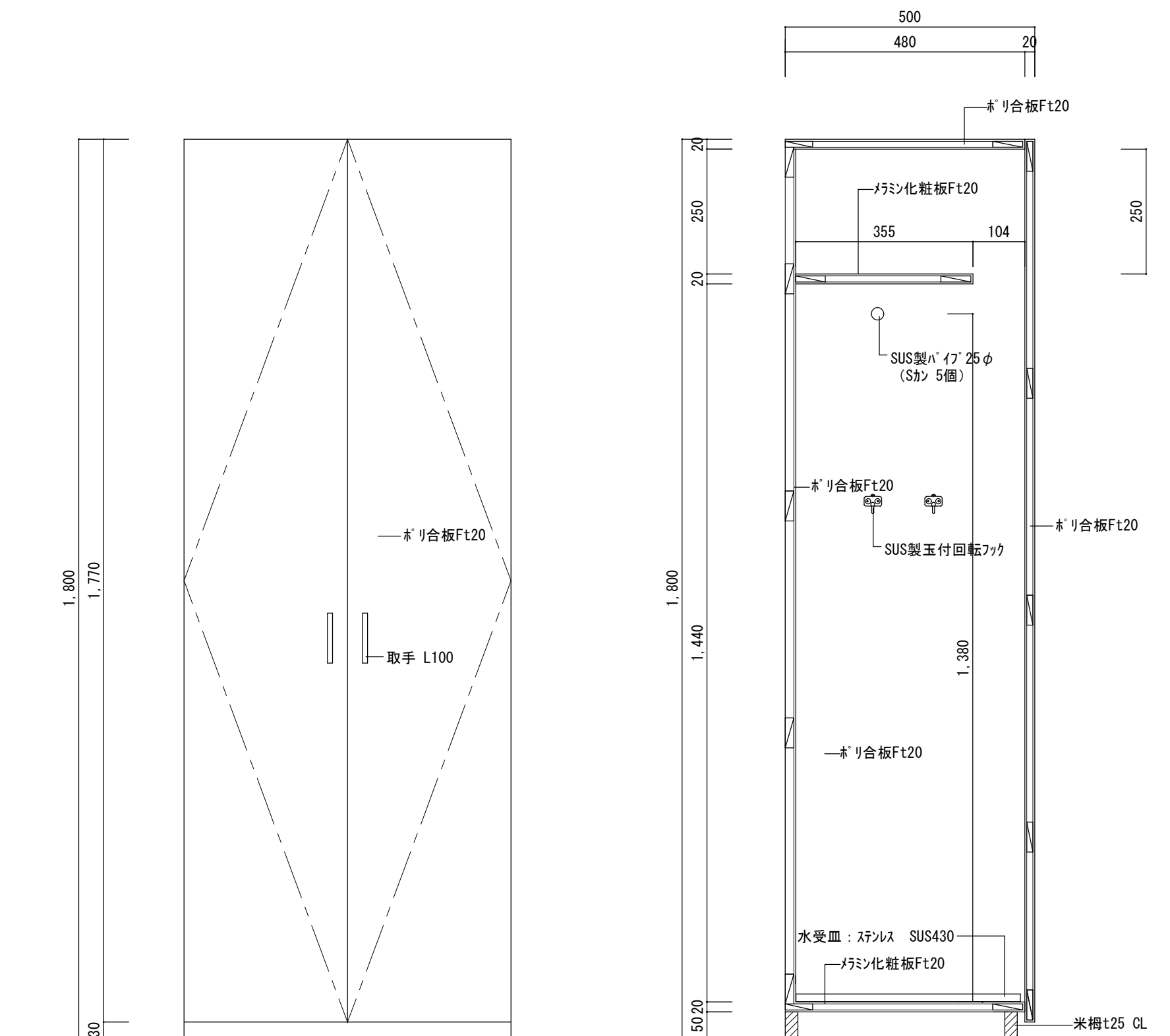
※ 家具共通
本体主材：ポリ合板F
小口、天端、底板：メラミン化粧板貼
背板：ポリ合板



下足棚5*4=20足

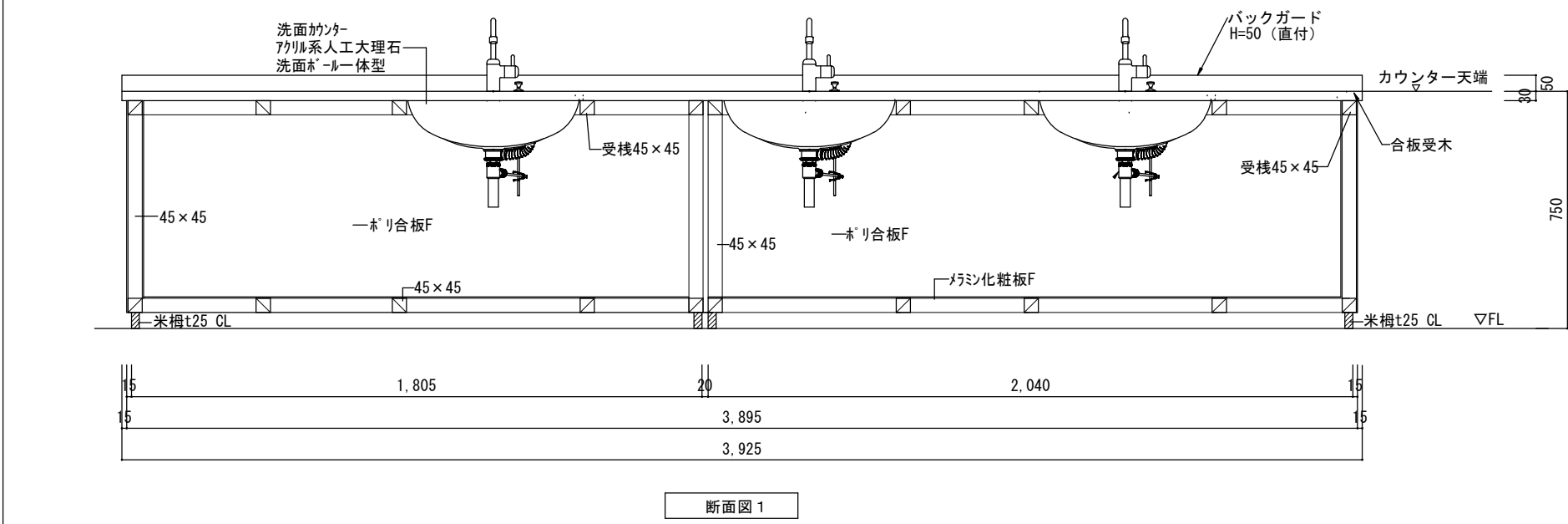
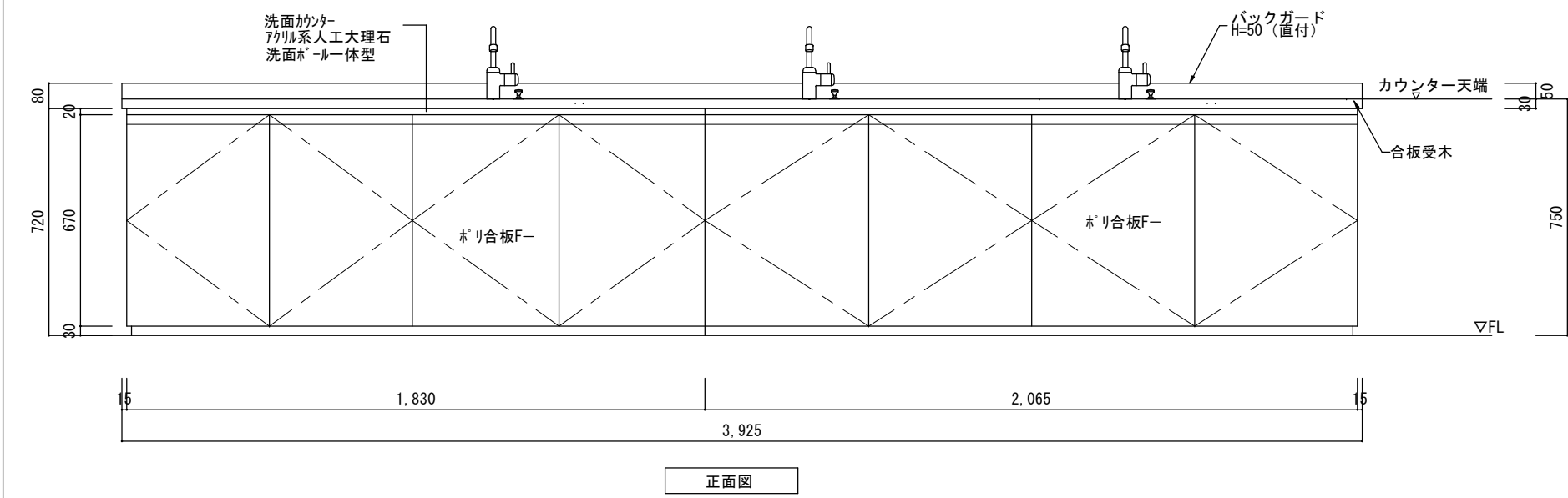
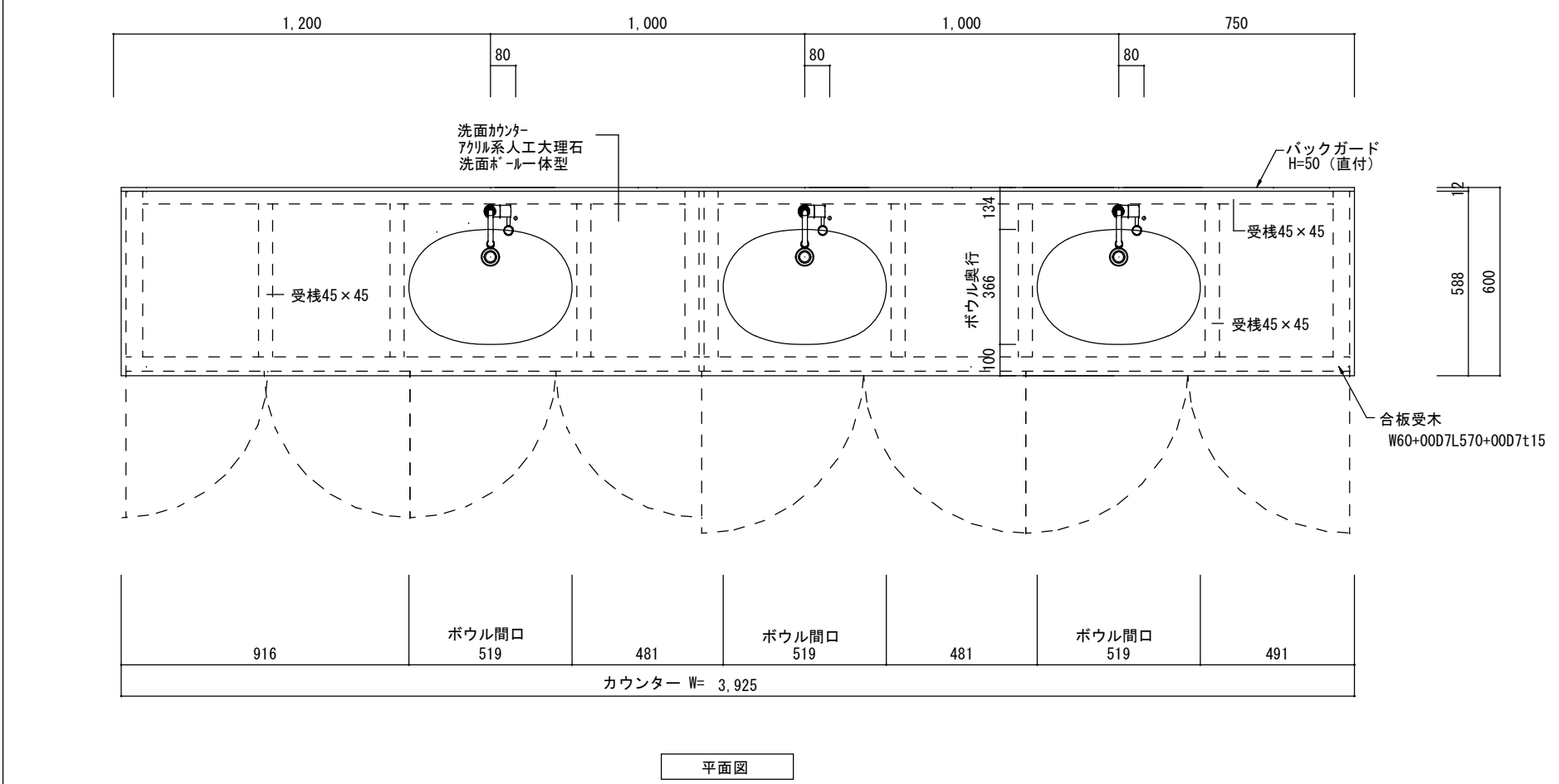
下駄箱詳細図 S=1/10

3 台



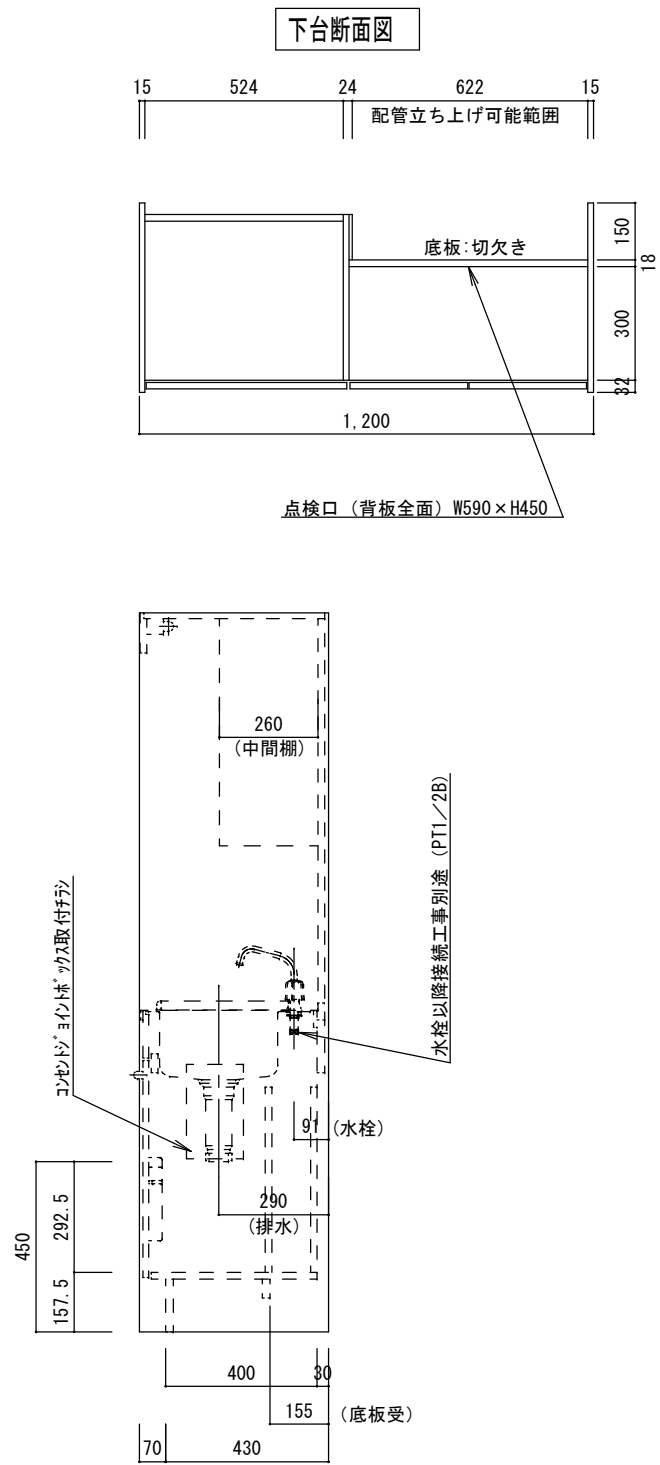
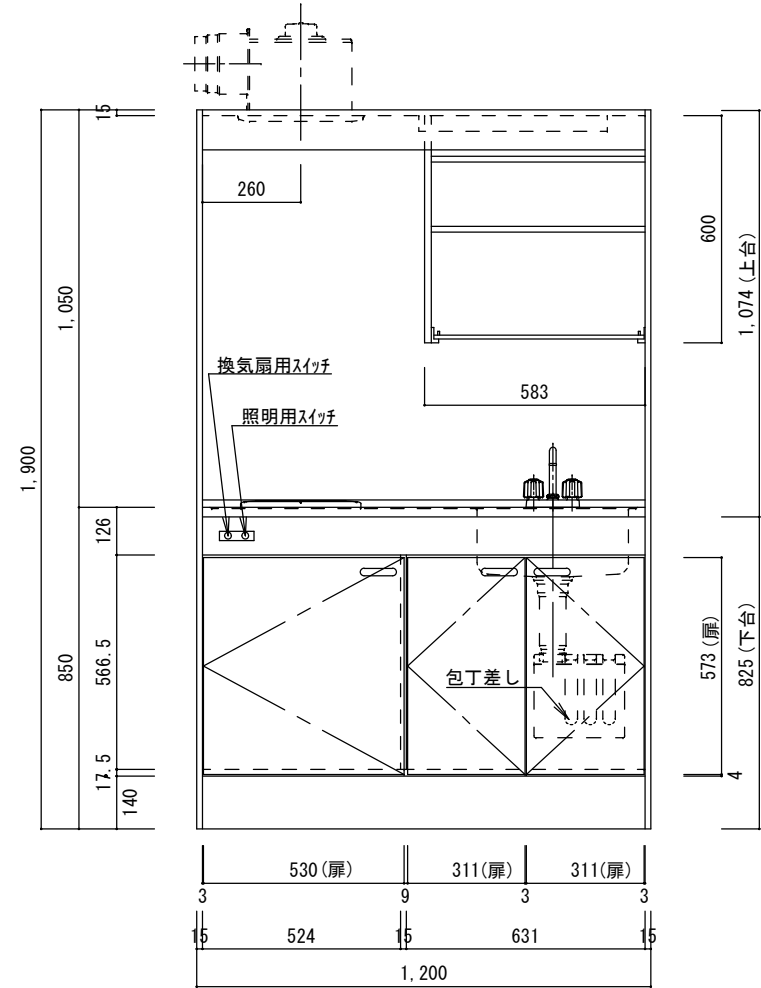
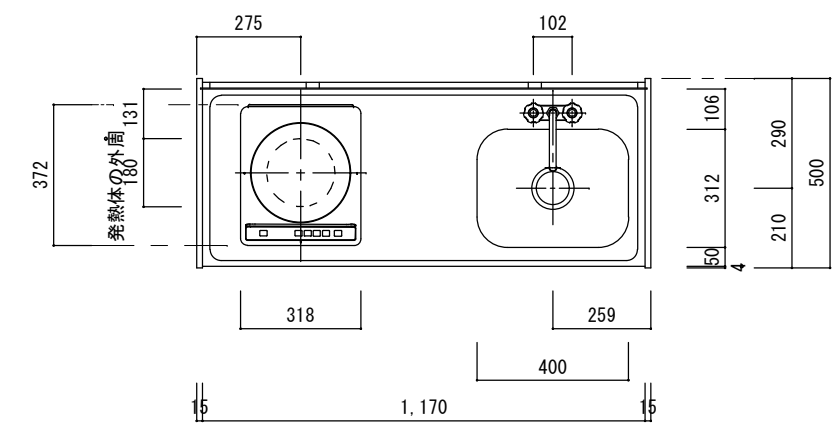
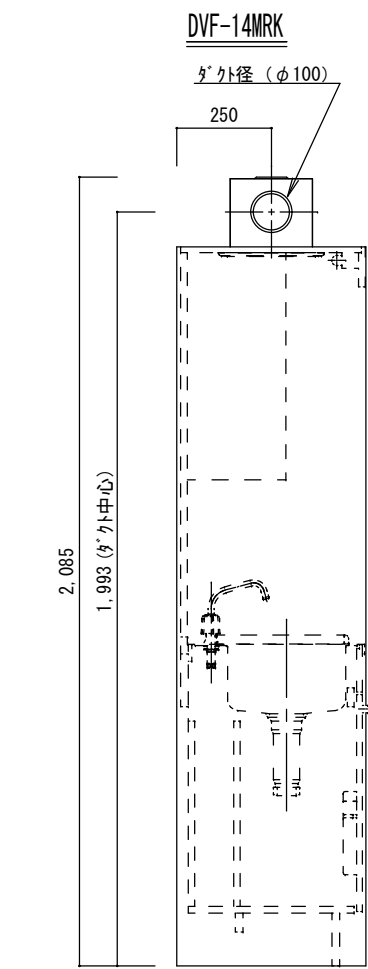
掃除道具入詳細図 S=1/10

1 台

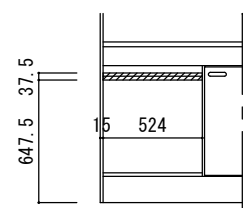


LIXIL DMKミニキッチン
DMK12KEWB1<2>B100 (200) R・L 同等品
扉タイプ IHヒーター

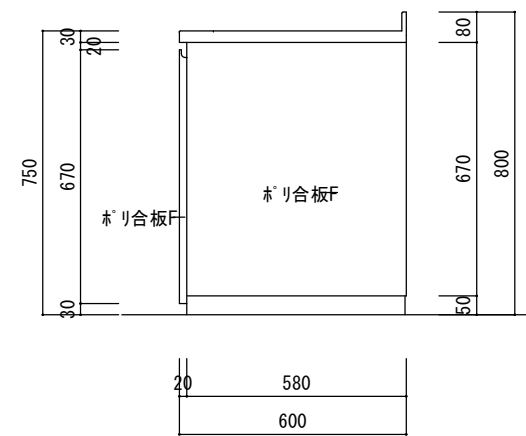
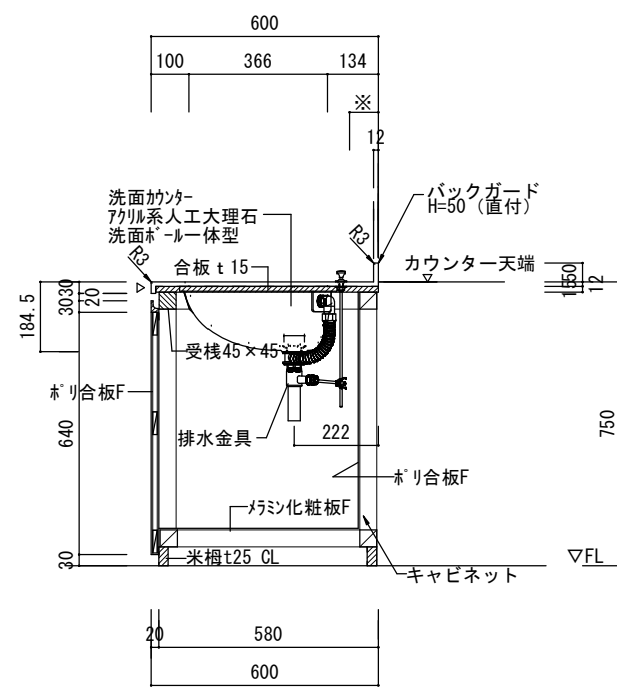
多目的室：シンク右
事務室：シンク左

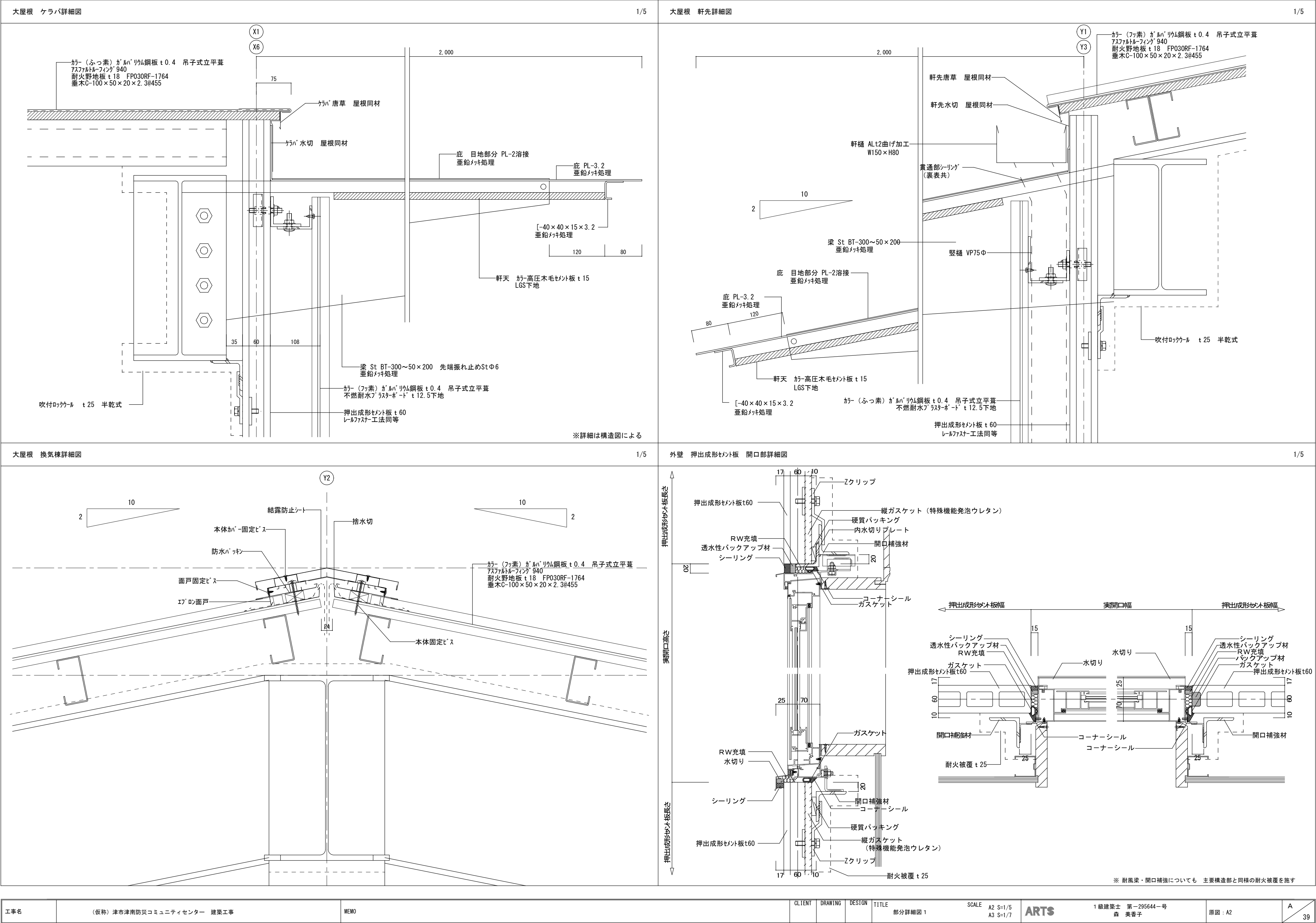


一次側 (躯体側) 電源・7-λ取込み位置
(IHヒーター後部)

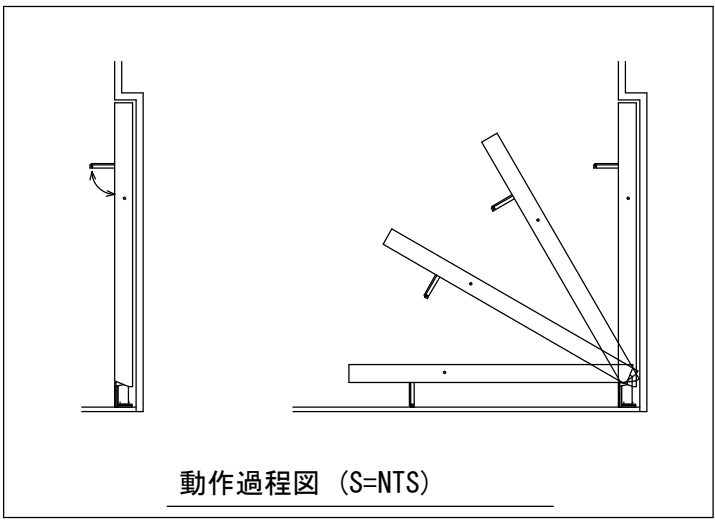


S=1/40





参 考 图



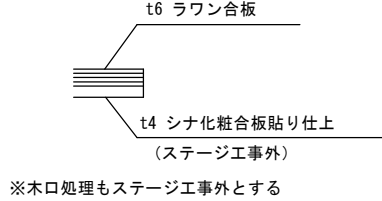
動作過程図 (S=NTS)

(S=1 : 8)

展開時正面図

収納時正面図

左右对称 (S=1 : 5)



(S=1 : 2)

展開時側面図

展開時正面図

収納時正面図

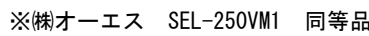
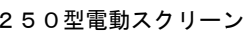
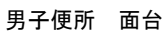
側面図（収納時）

本 体 主 要 構 成 部 品		
品 名	仕 様	備 考
フロー材	t12ナラフローリング化粧板	F☆☆☆☆
下地材	t12ラワン合板	F☆☆☆☆
カマチ	ナラ集成材	クリアラック塗装
ステージ裏面下地	t6ラワン合板	F☆☆☆☆
省力起倒装置	備前線コイルバネ・チェーン	
収納時ロック機構	丸落とし式（ロックピン）	
脚パネルダンパー	ガススプリング	
脚先アジャスター	レベルアジャスター	
本体フレーム	角鋼 他	合成樹脂塗装（ライトブラウン）

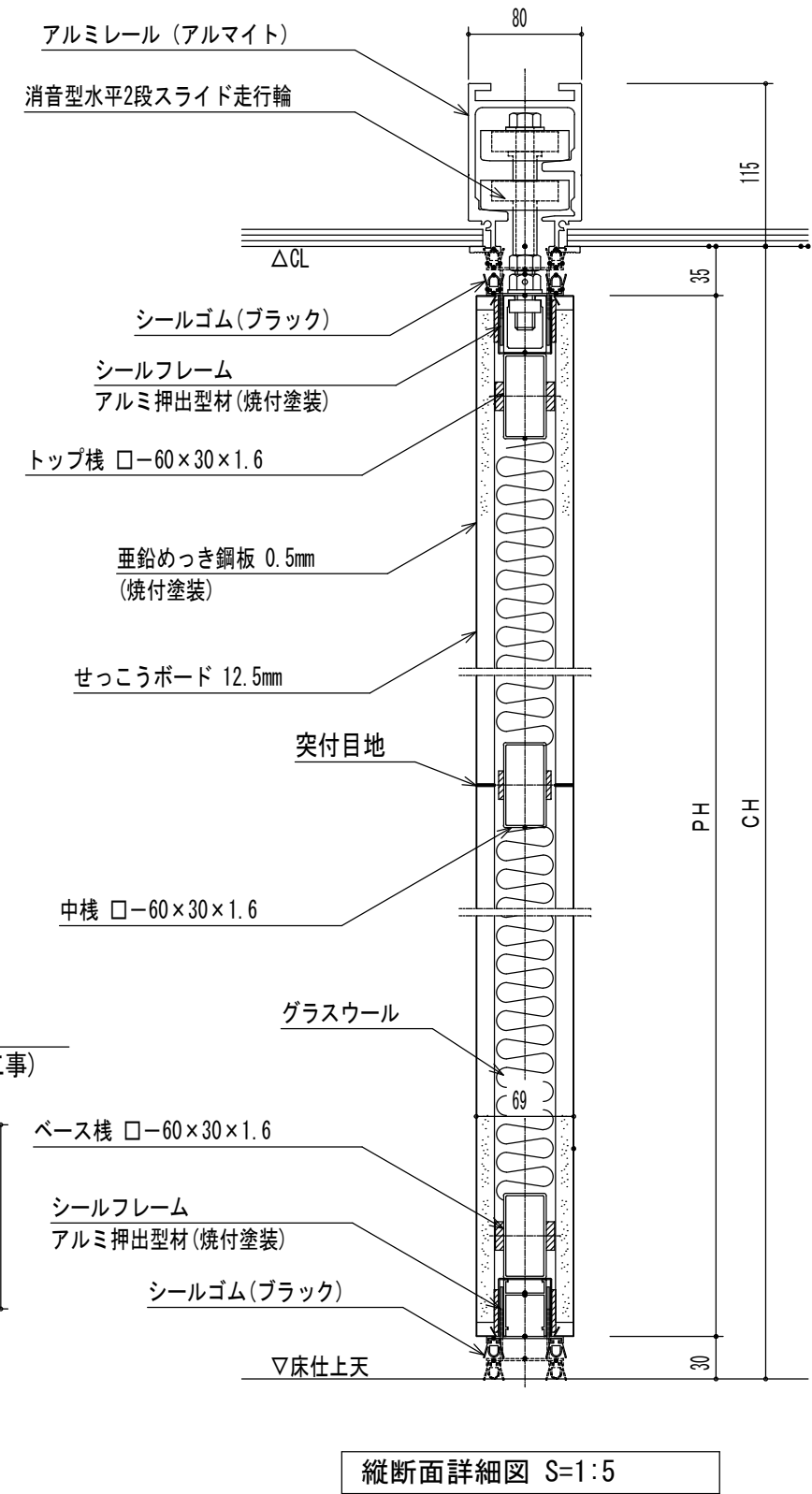
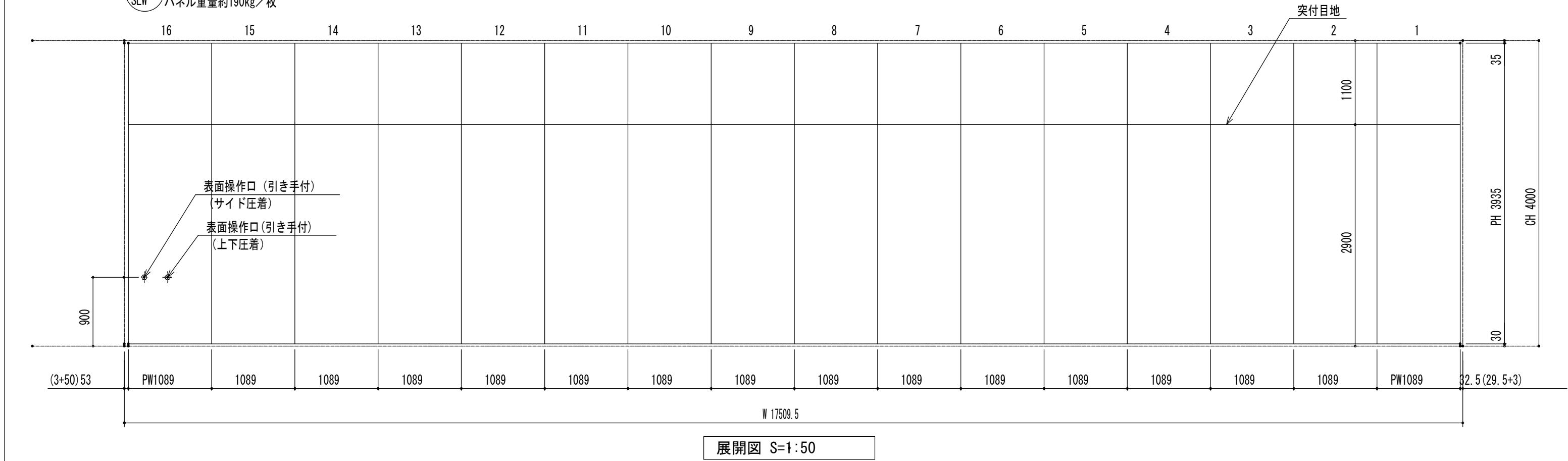
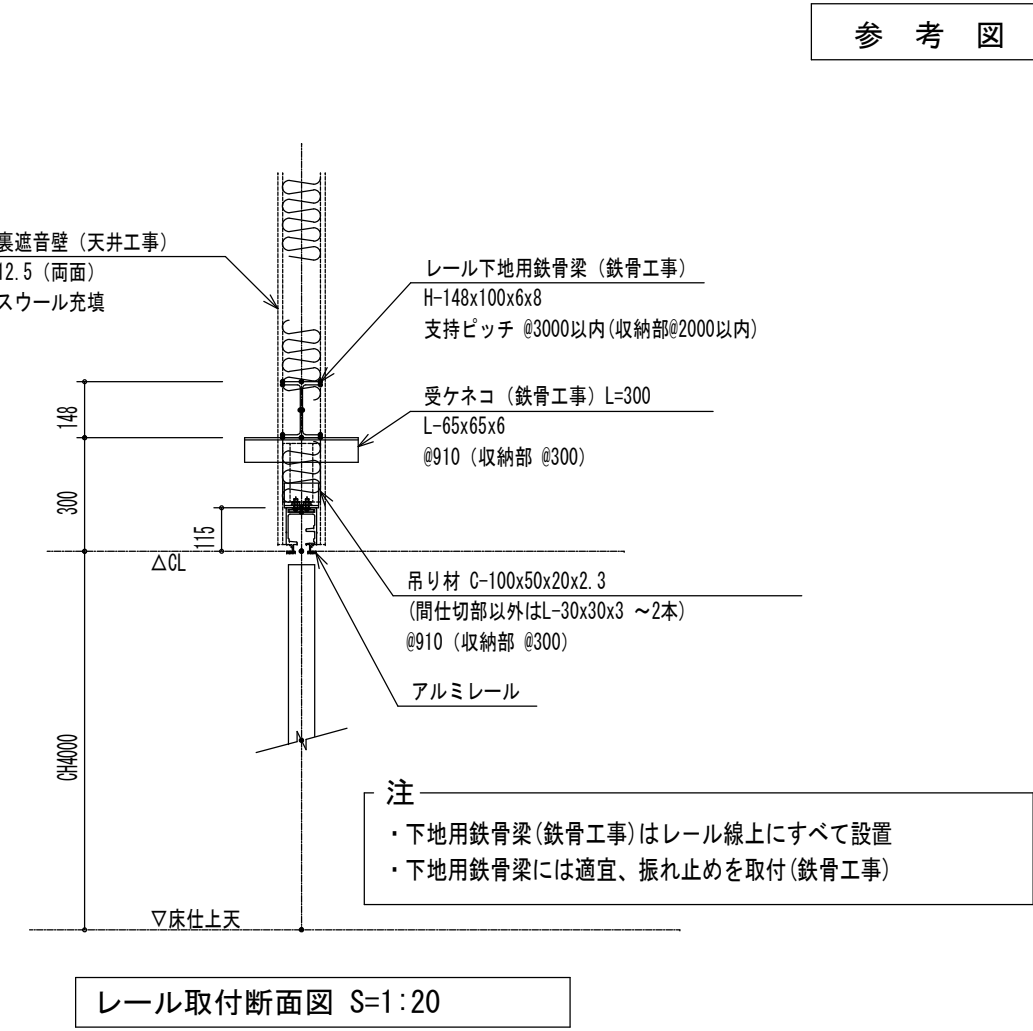
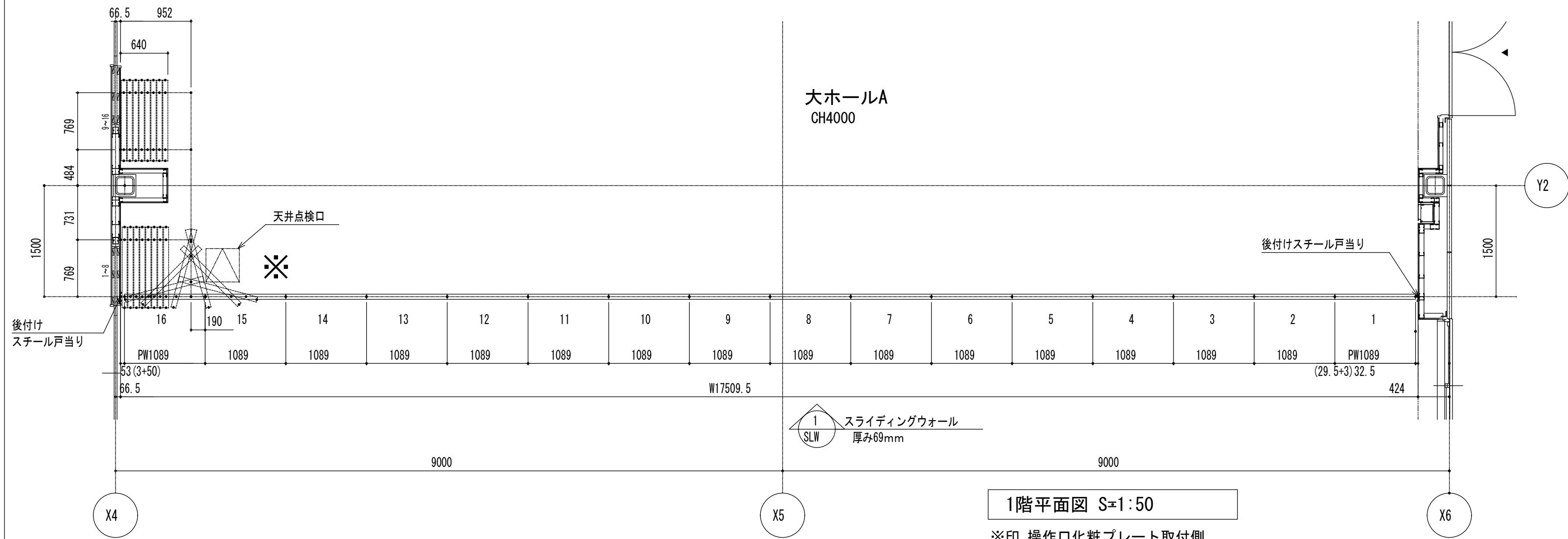
設置階	1階 大ホールA
-----	----------

※ ニチブ 手動式壁面収納ハネアゲステージ NS-10同等

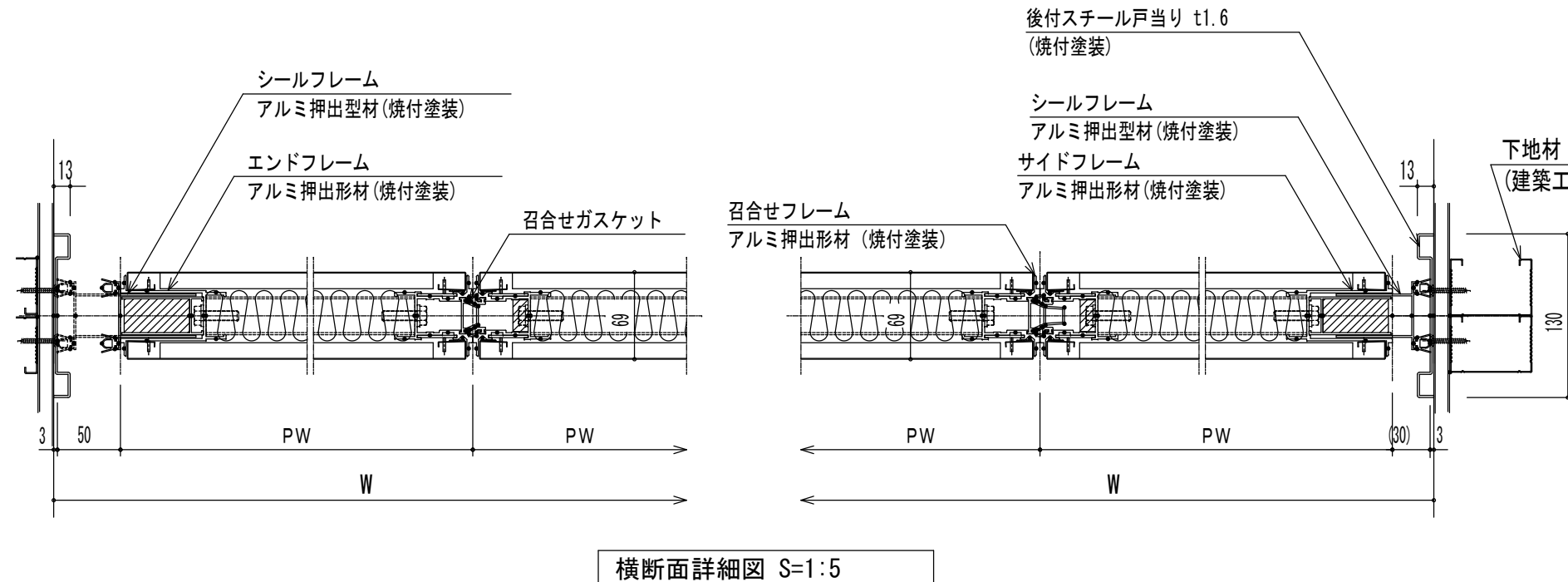
1/30



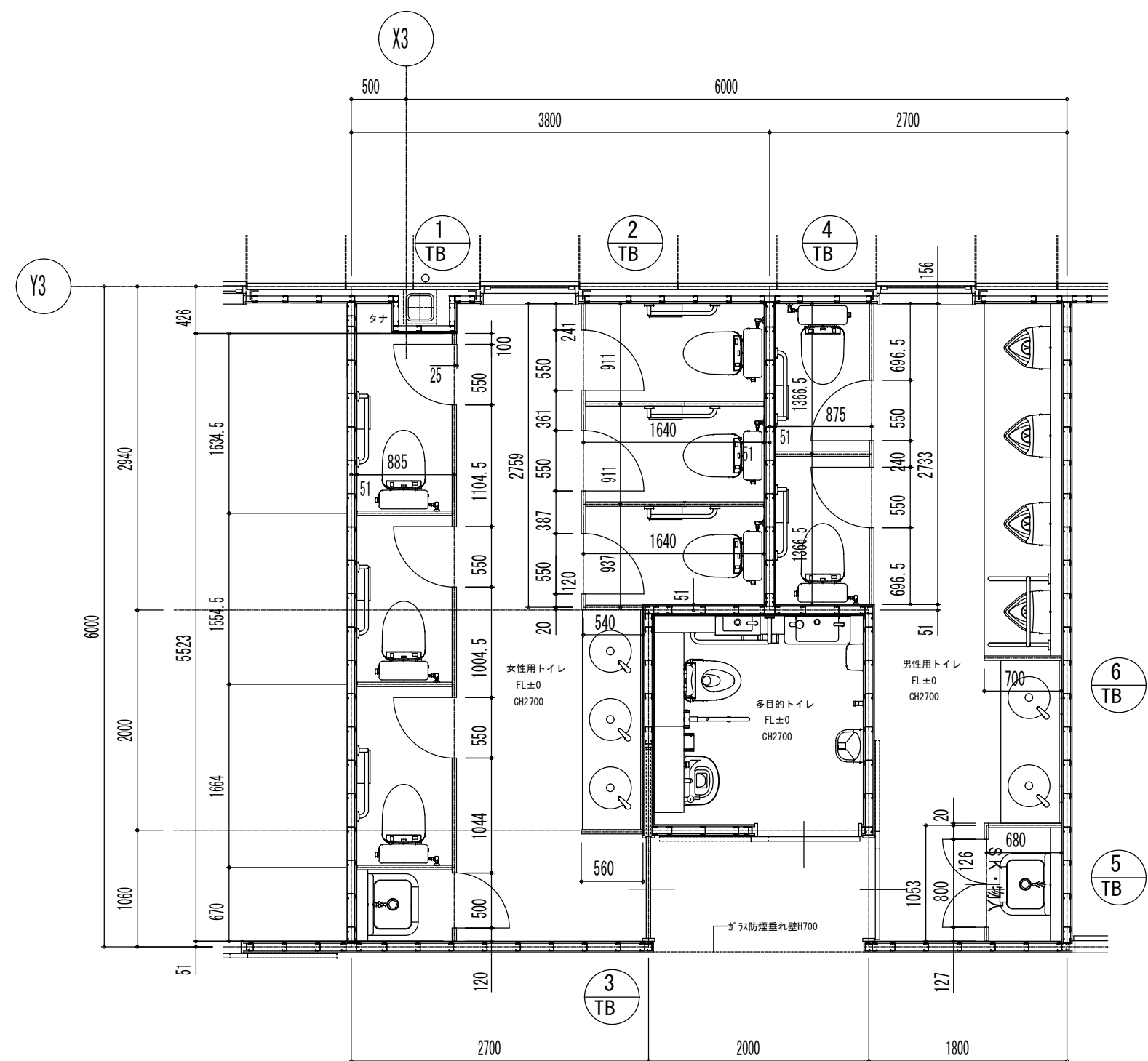
電 源	AC100V 50/60Hz
画 面	250インチ(7'7"タイプ" 4:3)
スクリーンサイズ	5080×3810mm
仕 上	スクリーン生地:リファルホワイト
	ケース:ホワイト



スライディングウォール 厚み69mm (60D) (コマニー DP 6 0 S 同等品)		
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
ランナー仕様	走行輪	コーナー部 直角レール
	吊ボルト	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
パネル仕様	表面仕上	■ 14
	表面材	垂鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り: せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出型材 (アルマイト処理)
		※パネル断面詳細図の特記部分は焼付塗装
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
▽パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型		

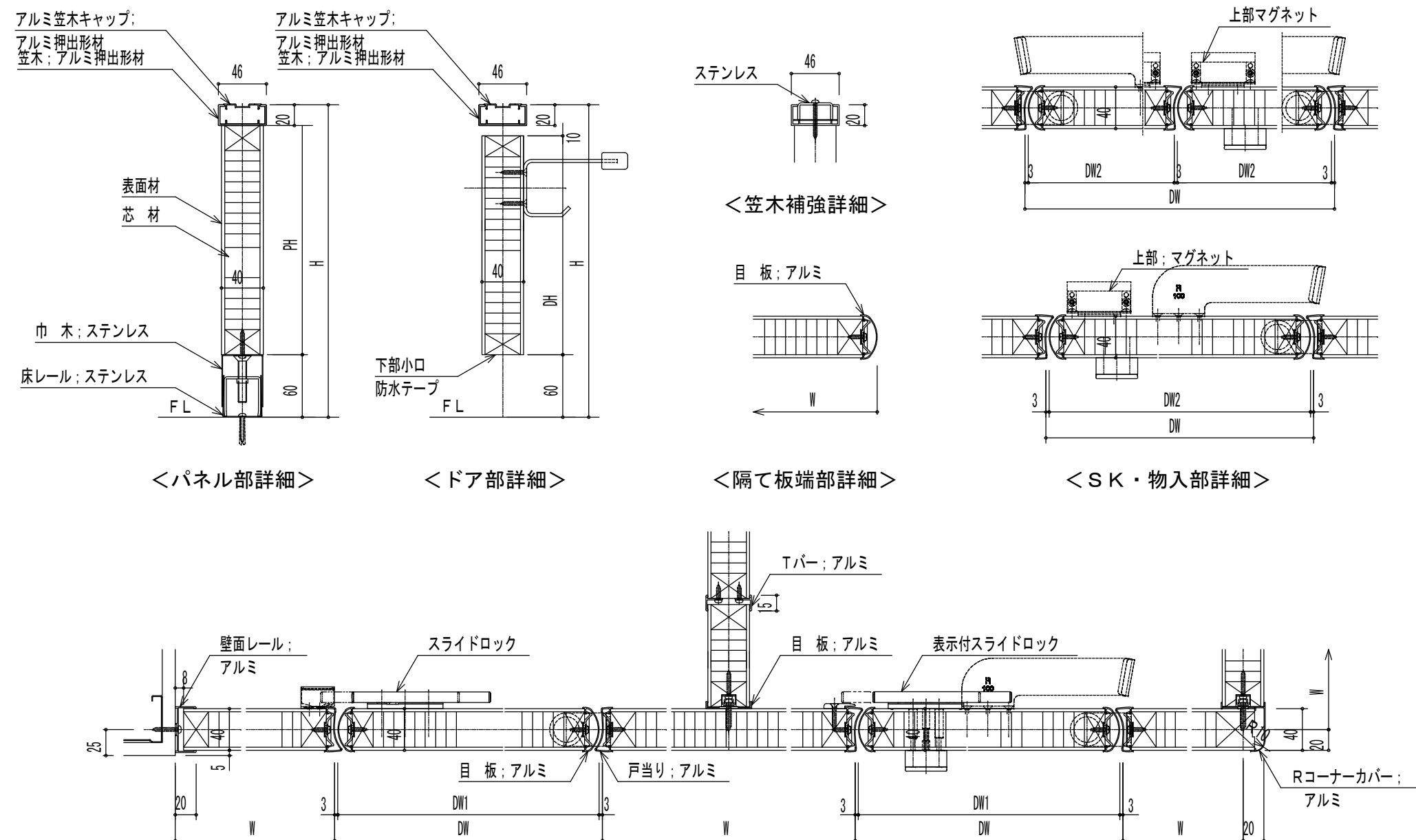


<スライディングウォール 厚み69mm> (60D)



トイレ平面図 S=1/50

トイレブース詳細図 S-1/5

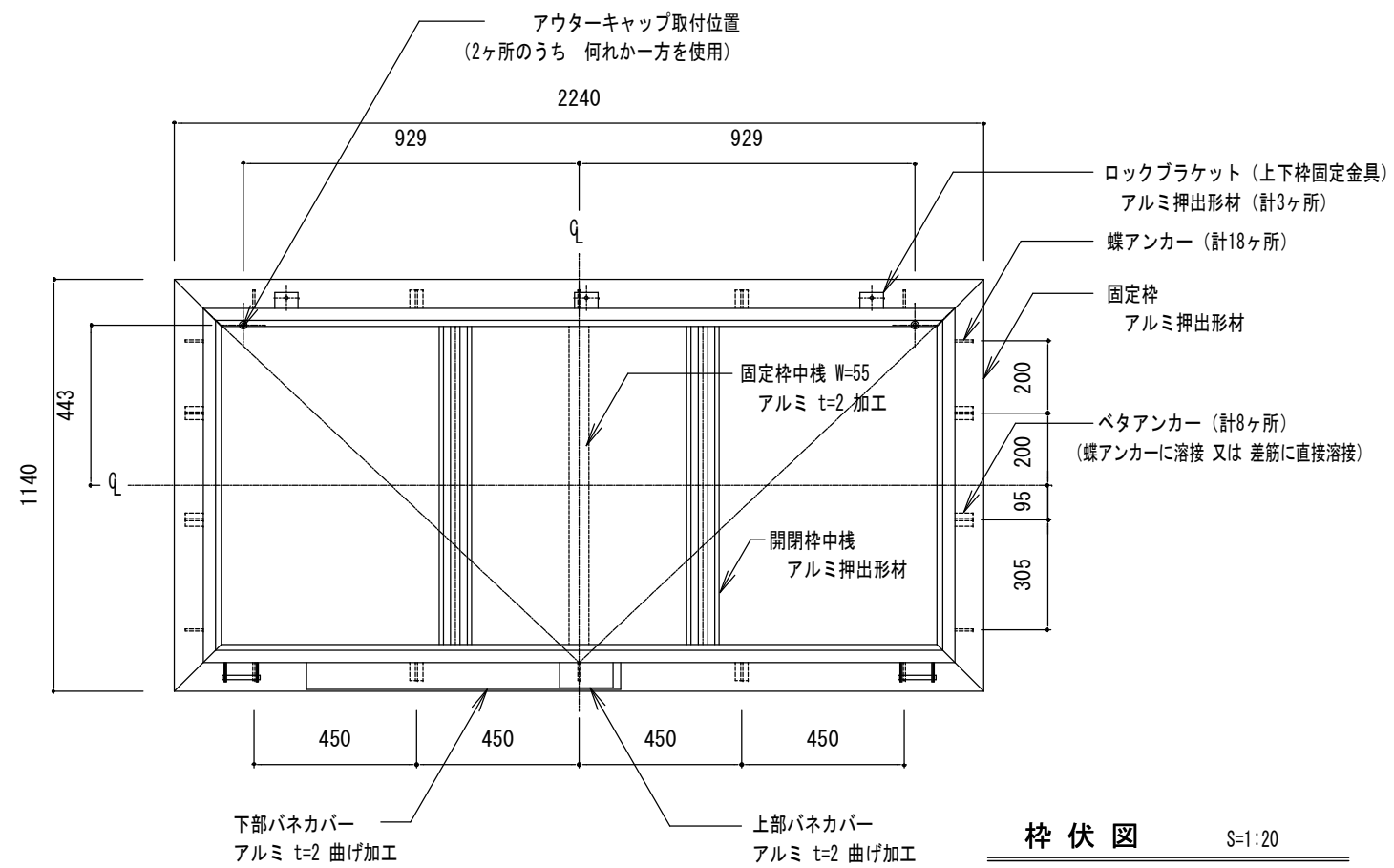
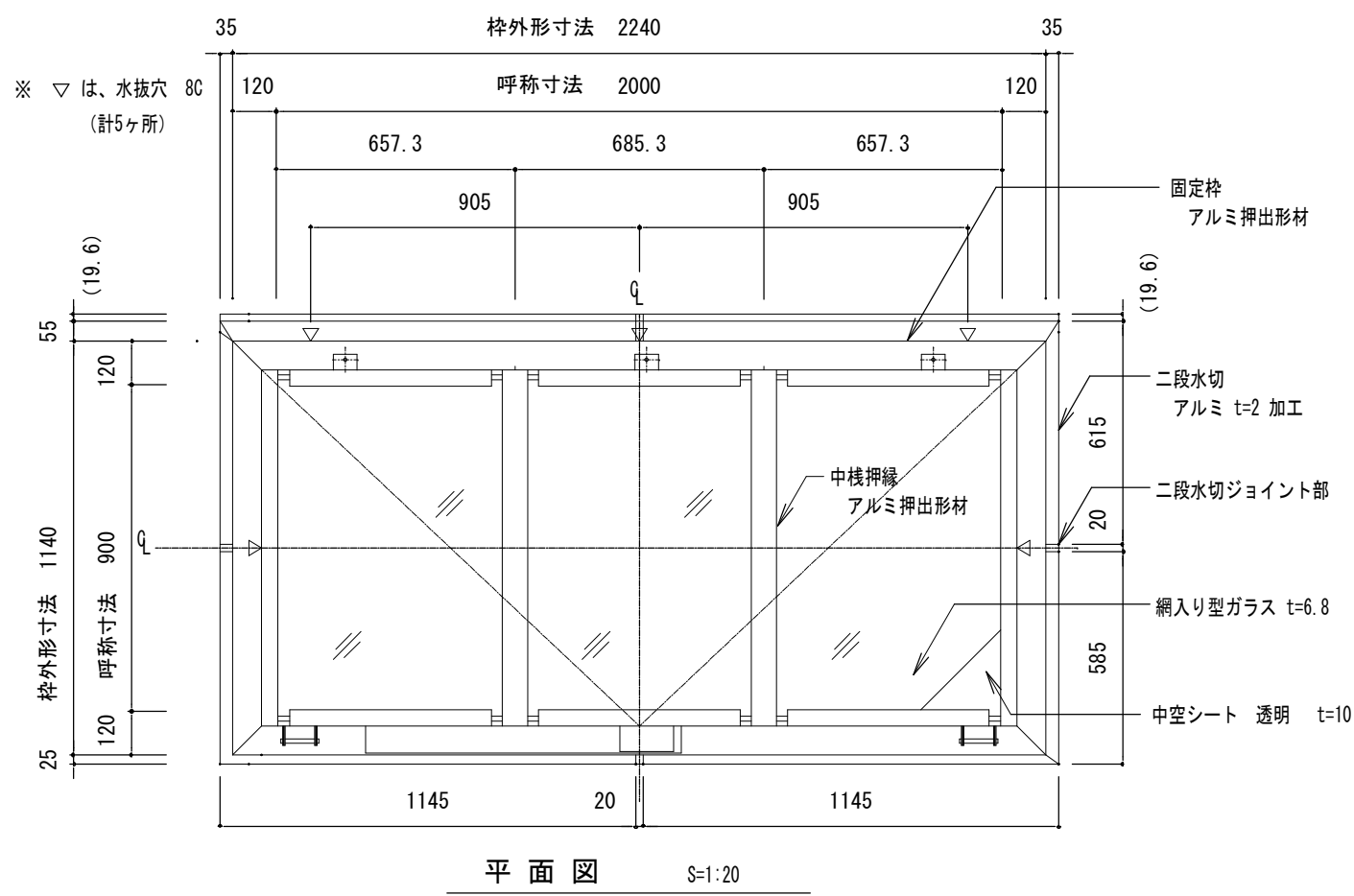
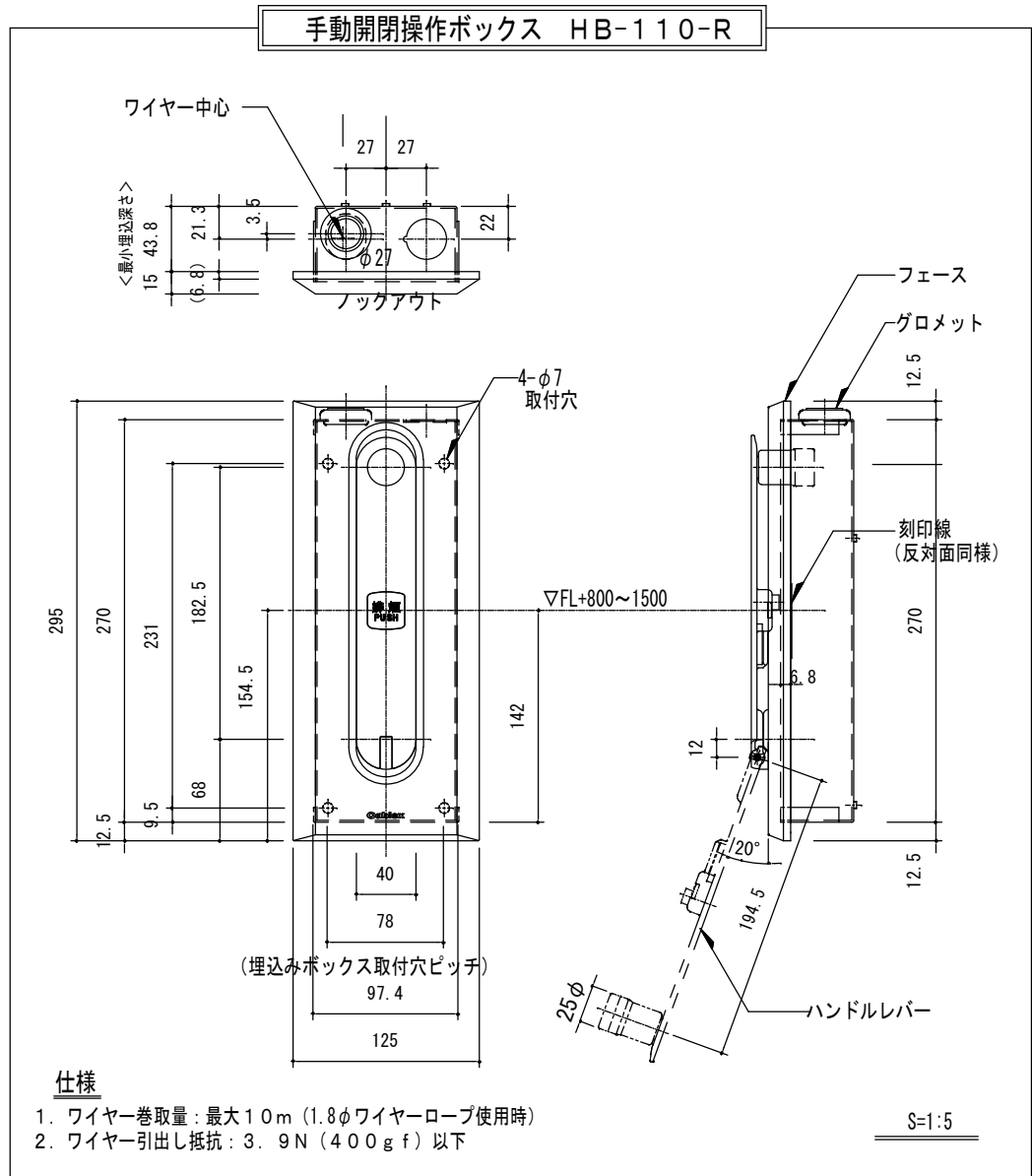
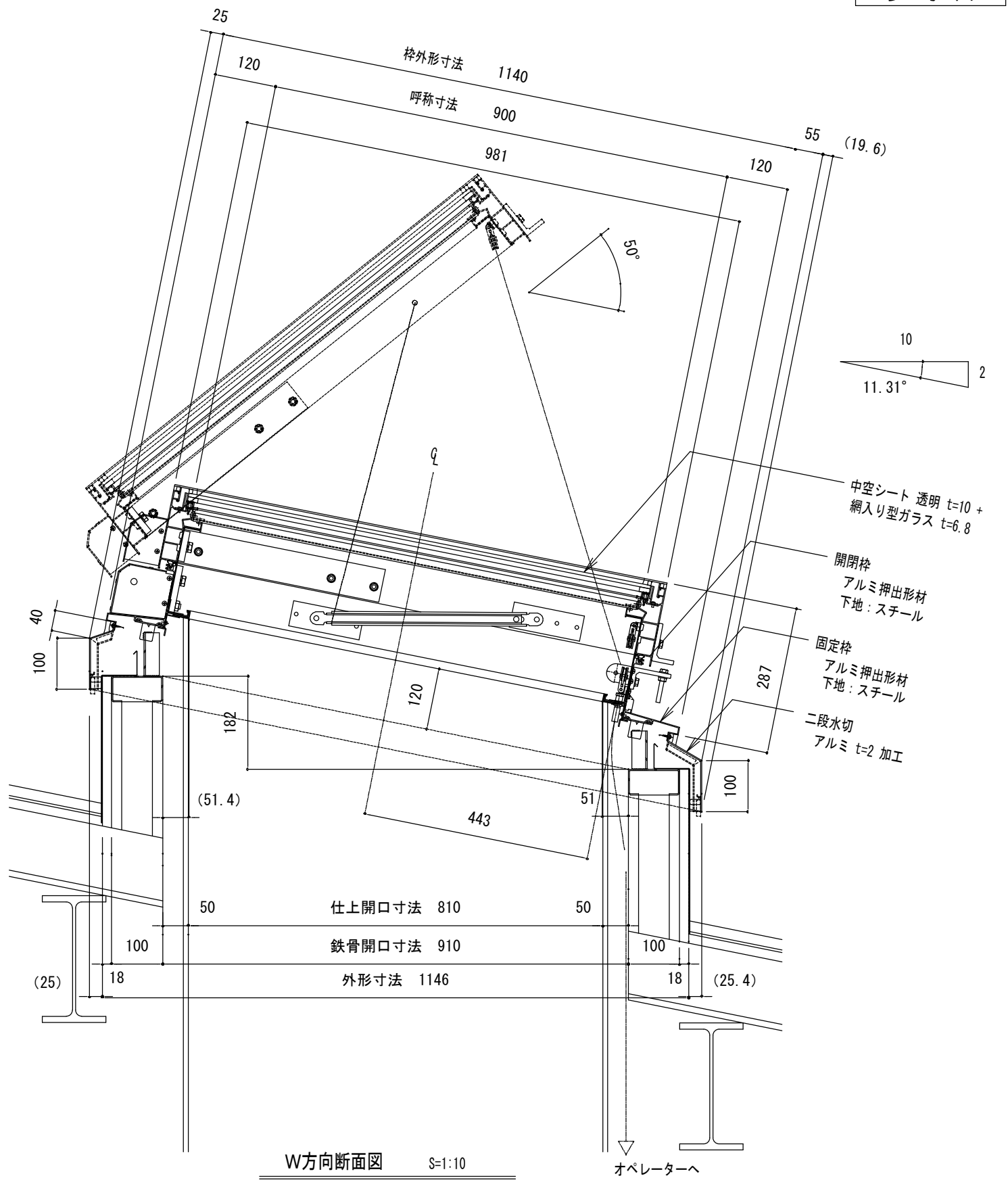
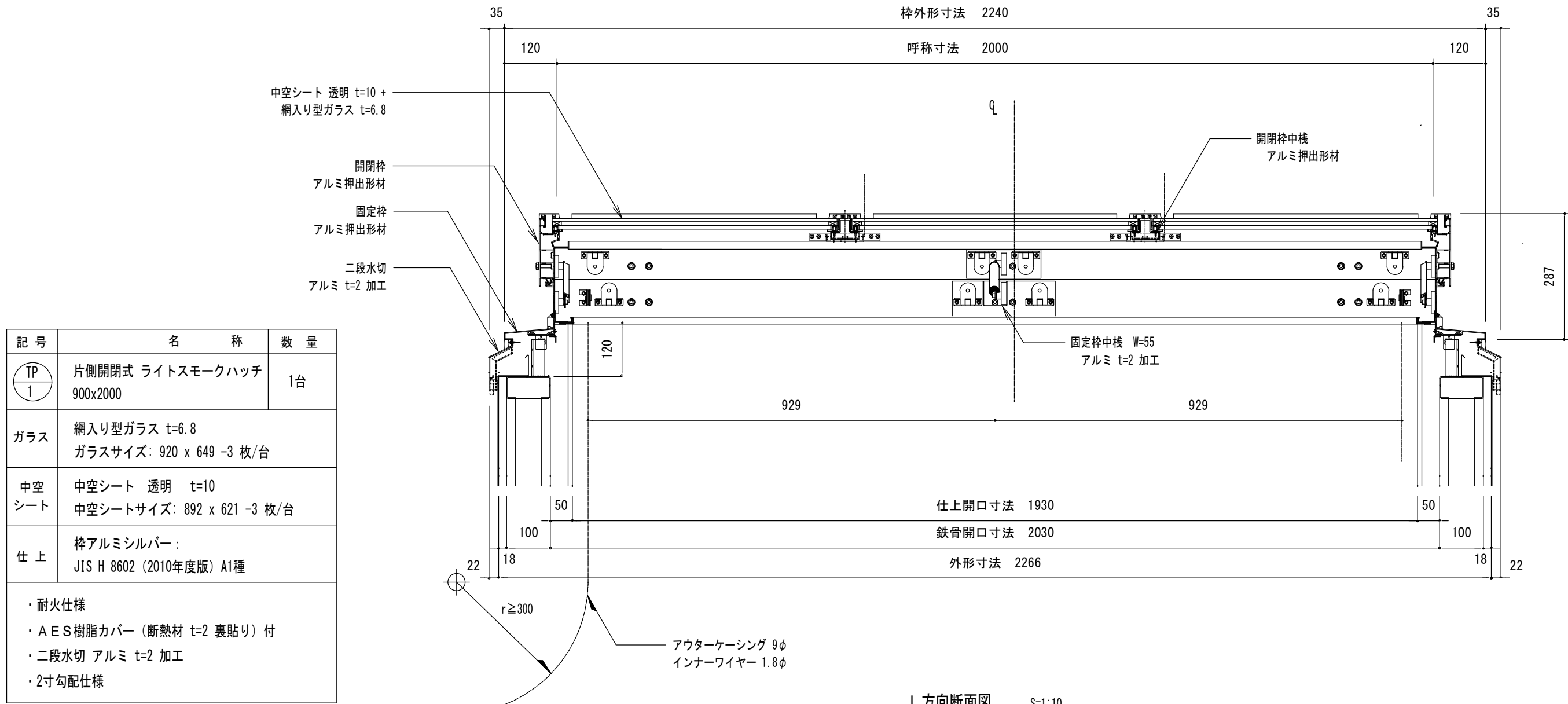


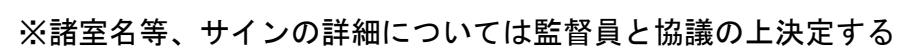
◇仕様表

(小松ウォール サニティTB-GPRタイプ同等品)

項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF)
	芯 材	ペーパーコア
	エッジ	アルミ押出形材 〈※焼付塗装仕上〉
付属品	脚 部	巾木: ステンレス 0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	ロック	スライドロック (外開きは表示付)
	ヒンジ	グレビティヒンジ
	笠木	アルミ押出形材 〈※焼付塗装仕上〉
	その他金物	戸当り帽子掛け

※設備取付部は、補強すること（本工事）





1/2、1/50

1/5

1/5

館内案内図

400

150

資材庫1

大ホールA

大ホールB

防災倉庫1

防災倉庫2

資材庫2

会議室B

会議室A

多目的研修室

防災会議室

事務室

現在地

入口

1/5

750

40

津南防災コミュニティセンター

自動ドア建具 ガラス面にカッティングシート貼

施設名は仮称

750

津南防災コミュニティセンター

1,400

1/50

Technical drawing of a window assembly. The drawing shows a cross-section of a window with a height of 1,700 and a width of 400. The window is divided into four panes. The leftmost pane is shown in a detailed view, revealing the internal frame structure and the window's operation. The other three panes are shown in a simplified view, with arrows indicating the direction of movement. The drawing is labeled with dimensions and a scale of 1/50.

1/5

下地 t 50 x 50 ビス留

シベニヤ t 6 CL

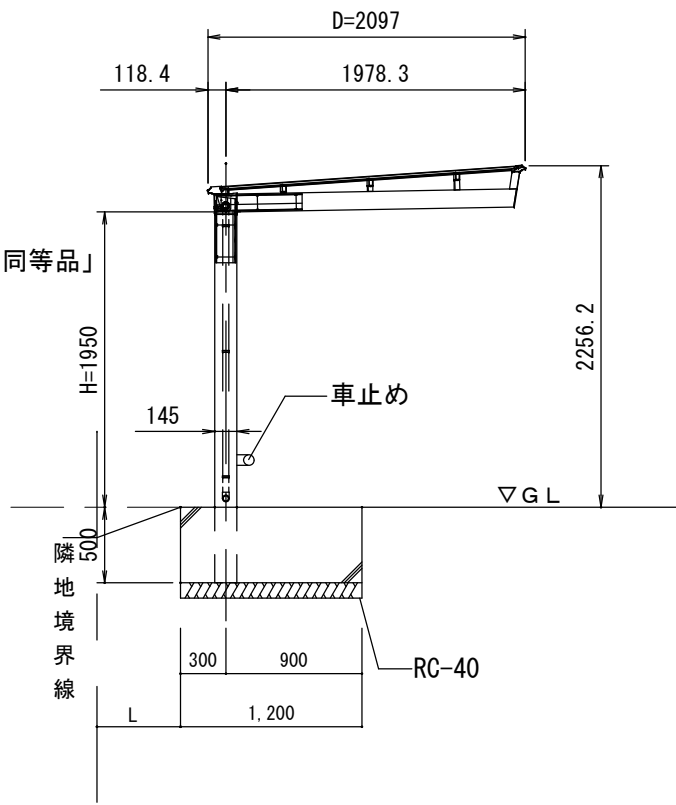
下地にボンド貼

50 × 50 ビス留

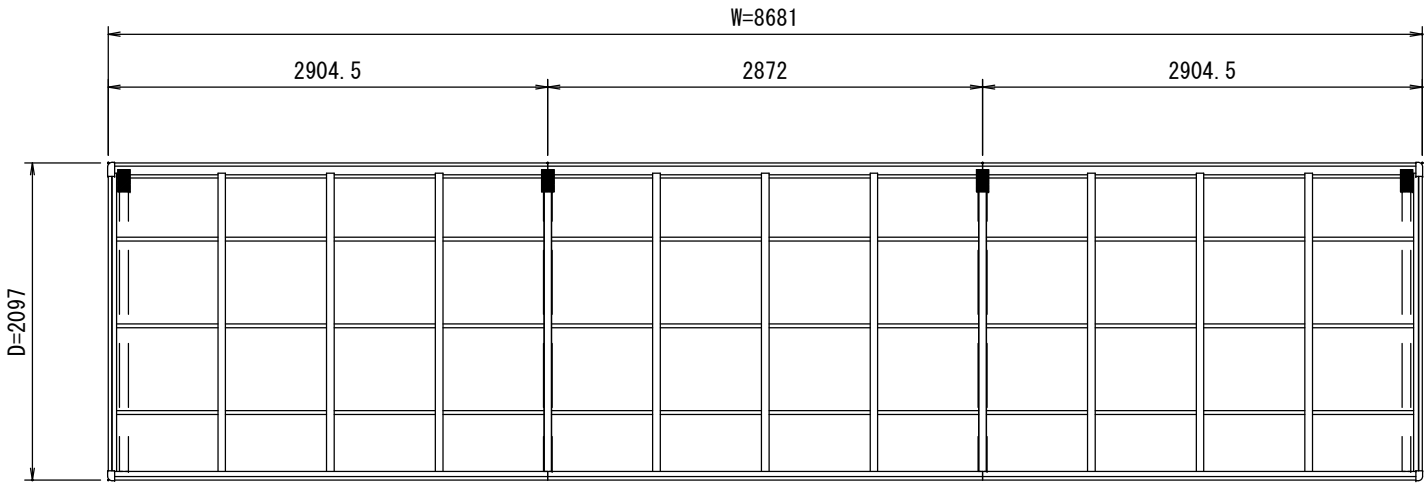
Room Name	Width (m)	Height (m)
事務室	150	150
防災会議室	150	150
多目的研修室	150	150
会議室A	150	150
会議室B	150	150
大ホールA	150	150
大ホールB	150	150
防災倉庫1	150	150
防災倉庫2	150	150

側面図（S＝1／50）

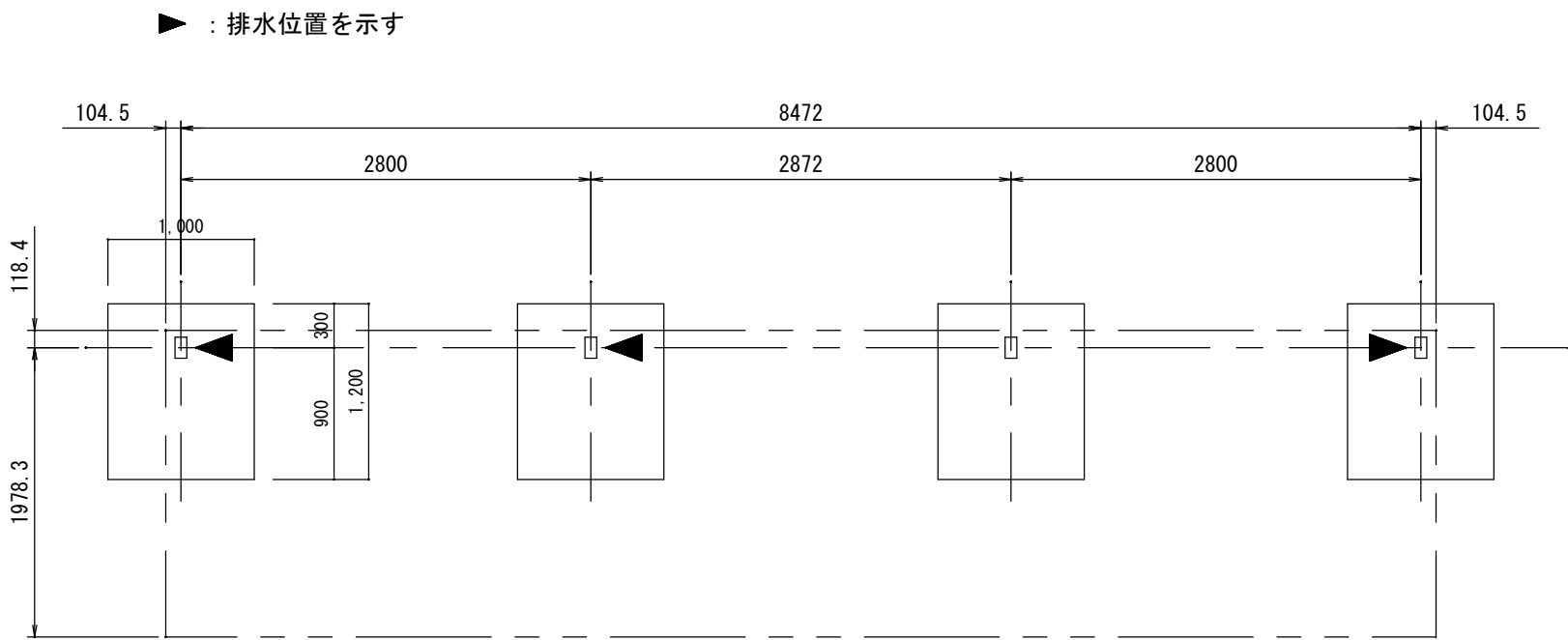
屋根：ポリカ DW0059
柱・梁：アルミ
参考型番「三協アルミ レイリード（オープンタイプ）同等品」
コンクリート強度「Fc21 S18」



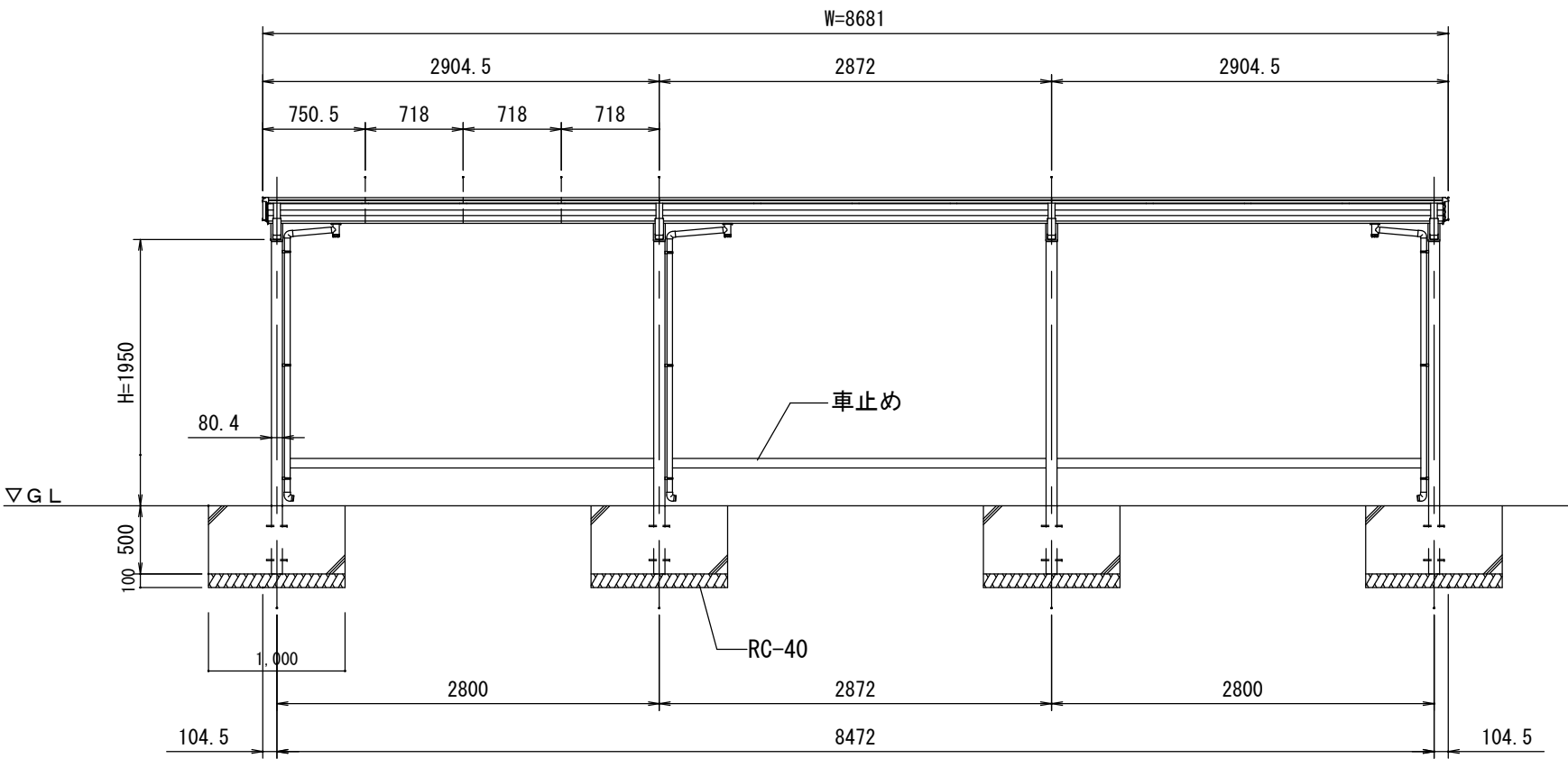
平面図（S＝1／50）



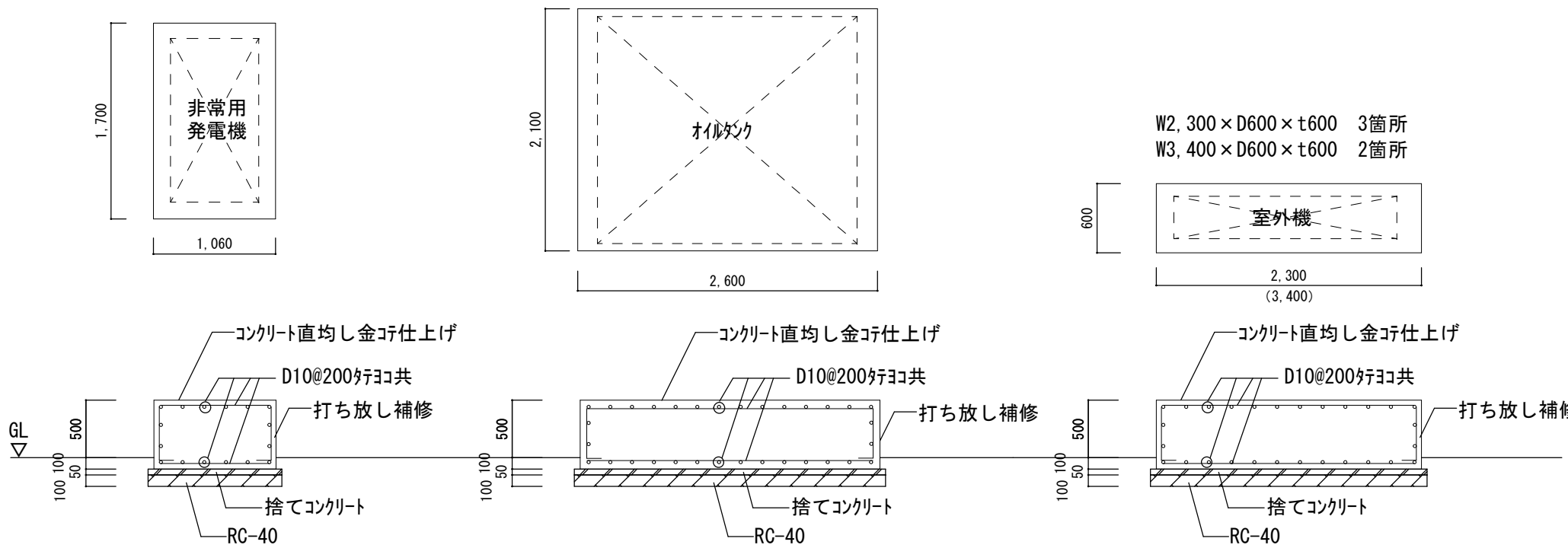
柱・基礎位置図（S＝1／50）



立面図（S＝1／50）



※架台及びA. BOLTは、別途工事



非常用発電機基礎 S=1/50

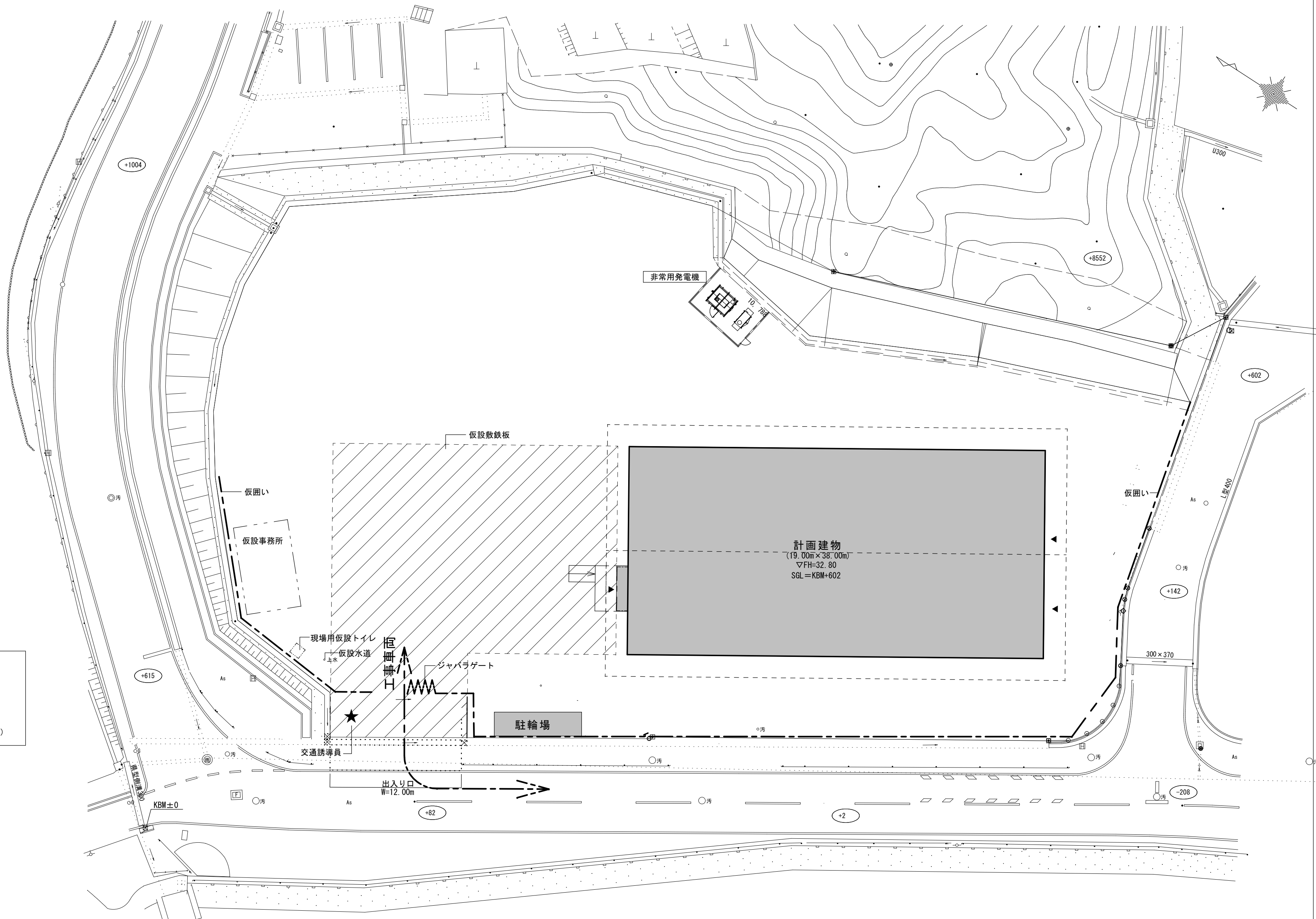
コンクリート：Fc21 S18
鉄筋：SD295A

オイルタンク基礎 S=1/50

コンクリート：Fc21 S18
鉄筋：SD295A

室外機基礎 S=1/50

コンクリート：Fc21 S18
鉄筋：SD295A



- 凡例
- 仮囲い (成形鋼板H2000)
 - ||||| 仮シャッター (W6000)
 - /// 敷鉄板 t25
 - ★ 交通誘導員 (大型車両進入時)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

4-4
補助筋

4-5
小梁及び片持梁

a) 小梁継手

定着

4-6
基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着

b) 基礎小梁の継手及び定着

4-7
梁の貫通補強

5-1
鉄筋の折り曲げ及び定着

5-2
継手

5-3
片持ちスラブ

5-4
補強筋

6-1
定着及び継手

6-2
壁配筋

6-3
補強筋

7-1
独立基礎

7-2
杭基礎

7-3
ベタ基礎継手及び定着

7-4
基礎と基礎梁

8-1
階段

8-2
土間コンクリート

8-3
打増し補強

8-4
増築予定

§ 5
スラブ

§ 6
壁

§ 7
基礎

§ 8
その他

工事名

(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 建築工事

MEMO

CLIENT

DRAWING

DESIGN

TITLE

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

SCALE

1 級建築士 第一295644一 号

原図：A2

S

3

§ 6 柱梁接合部及び継手

6-1 勾配屋根

6-2 梁通し

6-3 仕口と継手

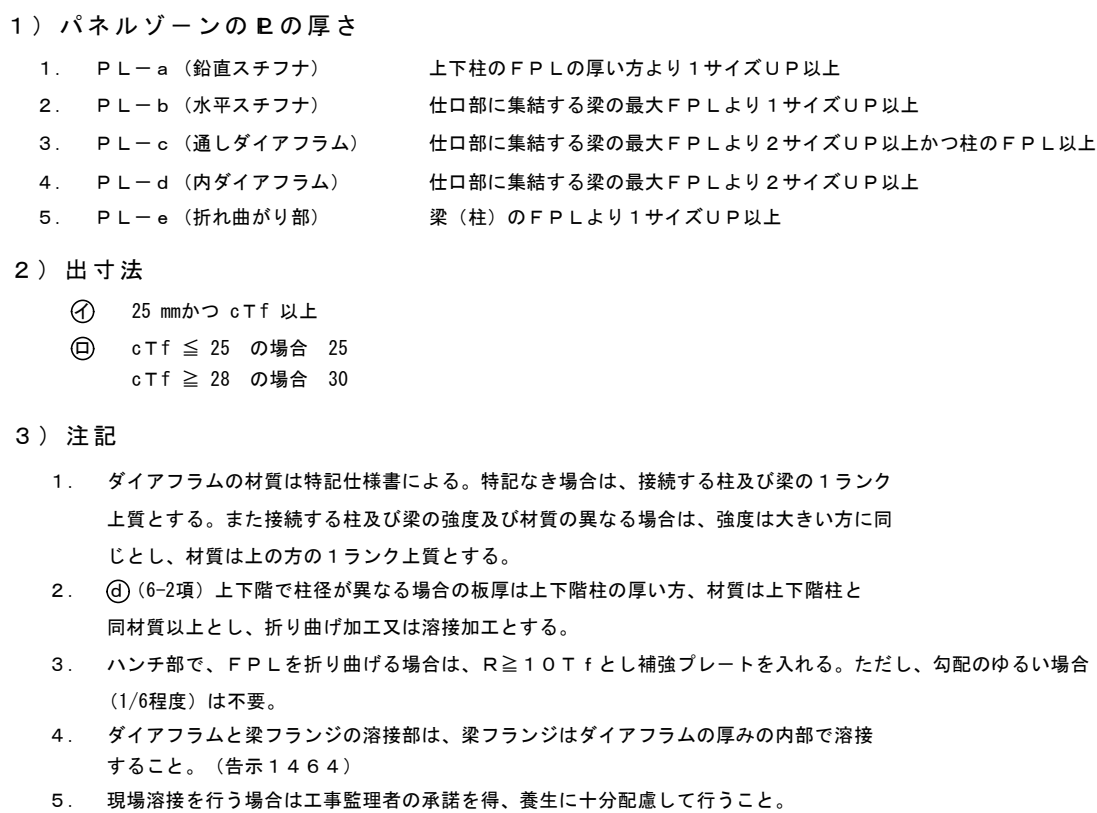
6-4 柱通し

6-5 現場溶接継手

柱が H 形鋼の場合

柱が角形鋼管の場合

8-1
ブレースリスト



設計図による 30~50

設計図による 30~50

無収縮モルタルの強度はRC柱型のコンクリート強度以上とする。

アンカーボルトの施工に誤差がある場合は台直しはせず右図の様に補強する。

補強Rは座金を兼ねる

補強P厚さtはBPL厚さの1/2以上かつ6以上

[illegible]

A タイプ ($\phi \leq 0.1H$)

B タイプ ($0.1H < \phi \leq 0.2H$)

C タイプ ($0.2H < \phi \leq 0.28H$)

D タイプ ($0.28H < \phi \leq 0.4H$)

E タイプ ($0.4H < \phi \leq 0.5H$)

F タイプ

既製品（評定品）を用いた場合

1. 特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径 (ϕ) は $0.5H$ 以下とし、そのピッチは 3.0ϕ 以上とする。
(これを満足できない場合は設計者の指示による。)

2. 貫通孔を設ける範囲は右図の 部分を原則とする。

3. 貫通孔が多くなる場合は WPL を厚くした (WPL + 補強 PL) BH とする。

焼抜きせん溶接 @ ≈ 300 50以上

デッキプレート受け FB-65 x 9

○ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

$h \geq 4.0d$
$7.5d \leq p1 \leq 300$
$p2 \geq 5.0d$
$a1 \geq 40$
$a2 \geq 100$
$e \geq 40$
$d \leq 2.5t$

A タイプ (標準)

B タイプ (軽微なRC壁の場合)

C タイプ (ブロック壁の場合)

図 10-10-1 壁と柱の接合部

ジャストベース（J E I 型）柱脚工法設計施工標準図（角形鋼管仕様）

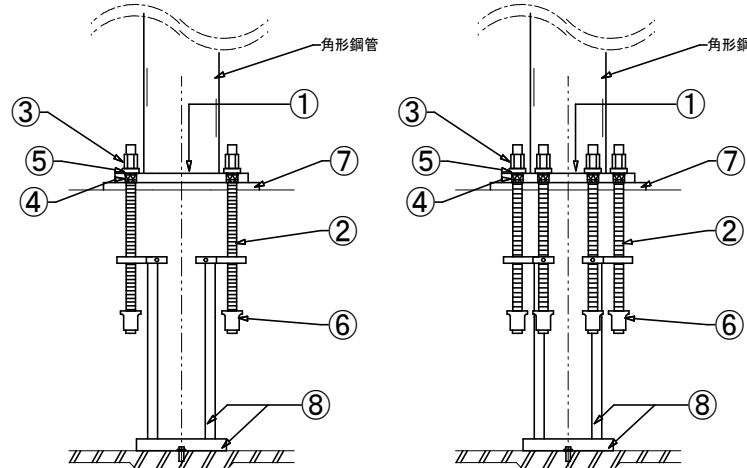
（財）日本建築センターBCJ評定－ST0153-05（平成23年8月19日付）

- 柱材：角形鋼管（F値235N/mm²）－STKR400、BCP235、SHC400B-C（F値295N/mm²）－BCR295（F値325N/mm²）－STKR490、BCP325、SHC490B-C
- 基礎コンクリート 普通コンクリート（21・24N/mm²）以上
- 鉄筋：異形鉄筋 SD295A（D10～D16）SD345（D19～D25）

- 柱脚の選定：別冊「ジャストベースカタログ」により設計者が選定する。
- 柱脚の溶接：別冊「工事製作管理要領書」により鉄骨工場にて溶接施工を行う。
- 現場施工：別冊「ジャストベース施工ガイド」によりジャストベース認定施工業者が行う。

1. 柱脚構成部材及び基礎廻り標準図

1. 1 構成部材



＜4本アンカーボルトタイプ＞

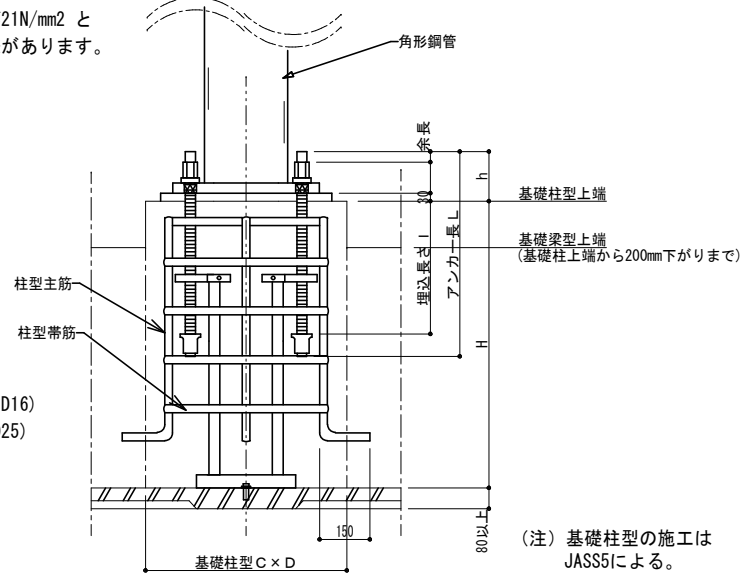
＜8本アンカーボルトタイプ＞

- ① ベースプレート
- ② アンカーボルト
- ③ ロックナット及び緩み止めクサビ
- ④ ジャストリング
- ⑤ 座金
- ⑥ 定着ナット及び緩み止めクサビ
- ⑦ 無収縮モルタル
- ⑧ フレーム部材（テンプレート含む）

注：12本アンカーボルトタイプ図は省略

1. 2 基礎廻りの標準図

※設計基準強度が21N/mm²と24N/mm²の仕様があります。

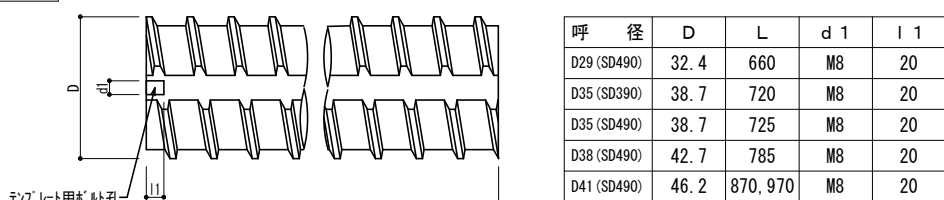


（注1）SD295A（D10～D16）SD345（D19～D25）

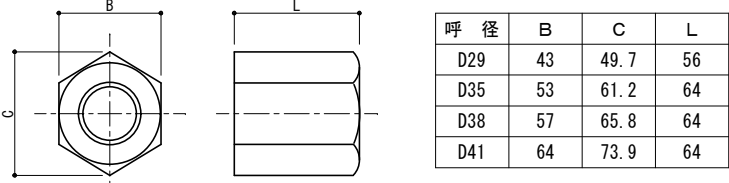
（注）基礎柱型の施工はJASS51による。

2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング

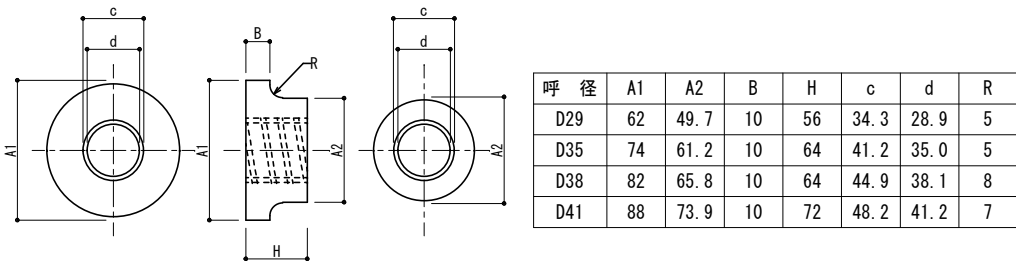
2. 1 アンカーボルト（材質：SD390・SD490）



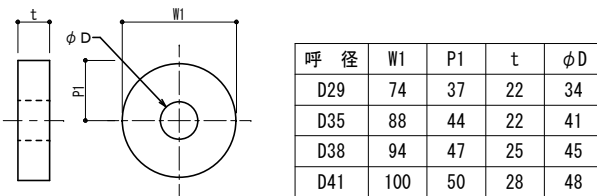
2. 2 ロックナット（材質：S45C 熱処理H）



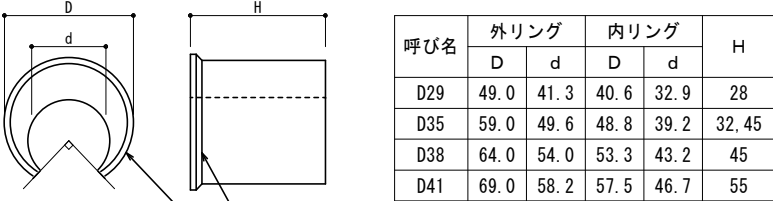
2. 3 定着ナット（材質：S45C又はFCD450-10）



2. 4 座金（材質：SS400）

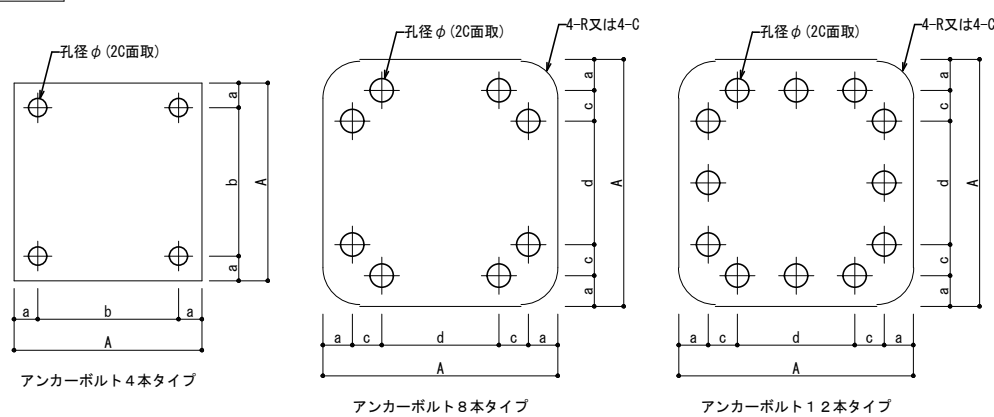


2. 5 ジャストリング（材質：S25C）



3. ベースプレート

3. 1 ベースプレート（材質：SM490A）



ジャストベース記号	タイプ	t	A	a	b	c	d	φ	R又はC
J150-09	4本	28	300	45	210	—	—	50	—
J175-09	4本	28	325	45	235	—	—	50	—
J200-09	4本	32	350	45	260	—	—	50	—
J200-12	4本	32	380	55	270	—	—	60	—
J250-09	4本	36	430	55	320	—	—	60	—
J250-12	4本	40	440	55	330	—	—	60	—
J250-16	8本	36	480	55	—	75	220	60	80
J300-09	8本	32	490	45	—	65	270	50	50
J300-12	8本	36	530	55	—	75	270	60	80
J300-16	8本	45	540	55	—	75	280	60	80
J300-19	8本	50	540	55	—	75	280	60	80
J350-12	8本	40	580	55	—	75	320	60	80
J350-16	8本	45	600	60	—	85	310	65	80
J350-19	8本	55	630	60	—	85	340	65	80
J350-22	8本	55	630	65	—	85	330	70	80
J400-12	8本	45	630	55	—	75	370	60	80
J400-16	8本	55	690	60	—	85	400	65	80
J400-19	8本	60	690	65	—	85	390	70	80
J400-22	12本	60	700	60	—	85	410	65	80
J450-16	12本	50	700	60	—	85	410	65	80
J450-19	12本	55	720	65	—	85	420	70	80
J450-22	12本	60	750	65	—	85	450	70	80
J500-19	12本	60	790	65	—	85	490	70	80
J500-22	12本	65	840	65	—	85	540	70	80
J550-19	12本	65	880	65	—	95	560	70	80
J550-22	12本	70	950	65	—	95	630	70	80

4. 溶接施工

4. 1 溶接

- 角形鋼管のベースプレートへの溶接は突合せ溶接とする。開先条件はJASS6に準じ下表による。

■溶接方法（突合せ溶接）		突合せ溶接の開先標準		溶接姿勢	
種類	図	柱部材の適用板厚（mm）	ルート間隔G（mm）	ルート面R（mm）	開先角度α1（度）
溶接部材	図	標準値	許容差	標準値	許容差
		標準値	許容差	標準値	許容差
溶接部材	図	6以上	7 -2 +9	2	45 -2.5 +35
		6以上	6 -2 +7	2	45 -2.5 +35

4. 2 溶接部の検査

- 超音波探傷試験とし、合否の判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷基準・同解説」による。

5. 現場施工

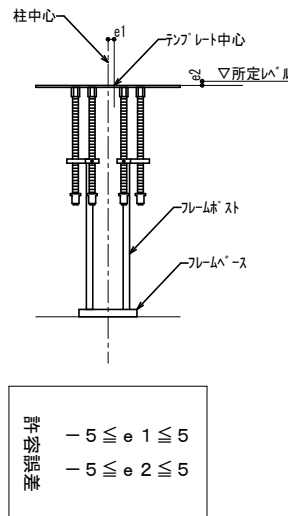
特記以外は元請建設会社の施工とする。

5. 1 捨てコンクリート地業（元請施工）

- 基礎柱型下部の捨てコンクリートは厚さ80mm以上とし、上面をコテで平滑に仕上げる。上面レベルのチェックを行う。

5. 2 フレーム及びアンカーボルトの設置（※1）

- ①フレームベース設置：柱中心線地墨に対し、平面位置を調整（誤差≦5mm）する。レベル調整用ボルトでフレームベースを水平にする。
- ②アンカーボルト設置：フレームポスト上部の部材にアンカー調整ボルトにて固定し垂直を確認する。
- ③テンプレート設置：テンプレートをアンカーボルトに上部からボルトにて固定し、テンプレート中心線を、柱中心地墨に調整後、フレームベースをホールインアンカーで固定する。
- ④定着ナット緩み止め措置：定着ナットをアンカーボルト下部位置に取り付け、アンカーボルトと定着ナットの隙間に鋼製クサビを打ち込む。



5. 3 基礎柱型配筋及びコンクリート打設（元請施工）

5. 4 鉄骨柱の建入れ（元請施工）

5. 5 ジャストリング設置及びロックナット本締め（元請施工）

- ジャストリングを全数設置し、レンチ等でロックナットを本締める。トルク値は300N・mとする。

5. 6 緩み止めクサビの設置（元請施工）

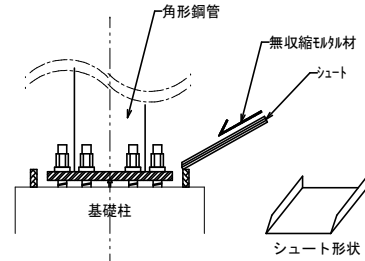
- 鋼製クサビをロックナットとアンカーボルトの隙間に全数セットし、打ち込む。

5. 7 無収縮モルタル注入

①無収縮モルタル用型枠施工（元請施工）

- ②基礎コンクリート清掃・水洗いの後、無収縮モルタルをシュートにより一方向から注入する。（※1）

※1：現場施工及び施工管理は、ジャストベース施工技術委員会が認定した有資格者が行う。



ジャストベース (○印)	記 号	適用角形鋼管 (該当するF値 ○印)						柱脚構成部材				RC基礎柱型 (下記の寸法・配筋以上とする)				柱脚回転剛性 kN・m/rad	備 考					
		サイズ	F=235N/mm2		F=295N/mm2		F=325N/mm2		アンカーボルト		座 金 t×A×A	座 金 t×W1	寸法 (mm)		主 筋 (注 1)			帯 筋 (注 1)	設計基準強度 (N/mm2)			
			※ () 内は、STKRでは不可						n-φ×L	材質			h	C×D						H		
●	J150-09	150×150	6・9		6・8・9・12		—	4-D29×660	SD490	165	28×300×300	22×74	460×460	550	8-D10	D10 @ 150	21	11,000				
	J175-09	175×175	6・9		6・8・9・12		—	4-D29×660	SD490	165	28×325×325	22×74	480×480	550	8-D13	D10 @ 150	21	14,700				
	J200-09	200×200		6・8・9・12	6・8・9			4-D29×660	SD490	165	32×350×350	22×74	520×520	600	8-D13	D10 @ 150	21	19,800				
	J200-12			6・8・9・12	6・8・9・12		6・8・9	4-D35×720	SD390	175	32×380×380	22×88	540×540	600	8-D16	D10 @ 150	21	27,800				
	J250-09			6・8・9	6・8・9		—	4-D35×720	SD390	175	36×430×430	22×88	620×620	600	8-D16	D13 @ 150	21	43,800				
●	J250-12	250×250		6・8・9・12	6・8・9・12		6・8・9	4-D35×725	SD490	180	40×440×440	22×88	620×620	600	8-D16	D13 @ 150	21	47,700				
	J250-16	300×300		6・8・9・12・14・16	6・8・9・12・14・16		6・8・9・12	8-D35×720	SD390	175	36×480×480	22×88	630×630	600	12-D19	D13 @ 150	21	61,600				
	J300-09			6・8・9・(12)	6・8・9		—	8-D29×660	SD490	165	32×490×490	22×74	680×680	600	8-D16	D13 @ 150	21	64,700				
	J300-12			6・8・9・12・(14)・(16)	6・8・9・12		6・8・9	8-D35×720	SD390	175	36×530×530	22×88	700×700	600	8-D19	D13 @ 150	21	89,600				
●	J300-16			6・8・9・12・14・16・19	6・8・9・12・14・16		6・8・9・12	8-D35×720	SD390	185	45×540×540	22×88	730×730	600	8-D22	D13 @ 150	21	96,500				
	J300-19			6・8・9・12・14・16・19	6・8・9・12・14・16・19		6・8・9・12・14・(16)	8-D35×725	SD490	190	50×540×540	22×88	730×730	600	12-D22	D13 @ 150	21	102,000				
	J350-12	350×350		9・12・(14)・(16)	9・12		9	8-D35×720	SD390	185	40×580×580	22×88	780×780	700	12-D22	D13 # 100 又は D16 # 150	21	125,000				
	J350-16			9・12・14・16・19・(22)	9・12・14・16		9・12	8-D38×785	SD490	200	45×600×600	25×94	800×800	750	12-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	149,000				
	J350-19			9・12・14・16・19・22	9・12・14・16・19		9・12・14・(16)	8-D38×785	SD490	200	55×630×630	25×94	800×800	750	12-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	165,000				
	J350-22			9・12・14・16・19・22	9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	8-D41×870	SD490	205	55×630×630	28×100	800×800	800	20-D22	D13 # 100 又は D16 # 150	21	170,000				
	J400-12			9・12	9・12		9	8-D35×725	SD490	190	45×630×630	22×88	850×850	800	12-D22	D13 # 100 又は D16 # 150	21	177,000				
	J400-16	400×400		9・12・14・16・19	9・12・14・16		9・12	8-D38×785	SD490	200	55×690×690	25×94	870×870	800	12-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	218,000				
	J400-19			9・12・14・16・19・22・(25)	9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	8-D41×870	SD490	205	60×690×690	28×100	900×900	800	12-D22	D13 # 100 又は D16 # 150	21	232,000				
	J400-22			9・12・14・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D38×785	SD490	200	60×700×700	25×94	900×900	800	16-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	258,000				
	J450-16	450×450		9・12・14・16・19	9・12・14・16		9・12	12-D38×785	SD490	200	50×700×700	25×94	940×940	800	16-D22	D13 # 100 又は D16 # 150	21	296,000				
	J450-19			9・12・14・16・19・22・(25)	9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	12-D41×870	SD490	205	55×720×720	28×100	940×940	800	16-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	319,000				
	J450-22			9・12・14・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×870	SD490	205	60×750×750	28×100	980×980	800	20-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	339,000				
	J500-19	500×500		9・12・14・16・19・22・(25)	9・12・14・16・19		9・12・14・16	12-D41×870	SD490	205	60×790×790	28×100	1,020×1,020	800	20-D25	D13 # 100 又は D16 # 150	21	422,000				
	J500-22			9・12・14・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×970	SD490	215	65×840×840	28×100	1,050×1,050	850	24-D25	D16 @ 100	21	427,000				
	J550-19		550×550		9・12・14・16・19・22・(25)	9・12・14・16・19		9・12・(14)・(16)	12-D41×970	SD490	215	65×880×880	28×100	1,100×1,100	850	24-D25	D16 @ 100	24	537,000			
	J550-22			9・12・14・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22		9・12・14・16・(19)	12-D41×970	SD490	215	70×950×950	28×100	1,150×1,150	850	24-D25	D16 @ 100	24	557,000				

ボーリング柱状図

[illegible]

ボーリング柱状図

Bor.No.4
H-21.60 m, Gr-32.25 m

Bor.No.7
H-21.81 m, Gr-32.26 m

Bor.No.1
H-21.02 m, Gr-32.25 m

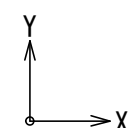
Bor.No.6
H-20.25 m, Gr-32.20 m

Bor.No.3
H-21.70 m, Gr-32.25 m

Bor.No.2
H-21.7 m, Gr-32.20 m

Bor.No.5
H-22.2 m, Gr-32.20 m

$$\times \langle \text{SGL} \rangle = \langle H=32.80 \rangle$$

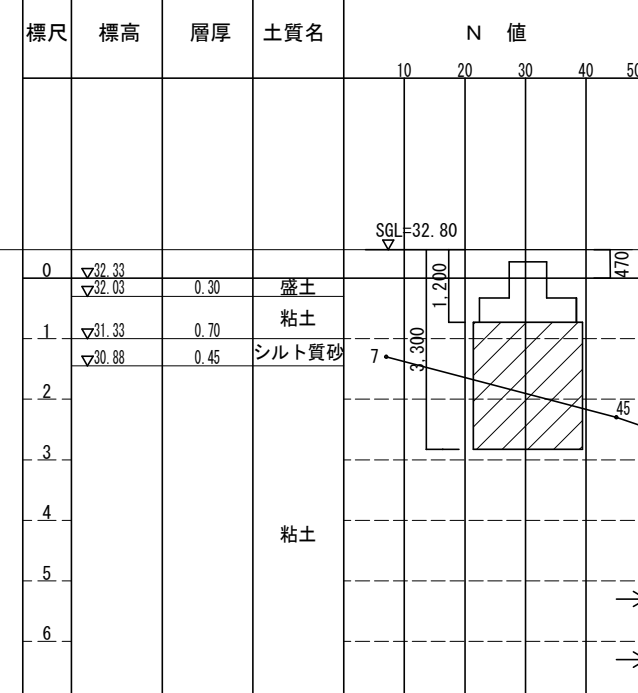
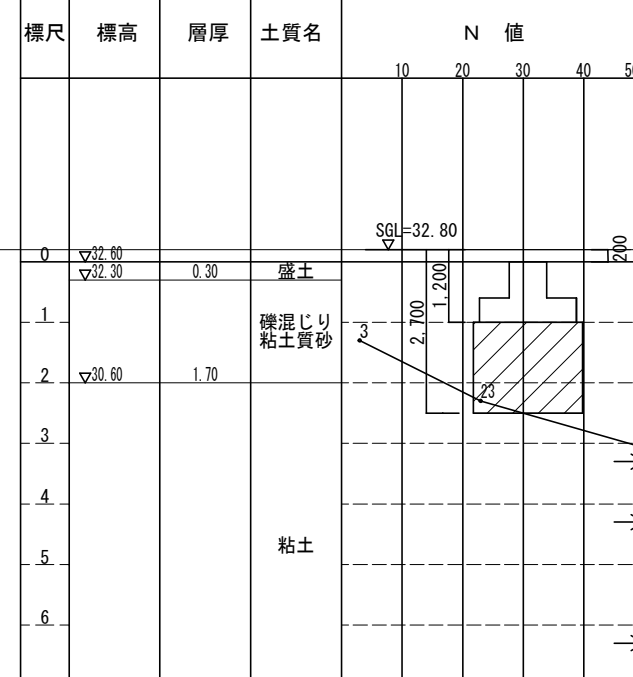
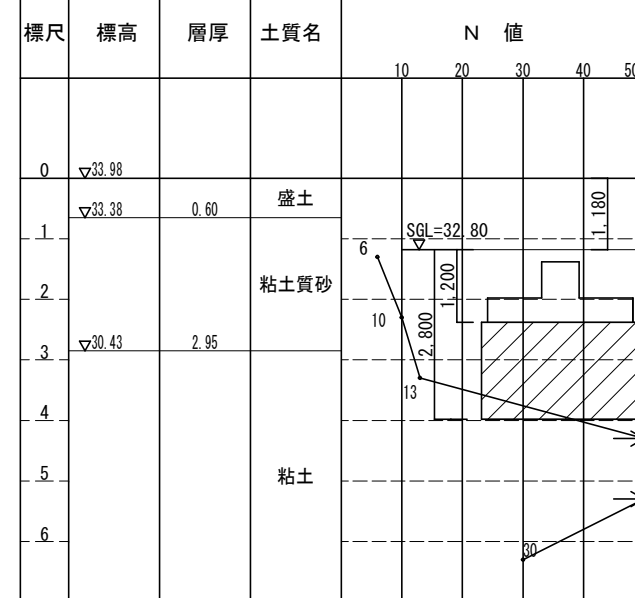
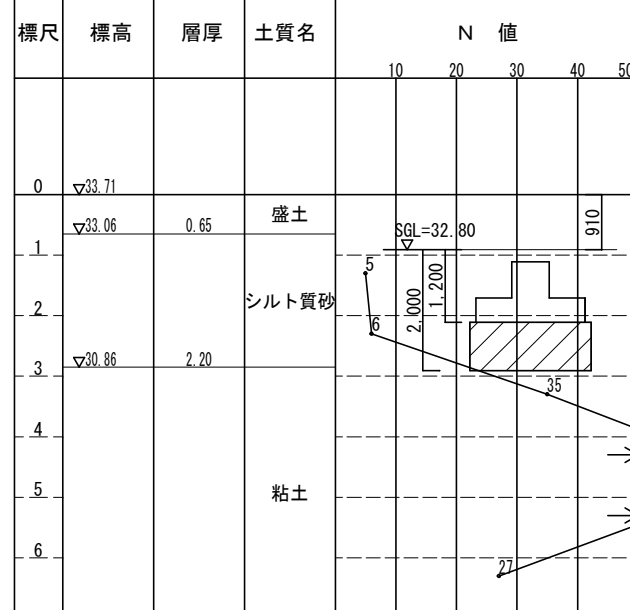
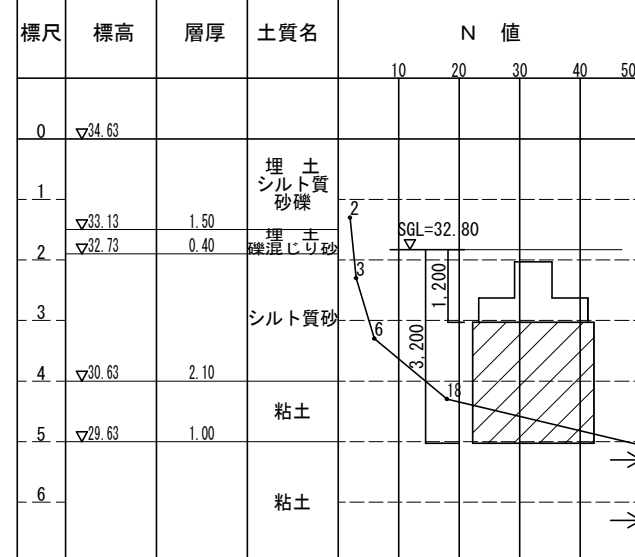
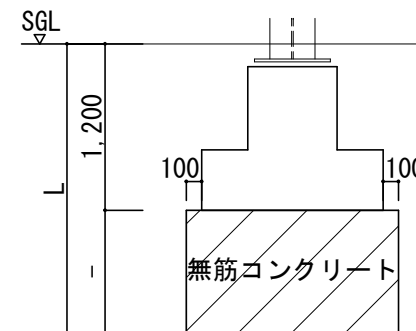


持記なき限り

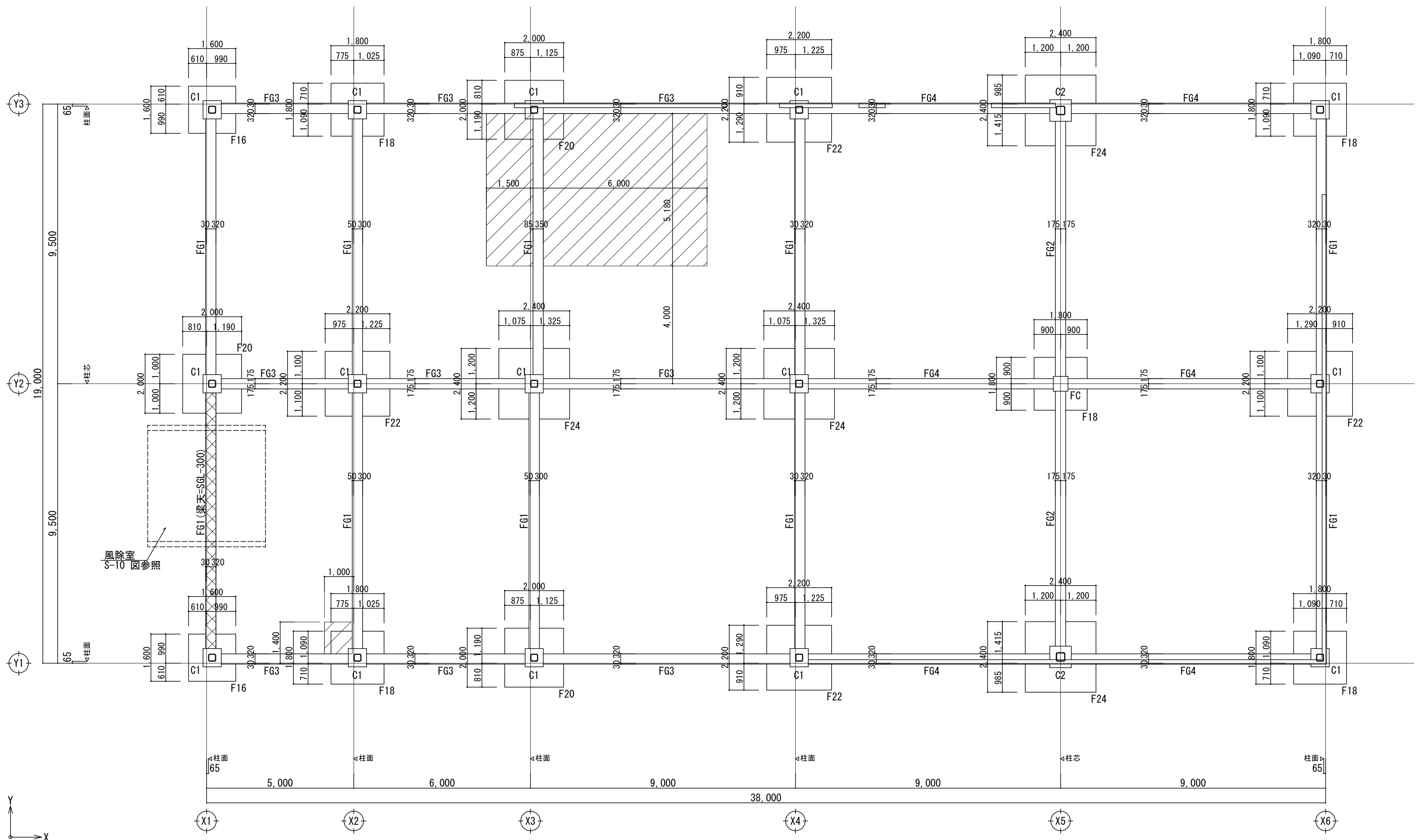
特記なき限り

- ・基礎底は、SGL-1,200とする。
- ・(L=)は、SGLからの地盤改良長さを示す。
(現地掘削により決定の事。)
- ・支持層は、N=30以上の粘土層とする。
(支持層に10cm以上根入れの事。)

- ・粘土層に支持させること。
- ・コンクリート強度 F_c18 とする。

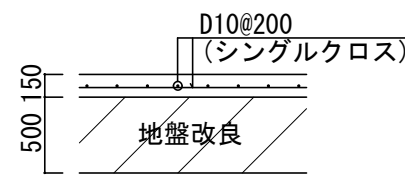


一級建築士登録番号 第132007号 森山 篤



基礎伏図

- 特記なき限り
- ・ 地中梁天=SGL-200とする。
 - ・ 土間コンクリート t=150
 - ・ D10@200 シングルクロス
 - ・ 土間下地盤改良 H=500 セメント系固化剤 (50kg/m³)
 - ・  部の埋戻土は充分転圧の上施工の事。(地盤改良は不要)



基礎リスト

[illegible]

礎柱リスト 1/50

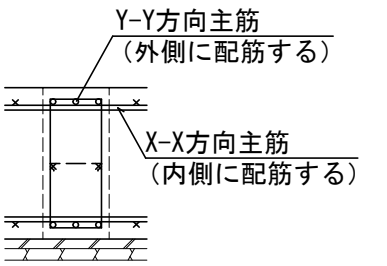
符 号	FC
断面 	
B × D	500x500
主 筋	8-D19
フ ー プ	□-D10@100
頂部フープ	2-□-D10

地中梁リスト 1/50

・腹筋巾止メ筋は D10@1000 以内とする

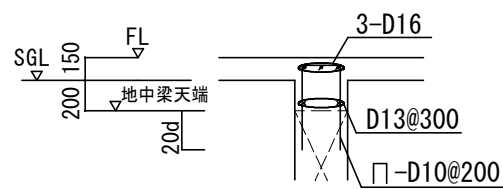
符 号	F61	F62	F63	F64	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	
SGL 					
B × D	350x800	350x800	350x800	350x800	
上 端 筋	4-D22	4-D22	3-D19	4-D19	
下 端 筋	3-D22	3-D22	3-D19	3-D19	
スターループ	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	
腹 筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	

※地中梁主筋は、Y方向の主筋が、
X方向の主筋の外側に配筋する事。

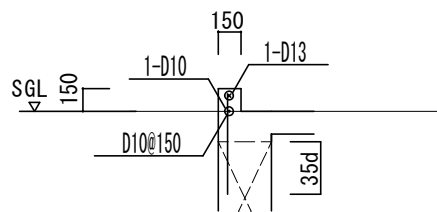


使 用 材 料	
コンクリート	Fc21N/mm ²
鉄 筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)

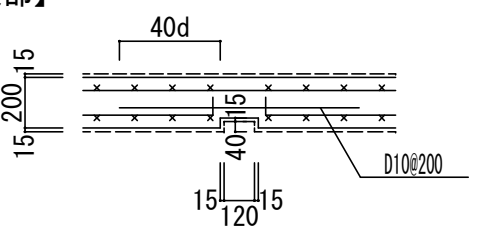
地中梁増打ち補強 1/50



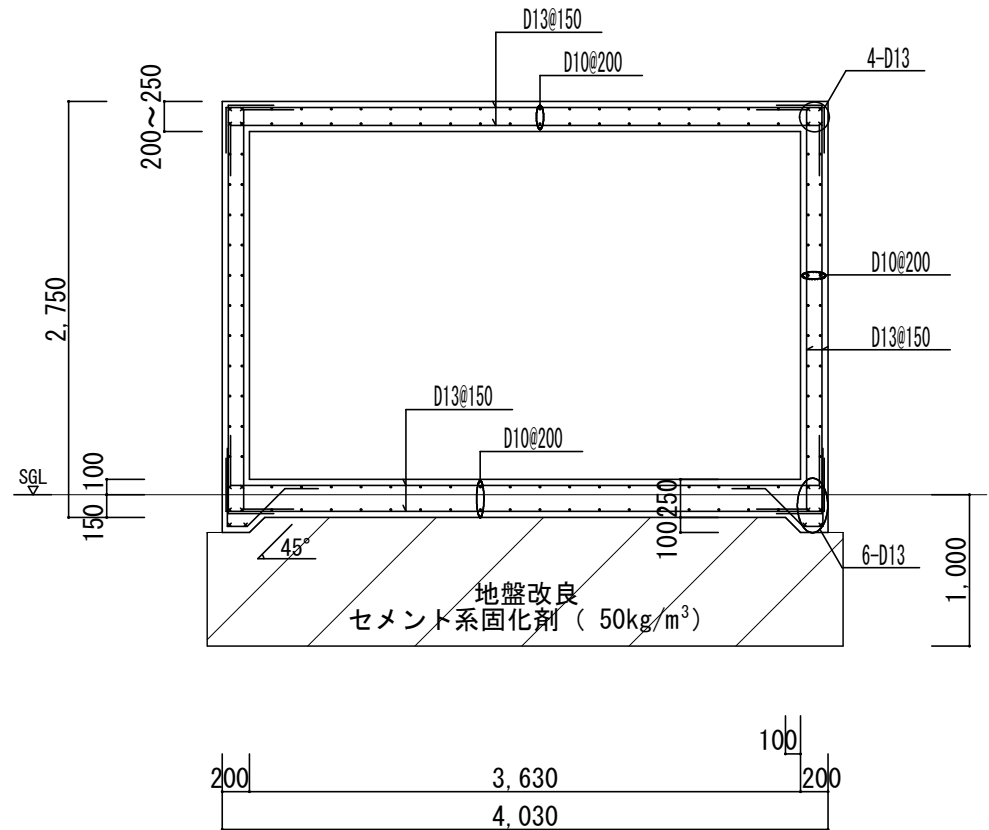
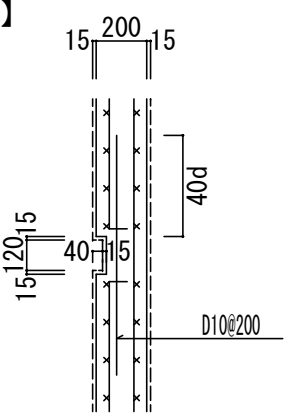
腰壁配筋図 1/50



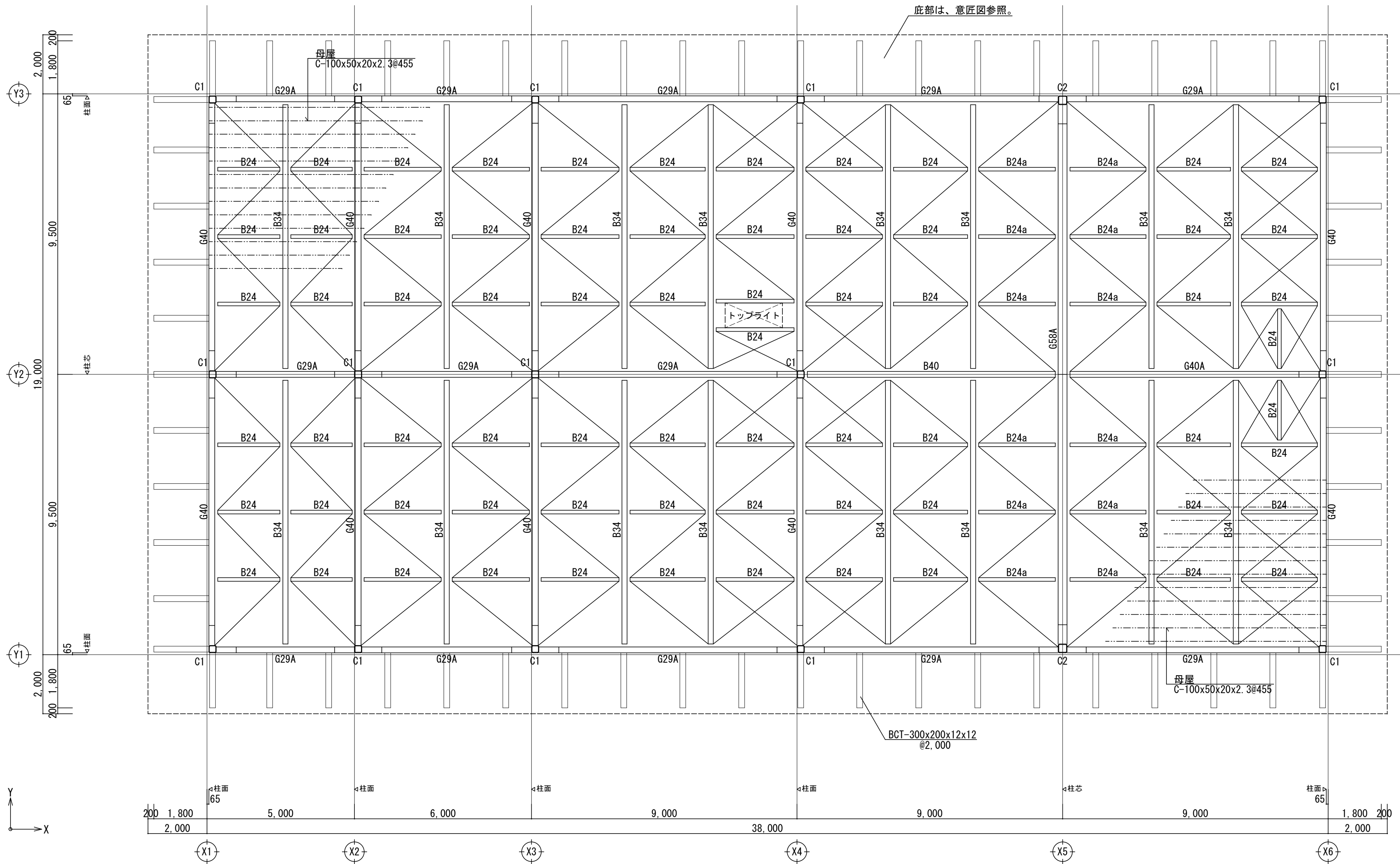
【頂版部】



【壁部】



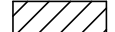
風除室 断面配筋図 1/50

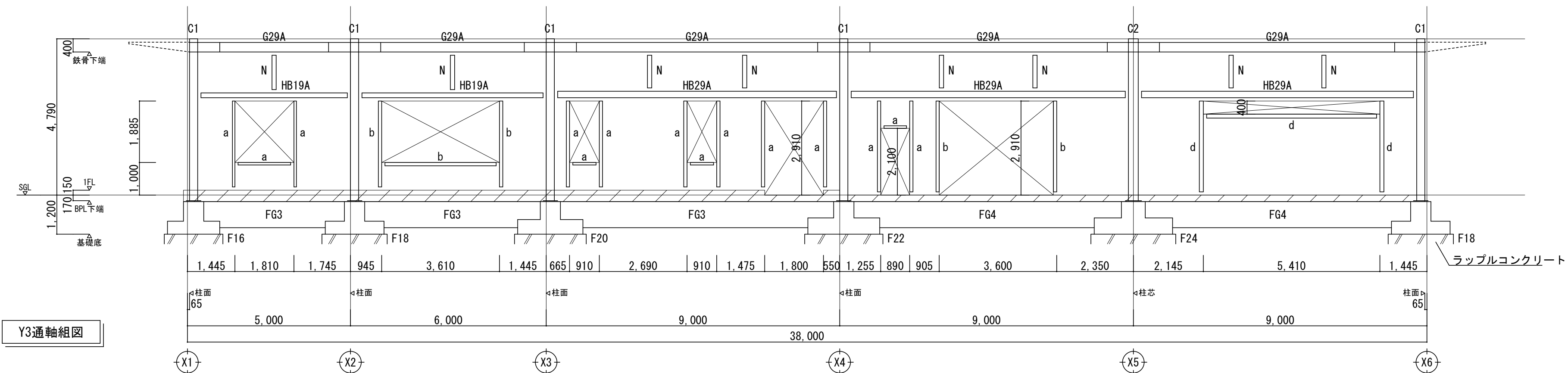
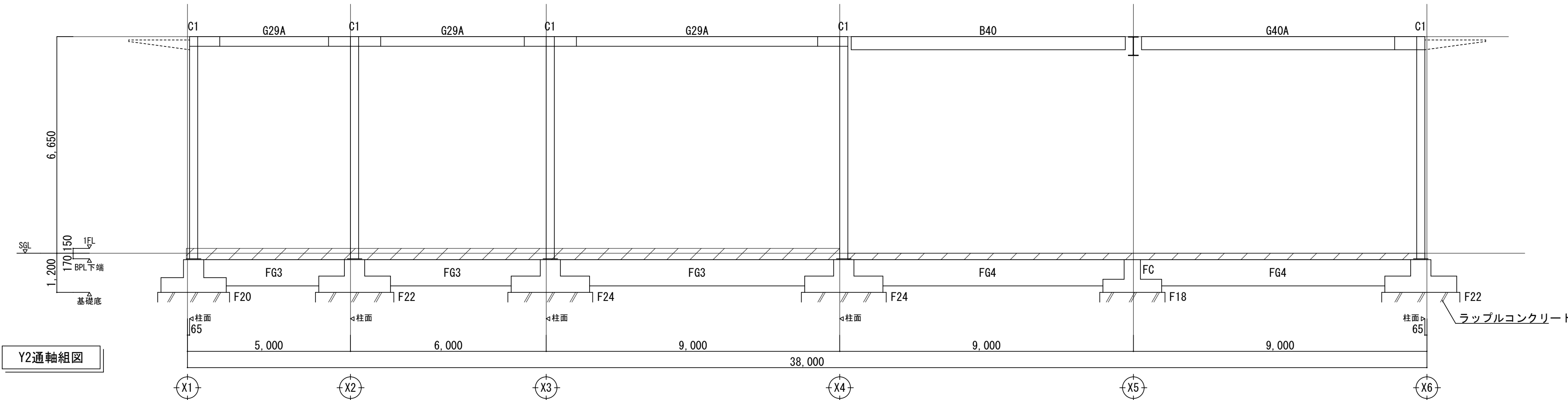
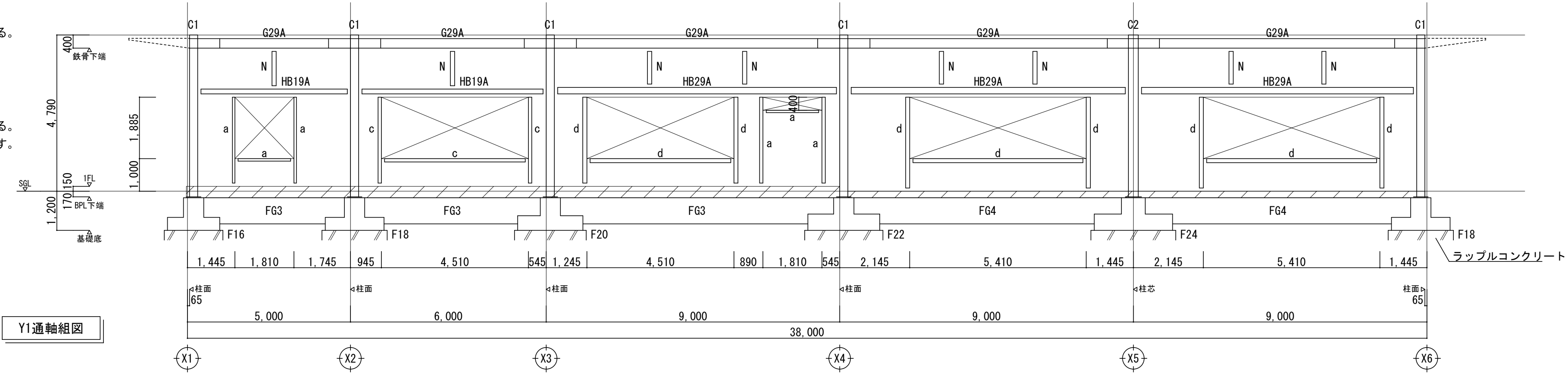


屋根伏図

- 特記なき限り
- ・屋根ブレース：1-M20（ターンバックル締め）
 - ・屋根仕上材の通し吊子の働き巾は、418mm以下とする。

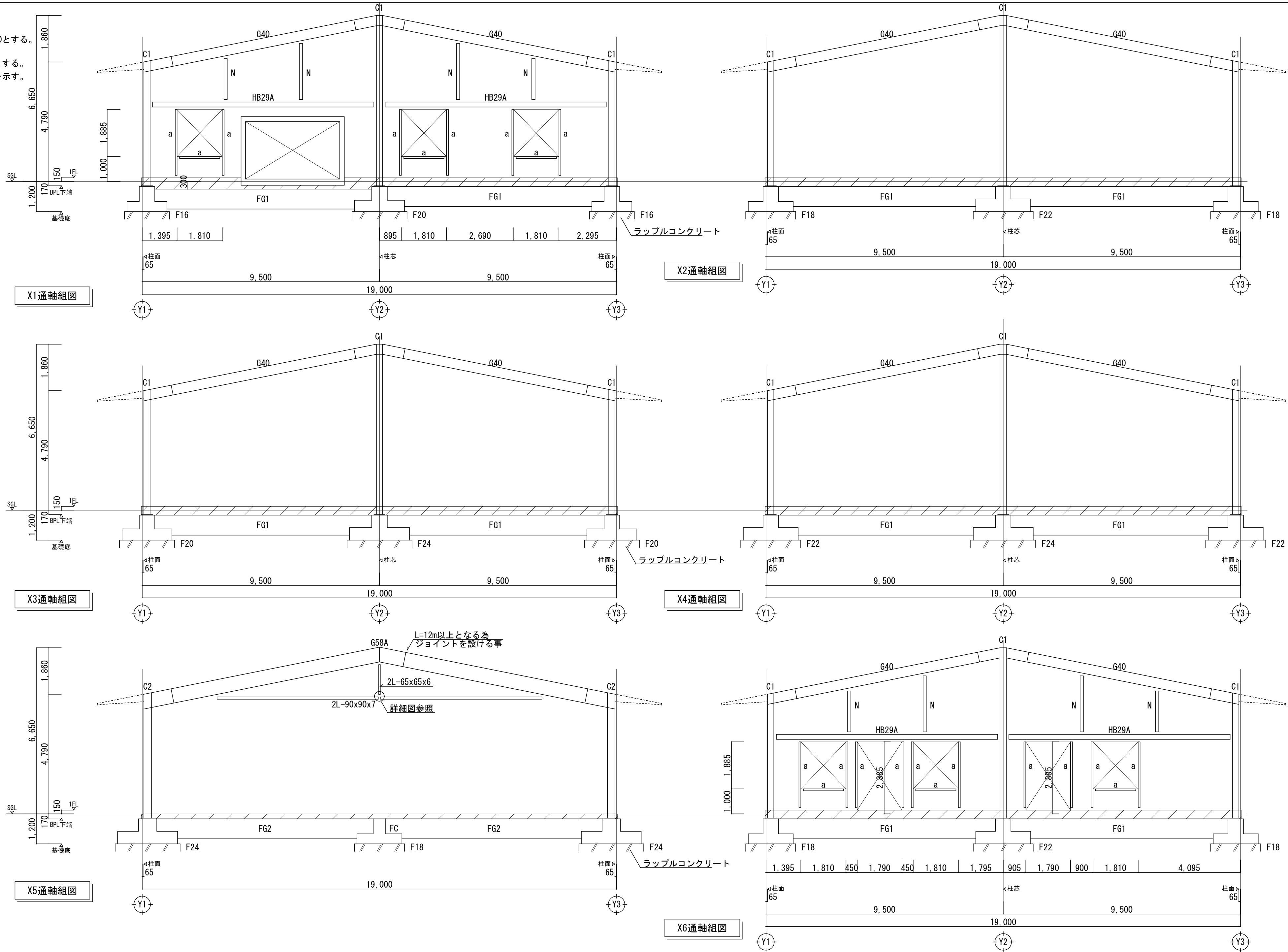
一級建築士登録番号 第132007号 森山 篤

- 軸組図共通事項
- ・大梁継手位置は、柱芯+800とする。
 - ・開口補強材
 - a:L-75x75x9
 - b:L-100x100x13
 - c:H-100x100x6x8(ヨコ使い)
 - d:H-125x125x6.5x9(ヨコ使い)
 - ・開口寸法は、建具寸法+100とする。
 - ・ は、地中梁増打ちを示す。



一級建築士登録番号 第132007号 森山 篤

- 軸組図共通事項
- ・大梁継手位置は、柱芯+1,000とする。
 - ・開口補強材 a:L-75x75x9
 - ・開口寸法は、建具寸法+100とする。
 - ・は、地中梁増打ちを示す。



鉄骨部材リスト

符 号	部 材 断 面	継 手 部		備 考
		フランジ	ウェブ	
C1	□-250x250x12			BCR295. 柱脚：ジャストベース J250-12
C2	□-300x300x16			BCR295. 柱脚：ジャストベース J300-16
G29A	H-294x200x 8x12	継手リスト (J1)		SS400
G40	H-400x200x 8x13	継手リスト (J2)		SS400
G40A	H-400x200x 8x13	継手リスト (J2)		SS400
G58A	H-582x300x12x17	継手リスト (J3)		SS400
B24	H-248x124x 5x 8		3-M20・GPL-9	SS400
B24a	H-248x124x 5x 8		3-M20・GPL-9	SS400 (X5端のみ方杖 2L-65x65x6)
B34	H-346x174x 6x 9		4-M20・GPL-9	SS400
B40	H-400x200x 8x13		4-M20・GPL-9	SS400
HB19A	H-194x150x 6x 9		2-M20・GPL-9	SS400 (横使い)
HB29A	H-294x200x 8x12		3-M20・GPL-9	SS400 (横使い)
N	2L-65x65x 6		2-M16・GPL-9	SS400
屋根ブレース	1-M20(ターンバックル締め)		1-M20・GPL-9	JISターンバックル締め

継手リスト 1/30

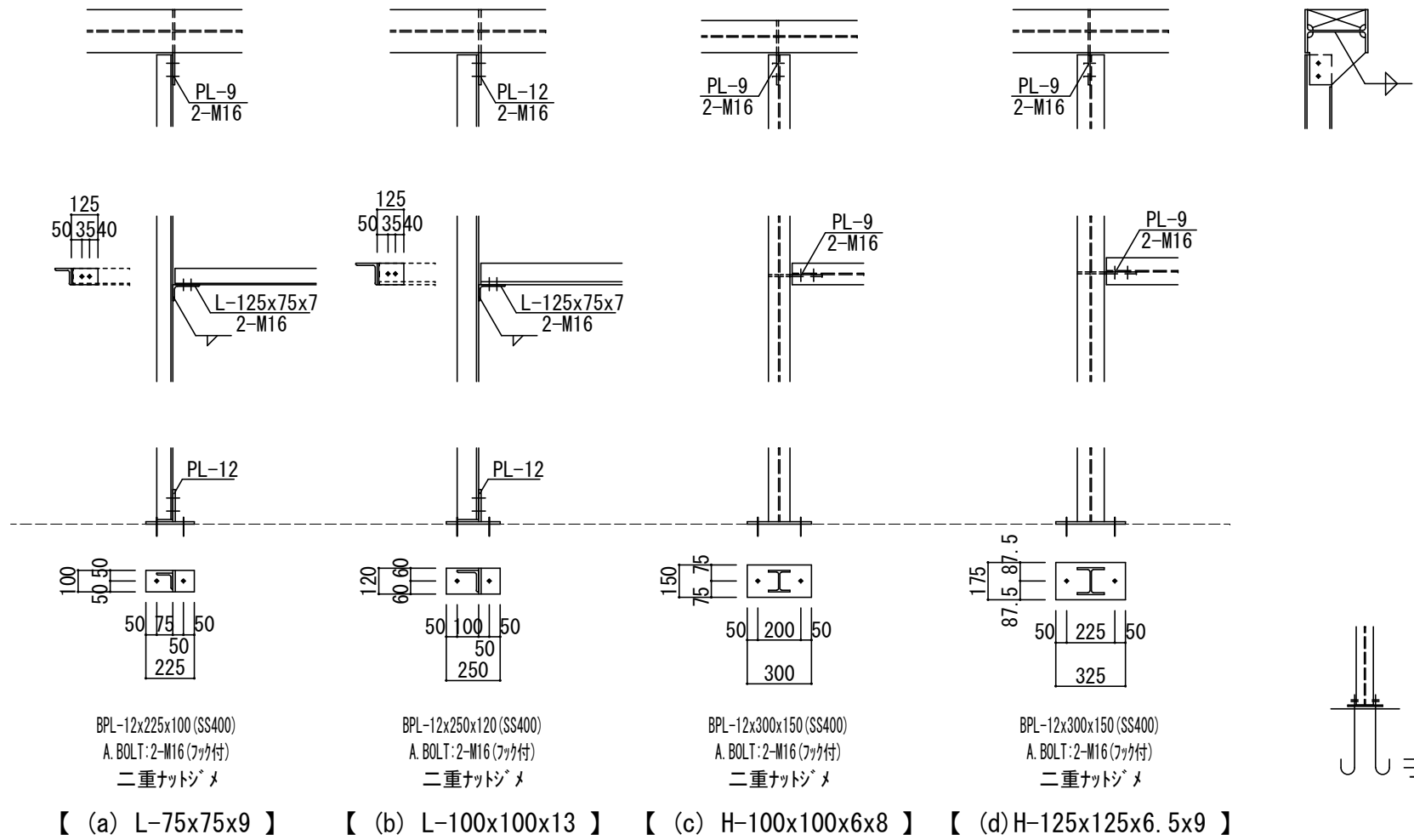
符 号	J1			J2			J3		
部 材	H-294x200x 8x12			H-400x200x 8x13			H-582x300x12x17		
形 状									
フランジ	外	2PL- 9x200x410	24-M20	外	2PL- 9x200x410	24-M20	外	2PL-12x300x440	32-M22
	内	4PL- 9x 80x410		内	4PL- 9x 80x410		内	4PL-16x110x440	
ウェブ	2PL- 9x200x170		6-M20	2PL- 9x260x170		8-M20	2PL- 9x440x170		14-M22

使 用 材 料	
角型鋼管	BCR295
鋼 材	SS400・SM490C
高力ボルト	S10T

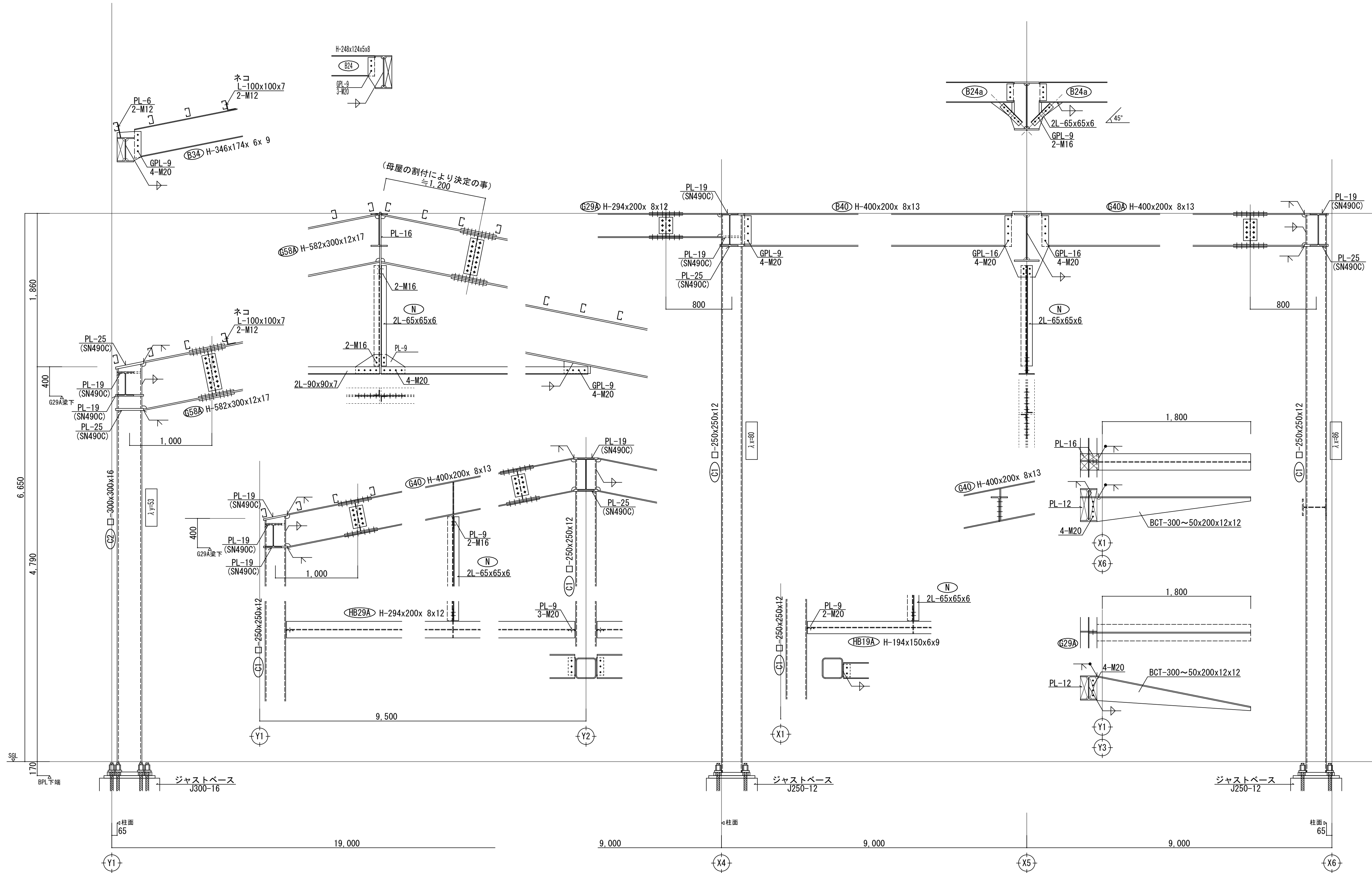
母屋・胴縁関係

A	方向および位置	B	取付部材（ピース）の寸法	C	取付部材（ピース）の接合	D	のぼり胴縁付近および壁の出隅部	E	壁開口周辺部
 (g1:標準ゲージ)	a1	25	取付部材（ピース） (a1, a2 ≧ 10〜25)	柱・梁に取付く場合の溶接		a材：使用するボルト・部材は一般部分にならう。		a材：使用するボルト・部材は一般部分にならう。	
	a2	25		ピースの長さ $l \leq 100$		b材：部材は一般の胴縁に同じ。		b材：部材は一般の胴縁に同じ。	
		65		ピースの長さ $l > 100$		c材：断面リストによる。		c材：断面リストによる。	
		75		 胴縁（母屋）相互に取り付く場合の溶接		 注）各部の接合はボルトまたは溶接とする。部のボルトは一般部分にならう。		 注）各部の接合はボルトまたは溶接とする。	
		90							
	取付ボルト 穴径は軸径+1	100	 2-M12						
		125							
		100							
		125							
		100							
	1-M16	80	 1-M16						
		100							
		125							
		100							
		125							

押出成形セメント板 開口補強材取付詳細図



フック付の場合					
ボルト径	a	l	b	c	h
M16	520	400	80	40	65
M20	630	500	80	50	80
M22	685	550	80	55	90



X5通鉄骨詳細図

Y2通鉄骨詳細図

一級建築士登録番号 第132007号 森山 篤